

2019 年度
生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業
事業実績報告書

令和2年2月

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

目 次

はじめに	1
第1章 研修の概要	2
◆自立相談支援事業従事者養成研修	2
1 研修の目的および種類	2
2 プログラムの概要 日程表、会場	2
3 職種別の受講パターン	24
4 受講対象者	24
5 受講者定員	25
6 テキスト	25
7 申込みから受講、修了までの流れ	25
8 修了証書の交付	25
◆就労準備支援事業従事者養成研修	27
1 研修の目的および種類	27
2 プログラムの概要 日程表、会場	27
3 受講対象者	31
4 研修の受講定員	31
5 テキスト	31
6 申込みから受講までの流れ	31
7 修了証書の交付	32
◆家計改善支援事業従事者養成研修	33
1 研修の目的および種類	33
2 プログラムの概要 日程表、会場	33
3 受講対象者	46
4 研修の受講定員	46
5 テキストおよびノートパソコン	46
6 申込みから受講までの流れ	47
7 修了証書の交付	47
◆都道府県研修に係る担当者研修	48
1 研修の目的および種類	48
2 プログラムの概要 日程表、会場	48
3 受講対象者	52
4 研修の受講定員	52
◆全研修の受講者数と修了者数	53
◆全研修の修了者の傾向	56

第2章 研修内容の企画	77
1 企画委員会の概要	77
2 企画に係る委員会・部会の実施状況	79
3 個別打合せの実施状況	80
第3章 研修内容の詳細	81
1 【前期】共通カリキュラム 養成研修	81
2 【後期】主任相談支援員養成研修	90
3 【後期】相談支援員養成研修	100
4 【後期】就労支援員養成研修	108
5 就労準備支援事業従事者養成研修	116
6 家計改善支援事業従事者養成研修	125
7 都道府県研修に係る担当者研修	132
第4章 受講者からの評価	137
1 【前期】共通カリキュラム 養成研修	137
2 【後期】主任相談支援員養成研修	140
3 【後期】相談支援員養成研修	141
4 【後期】就労支援員養成研修	143
5 就労準備支援事業従事者養成研修	144
6 家計改善支援事業従事者養成研修	145
7 都道府県研修に係る担当者研修	149
第5章 研修の評価	150
1 本研修の特色	150
2 成果と課題	152
第6章 業務の運営	157
1 受け入れから実施報告までのスケジュール	157
2 実施体制	159
付録	160
1 開催要項	
2 修了証書（ひな形）	

はじめに

平成 27 年 4 月より生活困窮者自立支援法が施行され約 5 年が経過した。平成 30 年 6 月には法改正が行われ、経済的困窮だけでなく社会的孤立や自尊感情の低下等の課題を抱える生活困窮者の背景にも着目するよう基本理念に明確化されるとともに生活困窮者の自立支援の強化がはかられた。

生活困窮者の自立支援の実施にあたっては、地域共生社会を目指し、多様で複合的な課題を有する生活困窮者への包括的な支援を適切に行うことが求められている。そのため、生活困窮者自立支援制度の理念・目標を適切に理解し、十分な専門性を有した支援員を全国的に確保するため、国が計画的な養成研修を実施している。

平成 29 年 12 月にとりまとめられた「社会保障審議会・生活困窮者自立支援及び生活保護部会報告書」においても、本制度は多くの制度を組み合わせ、地域の力と協働した取り組みをしていく「人が人を支える」仕組みであり、制度を担う支援員の質の確保の重要性が明記されている。

昨年度に引き続き本会では、国研修「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業」を受託した。企画・運営委員会および企画部会を設置のうえカリキュラムを検討し、本年度は自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の従事者養成研修を実施した。あわせて、都道府県研修の推進を目的に都道府県研修に係る担当者研修を実施し、各都道府県で実施している研修の情報交換を行った。また、来年度以降については人材養成研修の実施主体を都道府県研修に移行するにあたり、厚生労働省から国研修と都道府県研修の位置づけや役割が示され、同研修にて今後の方針などを伝達した。

本研修では、制度の理念や事業の基本的な考え方を伝え、国として支援員に求める役割や、支援を行う際の重要な視点やポイントについて実践事例等も踏まえながら教示し、受講者の研修ニーズを考慮した実践的な視点を取り入れた研修を実施することができた。また、「学びの見取り図」や支援員の役割を明記した「たまごの図」を各研修において作成し、研修冒頭で説明をすることで、各研修で学ぶべき内容とそれぞれのプログラムの目的を共有することができた。

本会では、関係者の参考に供するべく、研修の実施状況を記録として整理するとともに、研修事業の評価を報告書としてとりまとめた。今後の支援員養成の一助になれば幸いである。

令和 2 年 2 月
社会福祉法人 全国社会福祉協議会

第1章 研修の概要

◆自立相談支援事業従事者養成研修

1 研修の目的および種類

生活困窮者の自立を促進するため、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の評価・分析、自立支援計画（以下「プラン」という。）の策定、プランに基づく各支援の提供をはじめ、地域の関係機関とのネットワーク構築、社会資源の活用・開発等を行うため、相談及び就労等の支援技術を習得することにより、自立相談支援事業に従事する者の資質の確保・向上を図ることを目的とした。

平成 27 年度より施行された生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業において配置される主任相談支援員、相談支援員、就労支援員それぞれを対象とした 3 種の養成研修を実施した。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研 修 名	日 程	会 場
【前期】共通カリキュラム	【第1回】7月9日(火)～7月11日(木)	全社協・灘尾ホール
	【第2回】7月29日(月)～7月31日(水)	全社協・灘尾ホール
	【第3回】9月2日(月)～9月4日(水)	全社協・灘尾ホール
【後期】主任相談支援員養成研修	8月21日(水)～8月23日(金)	全社協・中央福祉学院
【後期】相談支援員養成研修	【第1回】10月17日(木)～10月19日(土)	全社協・中央福祉学院
	【第2回】11月27日(水)～11月29日(金)	大阪府 リバーサイドホテル
【後期】就労支援員養成研修	12月11日(水)～12月13日(金)	東京都 タイム24ビル

<会場>

【前期】全国社会福祉協議会 灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

【後期】全国社会福祉協議会 中央福祉学院

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

【後期】TKP大阪リバーサイドホテル バンケット6A

〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町 5 丁目 12-30

【後期】東京都・タイム24ビル

〒135-0064 東京都江東区青海 2 丁目 4-32

【前期】 共通カリキュラム 第1回

日 程 表

【第1日目】 7月9日（火）

時 間	科 目	講 師
8:15～9:00	受 付	
9:00～9:10	オリエンテーション	
9:10～9:20	主催者挨拶、厚生労働省挨拶	
9:20～9:30 (10分)	アイスブレイク	
9:30～11:00 (90分)	【講義①】 生活困窮者自立支援法の今後の展望	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 野崎 伸一 氏
11:00～11:10 (10分)	休 憩	
11:10～12:50 (100分)	【講義②】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏 野洲市役所 市民生活相談課 課長 生水 裕美 氏
12:50～13:50 (60分)	昼食・休憩	
13:50～17:35 (225分) 休憩 15分含	【講義と演習③】 支援員に求められる倫理と基本姿勢を 支える人材育成と職場づくり	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:35～17:50 (15分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:50～18:05	交流会会場へ移動	
18:05～19:05 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】7月10日（水）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:40 (220 分) 休憩 15 分含	【講義と演習④】 対象者の特性を踏まえた支援のあり方	日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏	社会福祉法人 グリーンコープ 家計改善支援員 藤浦 久美 氏 一般社団法人 パーソナルサポートセンター 仙台市生活自立・仕事相談センターわんすてっぷ センター長 平井 知則 氏 NPO 法人 アスクネット ディレクター/常務理事 城取 洋二 氏
12:40～13:40 (60 分)	昼食・休憩		
13:40～16:55 (195 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑤】 就労支援の考え方と 実施方法	明治学院大学 教授 新保 美香 氏	一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏 地域若者サポートステーション かけがわ 総括コーディネーター/NPO 法人 青少年就労支援 ネットワーク静岡 事務局長 池田 佳寿子 氏
16:55～17:10 (15 分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】7月11日（木）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:00 (180 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑥】 生活困窮者支援を 通じた地域づくり	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏	【コメンテーター】 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 【実践報告者】 邑南町社会福祉協議会 地域福祉課長 渡邊 健二 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼食・休憩		
13:00～16:10 (190 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑦】 相談支援の展開と視点	福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子 氏	雲南市社会福祉協議会 地域福祉部 生活支援・相談センター 相談支援員 土屋 博紀 氏
16:10～16:20 (10 分)	休憩		
16:20～18:00 (100 分)	【講義と演習⑧】 つながりにくい相談者への支援	【コーディネーター】 市川市生活サポート センターそら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏	一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏 NPO 法人 BOND プロジェクト 代表 橘 ジュン 氏
18:00～18:20 (20 分)	まとめ・振り返り (第3日目)	事務局	

【前期】共通カリキュラム 第2回

日 程 表

【第1日目】7月29日（月）

時 間	科 目	講 師
8:15～9:00	受 付	
9:00～9:10	オリエンテーション	
9:10～9:20	主催者挨拶、厚生労働省挨拶	
9:20～9:30 (10分)	アイスブレイク	
9:30～11:00 (90分)	【講義①】 生活困窮者自立支援法の今後の展望	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 氏
11:00～11:10 (10分)	休 憩	
11:10～12:50 (100分)	【講義②】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 就労支援専門官 佐藤 圭司 氏 野洲市役所 市民生活相談課 課長 生水 裕美 氏 野洲市役所 健康福祉部社会福祉課 主査 宇都宮 誠実 氏
12:50～13:50 (60分)	昼食・休憩	
13:50～17:35 (225分) 休憩 15分含	【講義と演習③】 支援員に求められる倫理と基本姿勢を 支える人材育成と職場づくり	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:35～17:50 (15分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:50～18:05	交流会会場へ移動	
18:05～19:05 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】7月30日（火）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:00 (180 分) 休憩 15 分含	【講義と演習④】 生活困窮者支援を通じた地域づくり	ルーテル大学 名誉教授 和田 敏明 氏	【コメンテーター】 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 【実践報告者】 宮古市社会福祉協議会 地域福祉課 副主幹 有原 領一 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼食・休憩		
13:00～16:40 (220 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑤】 対象者の特性を踏まえた支援のあり方	日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏	社会福祉法人 グリーンコープ 家計改善支援員 藤浦 久美 氏 一般財団法人 パーソナルサポートセンター 仙台市生活自立・仕事相談センターわんすてっぷ センター長 平井 知則 氏 NPO 法人 アスクネット ディレクター/常務理事 城取 洋二 氏
16:40～16:50 (10 分)	休 憩		
16:50～18:30 (100 分)	【講義と演習⑥】 つながりにくい相談者への支援	【コーディネーター】 市川市生活サポートセンターそら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏	一般財団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏 NPO 法人 BOND プロジェクト 代表 橋 ジュン 氏
18:30～18:45 (15 分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】7月31日（水）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:10 (190 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑦】 相談支援の展開と視点	福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子 氏	雲南市社会福祉協議会 地域福祉部 生活支援・相談センター 相談支援員 土屋 博紀 氏
12:10～13:10 (60 分)	昼食・休憩		
13:10～16:25 (195 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑧】 就労支援の考え方と 実施方法	明治学院大学 教授 新保 美香 氏	一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏 地域若者サポートステーション かけがわ 総括コーディネーター/NPO 法人 青少年就労支援 ネットワーク静岡 事務局長 池田 佳寿子 氏 東近江圏域働き・暮らし応援セ ンター「Tekito」 センター長 野々村 光子 氏
16:25～16:45 (20 分)	まとめ・振り返り (第3日目)	事務局	

【前期】共通カリキュラム 第3回

日 程 表

【第1日目】9月2日（月）

時 間	科 目	講 師
8:15～9:00	受 付	
9:00～9:10	オリエンテーション	
9:10～9:20	主催者挨拶、厚生労働省挨拶	
9:20～9:30 (10分)	アイスブレイク	
9:30～11:00 (90分)	【講義①】 生活困窮者支援自立法の今後の展望	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室/地域共生社会推進 室 室長 吉田 昌司 氏
11:00～11:10 (10分)	休 憩	
11:10～12:50 (100分)	【講義②】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 氏 野洲市役所 市民生活相談課 課長 生水 裕美 氏 野洲市役所 健康福祉部社会福祉課 主査 宇都宮 誠実 氏
12:50～13:50 (60分)	昼食・休憩	
13:50～17:35 (225分) 休憩 15分含	【講義と演習③】 支援員に求められる倫理と基本姿勢を 支える人材育成と職場づくり	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:35～17:50 (15分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:50～18:05	交流会会場へ移動	
18:05～19:05 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】9月3日（火）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30~9:00	開 場		
9:00~12:00 (180 分) 休憩 15 分含	【講義と演習④】 生活困窮者支援を 通じた地域づくり	ルーテル大学 名誉教授 和田 敏明 氏	【コメンテーター】 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 【実践者報告】 赤磐市社会福祉協議会 赤磐市くらし・しごと応援セ ンター「あすてらす」 所長 藤岡 宏暁 氏
12:00~13:00 (60 分)	昼食・休憩		
13:00~16:15 (195 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑤】 就労支援の考え方と 実施方法	明治学院大学 教授 新保 美香 氏	一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか氏 地域若者サポートステーション かけがわ 総括コーディネータ ー/NPO 法人 青少年就労支援 ネットワーク静岡 事務局長 池田 佳寿子 氏 東近江圏域働き・暮らし応援セン ター「Tekito」 センター長 野々村 光子 氏
16:15~16:25 (10 分)	休 憩		
16:25~18:05 (100 分)	【講義と演習⑥】 つながりにくい相談者への 支援	【コーディネーター】 市川市生活サポート センターそら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏	一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏 NPO 法人 BOND プロジェクト 代表 橘 ジュン 氏
18:05~18:20 (15 分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】9月4日（水）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:10 (190 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑦】 相談支援の展開と視点	福島県立医科大学 特任准教授 八木亜紀子 氏	雲南市社会福祉協議会 地域福祉部 生活支援・相談センター 相談支援員 土屋 博紀 氏
12:10～13:10 (60 分)	昼食・休憩		
13:10～16:50 (220 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑧】 対象者の特性を踏まえた 支援のあり方	日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏	社会福祉法人 グリーンコープ 家計改善支援員 藤浦 久美 氏 一般社団法人 パーソナルサポートセンター 仙台市生活自立・仕事相談 センターわんすてっぷ センター長 平井 知則 氏 NPO 法人 アスクネット リーダー／認定キャリア教育 コーディネーター 小柳 真哉 氏
16:50～17:10 (20 分)	まとめ・振り返り (第3日目)	事務局	

【後期】主任相談支援員養成研修 日程表

日 程 表

【第1日目】8月21日（水）

時 間	科 目	講 師
10:00～10:30	受 付	
10:30～10:40	オリエンテーション	
10:40～11:40 (60 分)	【講義①】 主任相談支援員の役割と期待	明治学院大学 教授 新保 美香 氏
11:40～12:40	昼食・休憩	
12:40～16:25 (研修 210 分) (休憩 15 分)	【講義と演習②】 職員の資質向上と職場（組織）づくり	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
16:25～16:40	休 憩	
16:40～17:40 (60 分)	【講義③】 生活困窮者支援と地域づくりの意義	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏
17:40～17:55 (15 分)	研修の振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:55～18:00	移 動	
18:00～19:30 (90 分)	交流会（会場：大楠）	

日 程 表

【第2日目】8月22日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～12:15 (研修 180 分) (休憩 15 分)	【講義と演習④】 対象者理解を深めるために	【ファシリテーター】 ・明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【コメンテーター】 ・聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センター つながり 所長 上原 久 氏 ・市川市生活サポートセンター そら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 【事例提供者】 ・東御市社会福祉協議会 主任相談支援員 佐藤 もも子 氏 ・奈良県社会福祉協議会 主事 田中 和博 氏
12:15～13:05 (50 分)	昼食・休憩	
13:05～16:50 (研修 210 分) (休憩 15 分)	【講義と演習⑤】 スーパービジョンの実際	・市川市生活サポートセンター そら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センター つながり 所長 上原 久 氏 【事例提供者】 ・いちほら生活相談サポートセンター 主任相談支援員 大戸 優子 氏
16:50～17:00 (10 分)	研修の振り返り（第2日目）	事務局
17:00～18:00 (60 分)	テーマ別交流会（任意参加）	・市川市生活サポートセンター そら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・いちほら生活相談サポートセンター 主任相談支援員 大戸 優子 氏 ・豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 ・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏 ・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こずえ 氏

日 程 表

【第3日目】8月23日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～11:45 (研修 150 分) (休憩 15 分)	【講義と演習⑥】 個を支える地域づくり	【ファシリテーター】 ・日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏 【コメンテーター】 ・豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 【実践報告者】 ・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏 ・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こすえ 氏
11:45～12:35 (50 分)	昼食・休憩	
12:35～14:50 (研修 120 分) (休憩 15 分)	【講義と演習⑦】 社会資源とネットワークの開発	【ファシリテーター】 ・日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏 【コメンテーター】 ・豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 【実践報告者】 ・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏 ・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こすえ 氏
14:50～15:50 (60 分)	【講義⑧】 研修の振り返り・まとめ	日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏
15:50～16:00	アンケート記入、修了式	

【後期】相談支援員養成研修（第1回）

日 程 表

【第1日目】10月17日（木）

時 間	科 目	講 師
13:00～13:30	受 付	
13:30～13:40	オリエンテーション	
13:40～14:00	【導入】 研修のねらいと構成	同志社大学 教授 空閑 浩人 氏
14:00～15:10 (研修 70 分)	【テーマ別講義①】 ギャンブル依存症の理解と相談支援 の視点	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課依存症対策推進室 依存症対策専門官 遠山 朋海 氏
15:10～15:25	休 憩	
15:25～16:35 (研修 70 分)	【テーマ別講義②】 ひきこもりの状態にある方の理解と 支援の視点	一般社団法人 ひきこもり UX 会議 代表理事 林 恭子 氏
16:35～16:50	休 憩	
16:50～17:50 (研修 60 分)	【講義と演習①】 個別支援の基本	同志社大学 教授 空閑 浩人 氏
17:50～18:10 (20 分)	研修の振り返り（第1日目）	
18:10～18:20 (10 分)	交流会会場へ移動	
18:20～19:50 (90 分)	交流会（会場：ロフォス湘南 大楠）	

日 程 表

【第2日目】10月18日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～12:35 (215 分)	【講義と演習②】 相談支援の展開 〔導入（ねらい）〕 〔セッション 1〕 包括的な相談受付 〔セッション 2〕 アセスメント ・初回面接でのポイント	【コーディネーター】 ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏 【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏
12:35～13:35	昼食・休憩	・聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 医療福祉相談室 課長 上原 久 氏
13:35～16:50 (195 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔セッション 2〕 アセスメント ・【ミニ講義 1】援助関係 ・インテーク・アセスメント シートの記入	【演習協力】 ・木更津市役所 福祉部自立支援課 主査 大塚 歩 氏
16:50～17:00 (10 分)	研修の振り返り（第2日目）	事務局

日 程 表

【第 3 日目】10 月 19 日（土）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～11:30 (150 分)	【講義と演習④】 相談支援の展開 〔セッション3〕 プランの実行 ・【ミニ講義 2】多機関との連携 ・プランシートの作成	【コーディネーター】 ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏 【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 医療福祉相談室 課長 上原 久 氏 【演習協力】 ・木更津市役所 福祉部自立支援課 主査 大塚 歩 氏
11:30～12:20	昼食・休憩	
12:20～15:05 (165 分)	【講義と演習④】 相談支援の展開 〔セッション 4〕 評価・終結 ・【ミニ講義 3】終結について 〔全体のまとめ〕	
15:05～15:25 (20 分)	振り返り・修了式	事務局

【後期】相談支援員養成研修（第2回）

日 程 表

【第1日目】11月27日（水）

時 間	科 目	講 師
13:00～13:30	受 付	
13:30～13:40	オリエンテーション	
13:40～14:00	【導入】 研修のねらいと構成	同志社大学 教授 空閑 浩人 氏
14:00～15:10 (研修 70 分)	【テーマ別講義①】 ギャンブル依存症の理解と相談支援 の視点	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課依存症対策推進室 依存症対策専門官 遠山 朋海 氏
15:10～15:25	休 憩	
15:25～16:35 (研修 70 分)	【テーマ別講義②】 ひきこもりの状態にある方の理解と 支援の視点	一般社団法人 ひきこもり UX 会議 理事 石崎 森人 氏
16:35～16:50	休 憩	
16:50～17:50 (研修 60 分)	【講義と演習①】 個別支援の基本	同志社大学 教授 空閑 浩人 氏
17:50～18:10 (20 分)	研修の振り返り（第1日目）	
18:10～18:20 (10 分)	交流会会場へ移動	
18:20～19:50 (90 分)	交流会（会場：カンファレンスルーム 3A・3B）	

日 程 表

【第 2 日目】 11 月 28 日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～12:35 (215 分)	【講義と演習②】 相談支援の展開 〔導入（ねらい）〕 〔セッション 1〕 包括的な相談受付 〔セッション 2〕 アセスメント ・初回面接でのポイント	【コーディネーター】 ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏 【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 医療福祉相談室 課長 上原 久 氏
12:35～13:35	昼食・休憩	
13:35～16:50 (195 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔セッション 2〕 アセスメント ・【ミニ講義 1】 援助関係 ・インテーク・アセスメント シートの記入	【演習協力】 ・米原市役所 健康福祉部社会福祉課 主幹 石田 育子 氏 ・社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 生活支援部生活困窮者支援グループ 主任相談支援員 細羽 英二 氏
16:50～17:00 (10 分)	研修の振り返り（第 2 日目）	事務局

日 程 表

【第 3 日目】11 月 29 日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～11:30 (150 分)	【講義と演習④】 相談支援の展開 〔セッション3〕 プランの実行 ・【ミニ講義 2】多機関との連携 ・プランシートの作成	【コーディネーター】 ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏 【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏
11:30～12:20	昼食・休憩	・聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 医療福祉相談室 課長 上原 久 氏
12:20～15:05 (165 分)	【講義と演習④】 相談支援の展開 〔セッション4〕 評価・終結 ・終結について 〔全体のまとめ〕	【演習協力】 ・米原市役所 健康福祉部社会福祉課 主幹 石田 育子 氏 ・社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 生活支援部生活困窮者支援グループ 主任相談支援員 細羽 英二 氏
15:05～15:25 (20 分)	振り返り・修了式	事務局

【後期】就労支援員養成研修

日 程 表

【第1日目】12月11日（水）

時 間	科 目	講 師
12:30～13:00	受 付	
13:00～13:10	オリエンテーション	
13:10～14:40 (90 分)	【講義と演習①】はじめに	明治学院大学 教授 新保 美香 氏
14:40～14:55 (15 分)	休 憩	
14:55～15:40 (45 分)	【行政説明】 生活困窮者自立支援制度における 就労支援について	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 泰彦 氏
15:40～15:55 (15 分)	休 憩	
15:55～18:05 (130 分)	【講義と演習②】 ひきこもりの状態の方のアウトリ ーチ支援の実際	NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
18:05～18:15 (10 分)	研修の振り返り（1日目）	事務局
18:15～18:30	交流会会場へ移動	
18:30～20:00 (90 分)	交流会	

日 程 表

【第2日目】12月12日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開場	
9:00～11:00 (120分)	【講義と演習③】 地域づくり、自治体による 就労支援について	【コーディネーター】 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【報告者】 - 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 - A' ワーク創造館(大阪地域職業訓練センター) 就労支援室 室長 西岡 正次 氏
11:00～11:10 (10分)	休憩	
11:10～12:35 (85分)	【講義と演習④】 多様なメニューづくり	沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナルサポートセンター 統括責任者 名嘉 泰 氏
12:35～13:35 (60分)	昼食休憩	
13:35～14:30 (55分)	【講義⑤】 企業訪問、開拓について	一般社団法人 パーソナルサポートセンター 常務理事 立岡 学 氏
14:30～14:45 (15分)	休憩	
14:45～17:00 (135分)	【講義と演習⑥】 「環境支援型」就労支援～ 企業とのチーム支援の手法～	一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏
17:00～17:10 (10分)	研修の振り返り（第2日目）	事務局
17:10～18:10 (60分)	テーマ別交流会・任意参加	- 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 - 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 - 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 泰彦 氏

日 程 表

【第3日目】12月13日（金）

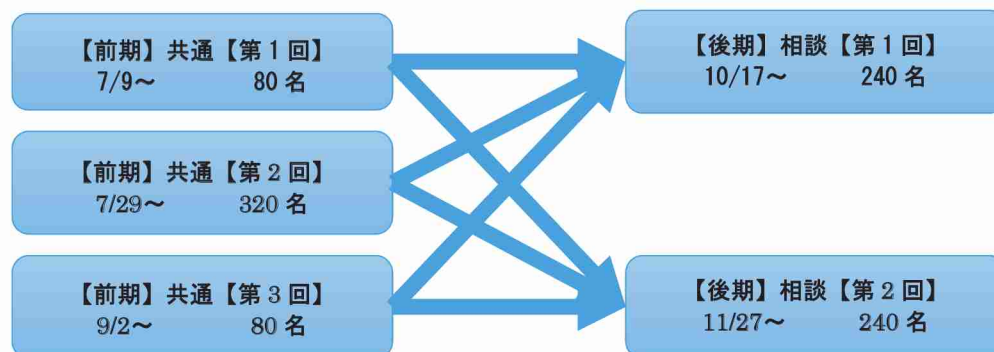
時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～10:05 (65 分)	【講義⑦】 就労支援における出口づくり～企業へのアプローチ～	東近江圏域 働き・暮らし応援センター “Tekito-” センター長 野々村 光子 氏
10:05～10:20 (15 分)	休 憩	
10:20～11:25 (65 分)	【講義と演習⑧】 地域をつくる就労支援	NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡 事務局長 池田 佳寿子 氏
11:25～12:25 (60 分)	昼食休憩	
12:25～14:25 (120 分)	【講義と演習⑨】 研修全体のまとめ	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
14:25～14:55 (30 分)	まとめ・振り返り・修了式	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 事務局

3 職種別の受講パターン

(1) 主任相談支援員 (240 名)



(2) 相談支援員 (480 名)



相談支援員は、【前期】、【後期】それぞれ受講希望回を受講申込書にて確認。
受講回の決定は事務局および厚生労働省が行う。

(3) 就労支援員 (240 名)



4 受講対象

(1) 主任相談支援員養成研修

自立相談支援事業において主任相談支援員として配置されている者。

なお、以下の①～③までのいずれかに該当する者。

- ①社会福祉士、精神保健福祉士、保健師として保健、医療、福祉、就労、教育等の分野における業務に5年以上従事している者であり、かつ、生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に3年以上従事している者
- ②生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に5年以上従事している者
- ③相談支援業務に準ずる業務として、実施主体である地方自治体の長が認めた業務に5年以上従事している者

(2) 相談支援員養成研修

自立相談支援事業において相談支援員として配置されている者。なお、相談支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への相談支援を適切に行うことができる者。

(3) 就労支援員養成研修

自立相談支援事業において就労支援員として配置されている者。なお、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる者。

※受講者は選考を行い決定する。選考は下記に基づいて行われる。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成31年4月4日付社援発 0404 第4号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成31年4月19日付厚生労働省事務連絡）

5 受講者定員

各回 240 名

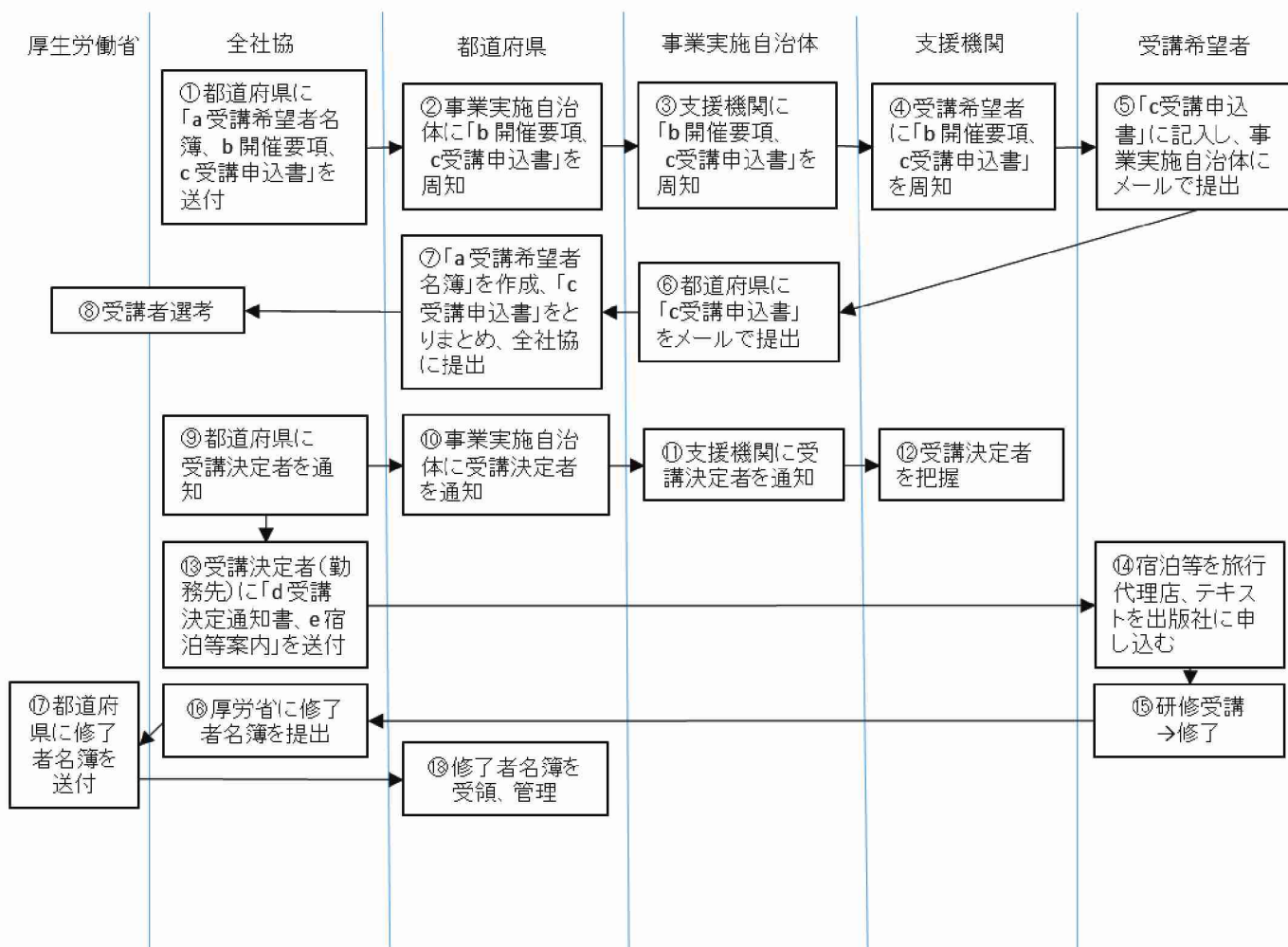
※平成31年4月19日付厚生労働省事務連絡に基づき、各都道府県の各研修受講者枠を定めている。

6 テキスト

各研修で、下記のテキストを使用する。受講者が各自用意する（自己負担）。

- ①『生活困窮者自立支援法 自立相談支援事業従事者養成研修テキスト』（中央法規出版株式会社）

7 申込みから受講、修了までの流れ



8 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付する。
- (2) 修了要件は以下のとおりである。

- ①前・後期のすべての科目に出席すること。
- ②前期終了後の事後課題を提出すること（課題を課した場合）。
- （３）修了証書は、後期研修終了時に受講者本人に授与する。
- （４）都道府県には、厚生労働省から修了者名簿を送付する。

◆就労準備支援事業従事者養成研修

1 研修の目的

生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業において配置される就労準備支援担当者を対象とした養成研修を実施した。

複合的な課題を抱え、直ちに就労が困難な者に対して、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援するため、就労準備支援事業に従事する者に必要とされる姿勢・知識・能力を習得することを目的とした。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研 修 名	日 程	定員	会 場
就労準備支援事業 従事者養成研修	10月7日（月）～10月9日（水）	120名	タイム24ビル

<会場>

タイム24ビル 研修室131

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32

2019 年度 就労準備支援事業従事者養成研修

日 程 表

【第1日目】 10月7日（月）

時 間	科 目	講 師
12:30～13:00	受付	
13:00～13:20 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:20～14:20 (60 分)	【講義①】 生活困窮者自立支援法と就労準備支援 事業の基本的な考え方	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 泰彦 氏
14:20～15:05 (45 分)	【講義②】 これまでの取組実績と考え方	一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏
15:05～15:25 (15 分)	休憩	
15:25～16:50 (85 分)	【事例発表③】 自立相談支援機関との連携	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 就労支援専門官 佐藤 圭司 氏 【報告者】 ・那覇市パーソナルサポートセンター 総括責任者 名嘉 泰 氏 ・NPO 法人 インクルージョンセンター東京オレンヂ 主任就労準備支援員 八木 孝道 氏
16:50～17:00 (10 分)	研修の振り返り（第1日目）	
17:00～17:20	交流会会場へ移動	
17:20～18:20 (60 分)	交流会（任意参加）	

日 程 表

【第2日目】10月8日（火）

時 間	科 目	講 師
9:00～9:30 (30分)	受付	
9:30～12:00 (150分) 途中休憩	【講義と演習④】 ひきこもりの状態の方のアウトリー チ支援の実際	NPO スチューデント・サポート・フェイス 代 表理事 谷口 仁史 氏
12:00～12:50	昼食・休憩	
12:50～14:20 (90分)	【事例発表⑤】 就労体験を中心とした取り組み	京都自立就労サポートセンター 主任就労支援相談員 高橋 尚子 氏
14:20～14:35 (15分)	休憩	
14:35～16:05 (90分)	【講義と演習⑥】 本人の状態に応じた多様なメニュー 開発	沖縄県おしごと応援センター One×One（ワンバイワン） センター長 岡野 みゆき 氏
16:05～16:15 (10分)	休憩	
16:15～17:45 (90分)	【講義と演習⑦】 企業開拓について	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 泰彦 氏 【コメンテーター】 A' ワーク創造館(大阪地域職業訓練センタ ー) 就労支援室 室長 西岡 正次 氏 【報告者】 NPO 法人わかもの就労ネットワーク 副 代表理事 佐藤 洋作 氏 埼玉県障害者雇用総合サポートセンター 企業支援部門長 岡濱 君枝 氏
17:45～17:50 (5分)	研修の振り返り（第2日目）	
17:50～18:50 (60分)	意見交換会（任意参加）	

日 程 表

【第3日目】10月9日（水）

時 間	科 目	講 師
9:00～9:30	受付	
9:30～10:30 (60 分)	【講義⑧】 対象者別の特性理解	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官 加藤 永歳 氏
10:30～10:45 (15 分)	休憩	
10:45～12:25 (100 分)	【講義と演習⑨】 支援関係の構築	【コーディネーター】 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【コメンテーター】 NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏 白井市くらしと仕事のサポートセンター 生活クラブ 風の村 主任相談支援員 岡 靖裕 氏
12:25～13:25 (60 分)	昼食・休憩	
13:25～15:25 (120 分)	【講義と演習⑩】 3日間の振り返りとまとめ	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 就労支援係 谷口 祐樹 氏
15:25～15:45 (20 分)	振り返り（第3日目） 修了式	

3 受講対象者

就労準備支援事業において就労準備支援担当者として配置されている者。

なお、対象者の選定に当たっては、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる人材が望ましい。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成31年4月4日付社援発 0404 第4号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成31年4月19日付厚生労働省事務連絡）

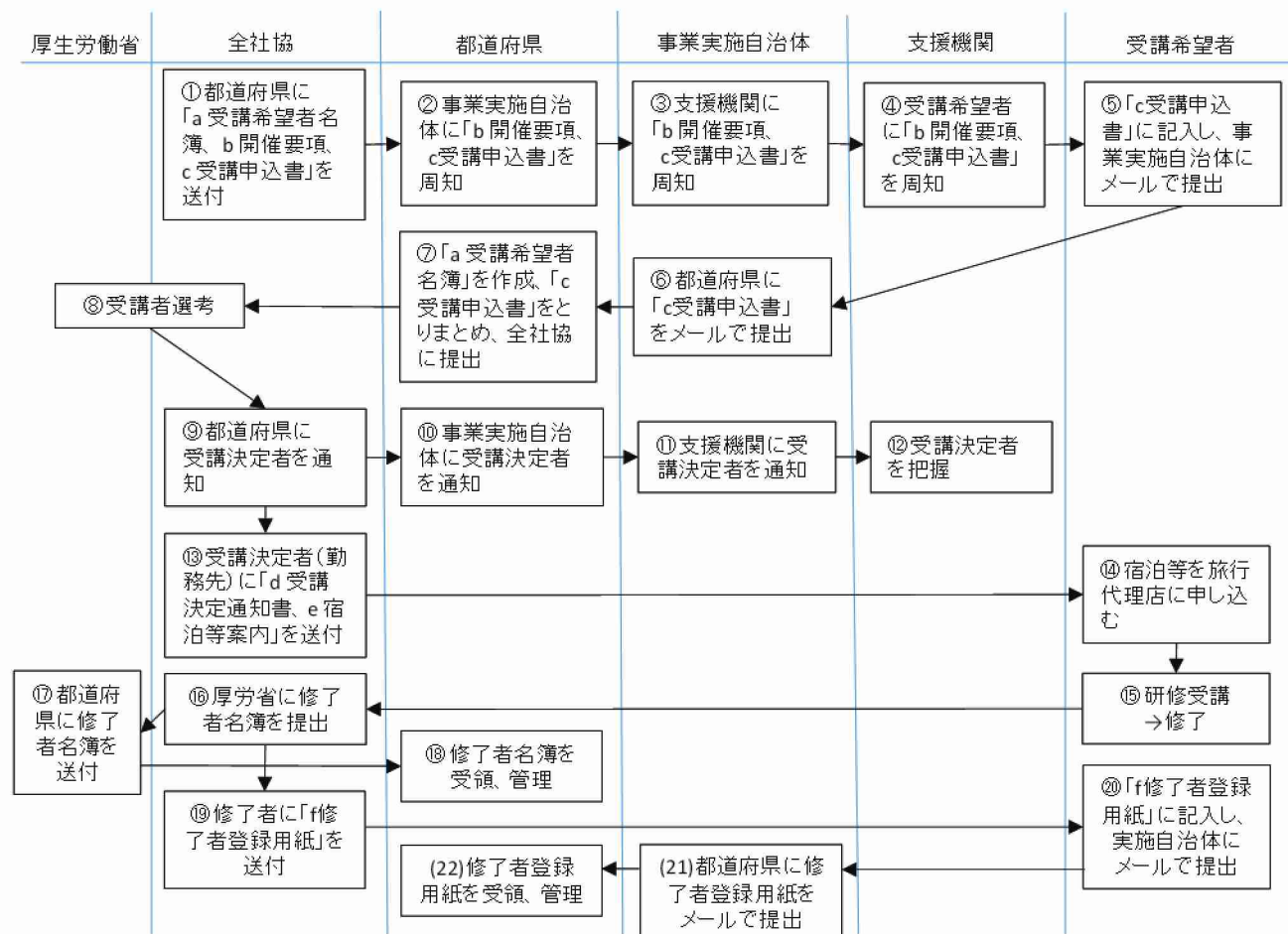
4 研修の受講定員

120名

5 テキスト

テキストとして、有償の書籍は使用しない。

6 申込みから受講までの流れ



7 修了証書の交付

(1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付する。

(2) 修了要件は以下のとおりである。

①すべての科目に出席すること。

(3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人に授与する。

(4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿を送付する。

◆家計改善支援事業従事者養成研修

1 研修の目的

生活困窮者自立支援制度の家計改善支援事業において配置される家計改善支援員を対象とした養成研修を実施した。

生活困窮の背景にある根源的な課題を相談者とともに理解し、相談者自身が主体的に「家計を管理しよう」という意欲を引き出すための、支援姿勢や方法等を学ぶことを目的とする。加えて、相談者が再び生活困窮状態になることを予防する観点からも、家計改善支援のねらいや基本的な考え方を十分に理解したうえで、効率的かつ確実に支援を行うための技術を習得し、家計改善支援事業に従事する者の資質の確保・向上を図ることを目的とした。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研 修 名	日 程	定員	会 場
第1回 家計改善支援事業従事者養成研修	6月12日（水）～6月14日（金）	60名	全社協・会議室
第2回 家計改善支援事業従事者養成研修	8月7日（水）～8月9日（金）	60名	全社協・会議室
第3回 家計改善支援事業従事者養成研修	9月25日（水）～27日（金）	60名	全社協・会議室
第4回 家計改善支援事業従事者養成研修	11月13日（水）～15日（金）	60名	ガーデンシティ東梅田

<会場>

【第1.2.3回】 全国社会福祉協議会（5階 会議室）
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

【第4回】 T K P ガーデンシティ東梅田 バンケット7A
〒540-6591 大阪市中央区大手前 1-7-31

2019 年度 家計改善支援事業従事者養成研修【第 1 回】

日 程 表

【第 1 日目】 6 月 12 日（水）

時 間	科 目	講 師
12:40～13:20	受 付	
13:20～13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10 (30 分)	【講義①】 行政説明「家計改善支援事業の動向」	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 相談支援係 主査 高野 仁士 氏
14:10～14:40 (30 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
14:40～15:30 (50 分)	【講義③】 生活保護制度について	厚生労働省 社会・援護局 生活保護課 保護事業室 室長補佐 清水 修 氏
15:30～15:45 (15 分)	休 憩	
15:45～16:45 (60 分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の解 決方法の理解	日本司法支援センター 本部 第一事業部付 常勤弁護士 鍋木 信行 氏
16:45～16:50 (5 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
16:50～17:40 (50 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第2日目】 6月13日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～9:50	導入：グリーンコープ生活協同組合連合会の紹介と家計改善支援の出発点について	
9:50～12:10 (130 分) (休憩 10 分)	【講義⑤】 家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れとポイントを理解する	グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
12:10～13:10	昼 食 休 憩	
13:10～14:10 (60 分)	【講義⑥】 家計改善支援でうまくいかなかったのはなぜか？	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●藤浦 久美 氏 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 とくしま・くらしサポートセンター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏
14:10～14:20	休 憩	
14:20～15:20 (60 分)	【講義⑦】 相談者に学ぶ家計改善支援のあり方～相談者のエンパワメントを高めるには～	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●一丸 直子 氏 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 とくしま・くらしサポートセンター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏
15:20～15:35	休 憩・体 操	
15:35～17:55 (130 分) (休憩 10 分)	【実習①】 家計改善支援の実務	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●近澤 和子 氏
17:55～18:00 (5 分)	研修の振り返り（第2日目）	

日 程 表

【第3日目】 6月14日（金）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～12:10 (150分) (休憩10分)	【実習②】 相談時家計表、家計計画表、ライフイベント表、キャッシュフロー表の作成	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 中島 明美 氏 ●北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
12:10～13:10	昼 食 休 憩	
13:10～14:00 (50分)	【実習③】 家計再生プランの作成と貸付あっせん書の作成	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●中島 明美 氏
14:00～14:10 (10分)	休 憩・体 操	
14:10～15:00 (50分)	【実習④】 高齢者向けの家計改善支援ツール	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 中島 明美 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 ●丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
15:00～15:15	休 憩	
15:15～16:15 (50分)	全体の質疑・応答	講師全員
16:15～16:30 (15分)	全体の振り返り・修了式	

2019 年度 家計改善支援事業従事者養成研修【第 2 回】

日 程 表

【第 1 日目】 8 月 7 日（水）

時 間	科 目	講 師
12:40～13:20	受 付	
13:20～13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10 (30 分)	【講義①】 行政説明「家計改善支援事業の動向」	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 氏
14:10～14:40 (30 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
14:40～15:30 (50 分)	【講義③】 生活保護制度について	厚生労働省 社会・援護局 保護課 保護事業室 室長補佐 清水 修 氏
15:30～15:45 (15 分)	休 憩	
15:45～16:45 (60 分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の解決方法の理解	日本司法支援センター 本部 第一事業部付 常勤弁護士 鍋木 信行 氏
16:45～16:50 (5 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
16:50～17:40 (50 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第2日目】 8月8日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～9:50	導入：グリーンコープ生活協同組合連合会の紹介と家計改善支援の出発点について	
9:50～12:10 (130 分) (休憩 10 分)	【講義⑤】 家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れとポイントを理解する	グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
12:10～13:10	昼 食 休 憩	
13:10～14:10 (60 分)	【講義⑥】 家計改善支援でうまくいかなかったのはなぜか？	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●藤浦 久美 氏 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 とくしま・くらしサポートセンター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏
14:10～14:20	休 憩	
14:20～15:20 (60 分)	【講義⑦】 相談者に学ぶ家計改善支援のあり方～相談者のエンパワメントを高めるには～	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●一丸 直子 氏 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 とくしま・くらしサポートセンター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏
15:20～15:35	休 憩・体 操	
15:35～17:55 (130 分) (休憩 10 分)	【実習①】 家計改善支援の実務	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●近澤 和子 氏
17:55～18:00 (5 分)	研修の振り返り（第2日目）	

日 程 表

【第3日目】 8月9日（金）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～12:10 (150分) (休憩 10分)	【実習②】 相談時家計表、家計計画表、ライフイベント表、キャッシュフロー表の作成	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 中島 明美 氏 ●北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
12:10～13:10	昼 食 休 憩	
13:10～14:10 (60分)	【実習③】 家計再生プランの作成と貸付あっせん書の作成	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●中島 明美 氏
14:10～14:20 (10分)	休 憩・体 操	
14:20～15:10 (50分)	【実習④】 高齢者向けの家計改善支援ツール	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 中島 明美 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 ●丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
15:10～15:25	休 憩	
15:25～16:15 (50分)	全体の質疑・応答	講師全員
16:15～16:30 (15分)	全体の振り返り・修了式	

2019 年度 家計改善支援事業従事者養成研修【第 3 回】

日 程 表

【第 1 日目】 9 月 25 日（水）

時 間	科 目	講 師
12:40～13:20	受 付	
13:20～13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10 (30 分)	【講義①】 行政説明「家計改善支援事業の動向」	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 相談支援係 主査 高野 仁士 氏
14:10～14:40 (30 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
14:40～15:30 (50 分)	【講義③】 生活保護制度について	厚生労働省 社会・援護局 保護課 保護事業室 室長補佐 清水 修 氏
15:30～15:45 (15 分)	休 憩	
15:45～16:45 (60 分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の解 決方法の理解	日本司法支援センター 本部 第一事業部付 常勤弁護士 鍋木 信行 氏
16:45～16:50 (5 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
16:50～17:40 (50 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第2日目】 9月26日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～9:30	受 付	
9:30～9:50	導入：グリーンコープ生活協同組合連合会の紹介と家計改善支援の出発点について	
9:50～12:10 (130 分) (休憩 10 分)	【講義⑤】 家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れとポイントを理解する	グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
12:10～13:10	昼 食 休 憩	
13:10～14:10 (60 分)	【講義⑥】 家計改善支援でうまくいかなかったのはなぜか？	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●藤浦 久美 氏 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 とくしま・くらしサポートセンター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏
14:10～14:20	休 憩	
14:20～15:20 (60 分)	【講義⑦】 相談者に学ぶ家計改善支援のあり方～相談者のエンパワメントを高めるには～	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●一丸 直子 氏 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 とくしま・くらしサポートセンター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏
15:20～15:35	休 憩・体 操	
15:35～17:55 (130 分) (休憩 10 分)	【実習①】 家計改善支援の実務	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●近澤 和子 氏
17:55～18:00 (5 分)	研修の振り返り（第2日目）	

日 程 表

【第3日目】 9月27日（金）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～12:10 (150分) (休憩 10分)	【実習②】 相談時家計表、家計計画表、ライフイベント表、キャッシュフロー表の作成	グリーンコープ生活協同組合連合会 藤浦 久美 氏 中島 明美 氏 ●北島 千恵 氏 一丸 直子 氏 丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
12:10～13:10	昼 食 休 憩	
13:10～14:10 (60分)	【実習③】 家計再生プランの作成と貸付あっせん書の作成	グリーンコープ生活協同組合連合会 一丸 直子 氏 ●中島 明美 氏
14:10～14:25 (15分)	休 憩・体 操	
14:25～15:15 (50分)	【実習④】 高齢者向けの家計改善支援ツール	グリーンコープ生活協同組合連合会 近澤 和子 氏 中島 明美 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 ●丸山 恵子 氏
15:15～15:25	休 憩	
15:25～16:15 (50分)	全体の質疑・応答	講師全員
16:15～16:30 (15分)	全体の振り返り・修了式	

2019 年度 家計改善支援事業従事者養成研修【第 4 回】

日 程 表

【第 1 日目】 11 月 13 日（水）

時 間	科 目	講 師
12:40～13:20	受 付	
13:20～13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10 (30 分)	【講義①】 行政説明「家計改善支援事業の動向」	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 氏
14:10～14:40 (30 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
14:40～15:30 (50 分)	【講義③】 生活保護制度について	厚生労働省 社会・援護局 保護課 保護事業室 自立支援・就労支援係 泉 雄祐 氏
15:30～15:45 (15 分)	休 憩	
15:45～16:45 (60 分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の解 決方法の理解	日本司法支援センター 本部 事務局長付 常勤弁護士 鍋木 信行 氏
16:45～16:50 (5 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
16:50～17:40 (50 分)	交流会（任意参加）	

日 程 表

【第2日目】 11月14日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～9:50	導入：グリーンコープ生活協同組合連合会の紹介と家計改善支援の出発点について	
9:50～12:10 (130 分) (休憩 10 分)	【講義⑤】 家計改善支援の基本的な考え方と相談の 流れとポイントを理解する	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●藤浦 久美 氏
12:10～13:10	昼 食 休 憩	
13:10～15:30 (130 分) (休憩 10 分)	【実習①】 家計改善支援の実務	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●近澤 和子 氏
15:30～15:45	休 憩・体 操	
15:45～16:45 (60 分)	【講義⑥】 家計改善支援でうまくいかなかったのは なぜか？	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●中島 明美 氏 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 とくしま・くらしサポートセン ター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏
16:45～16:55	休 憩	
16:55～17:55 (60 分)	【講義⑦】 相談者に学ぶ家計改善支援のあり方～相談 者のエンパワメントを高めるには～	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 ●一丸 直子 氏 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課 とくしま・くらしサポートセン ター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏
17:55～18:00 (5 分)	研修の振り返り（第2日目）	

日 程 表

【第3日目】 11月15日（金）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～12:10 (150分) (休憩 10分)	【実習②】 相談時家計表、家計計画表、ライフイベント表、キャッシュフロー表の作成	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 中島 明美 氏 ●北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
12:10～13:10	昼 食 休 憩	
13:10～14:10 (60分)	【実習③】 家計再生プランの作成と貸付あっせん書の作成	グリーンコープ生活協同組合連合会 一丸 直子 氏 ●中島 明美 氏
14:10～14:25 (15分)	休 憩・体 操	
14:25～15:15 (50分)	【実習④】 高齢者向けの家計改善支援ツール	グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏 中島 明美 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 ●丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
15:15～15:25 (10分)	休 憩	
15:25～16:15 (50分)	全体の質疑・応答	講師全員
16:15～16:30 (15分)	全体の振り返り・修了式	

3 受講対象者

家計改善支援事業において家計相談支援員として配置されている者及び被保護者家計改善支援事業の相談支援に従事する者。

なお、対象者の選定に当たっては、相談支援に関わる知識・技術、家計管理に関わる知識・技術、社会保障制度や金融に関わる知識等を有していることが必要であり、以下の①から⑤のような人材が考えられる。

- ① 消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー又は消費生活コンサルタントの資格を有する者
- ② 社会福祉士の資格を有する者
- ③ 社会保険労務士の資格を有する者
- ④ ファイナンシャルプランナーの資格を有する者
- ⑤ 上記①～④に掲げる者と同等の能力または実務経験を有する者

※受講者は選考を行い決定する。選考は下記に基づいて行われる。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 31 年 4 月 4 日付社援発 0404 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 31 年 4 月 19 日付厚生労働省事務連絡）
- ・「被保護者家計相談支援事業の実施について」（平成 31 年 3 月 29 日付社援保発 0329 第 4 号厚生労働省社会・援護局保護課長通知）

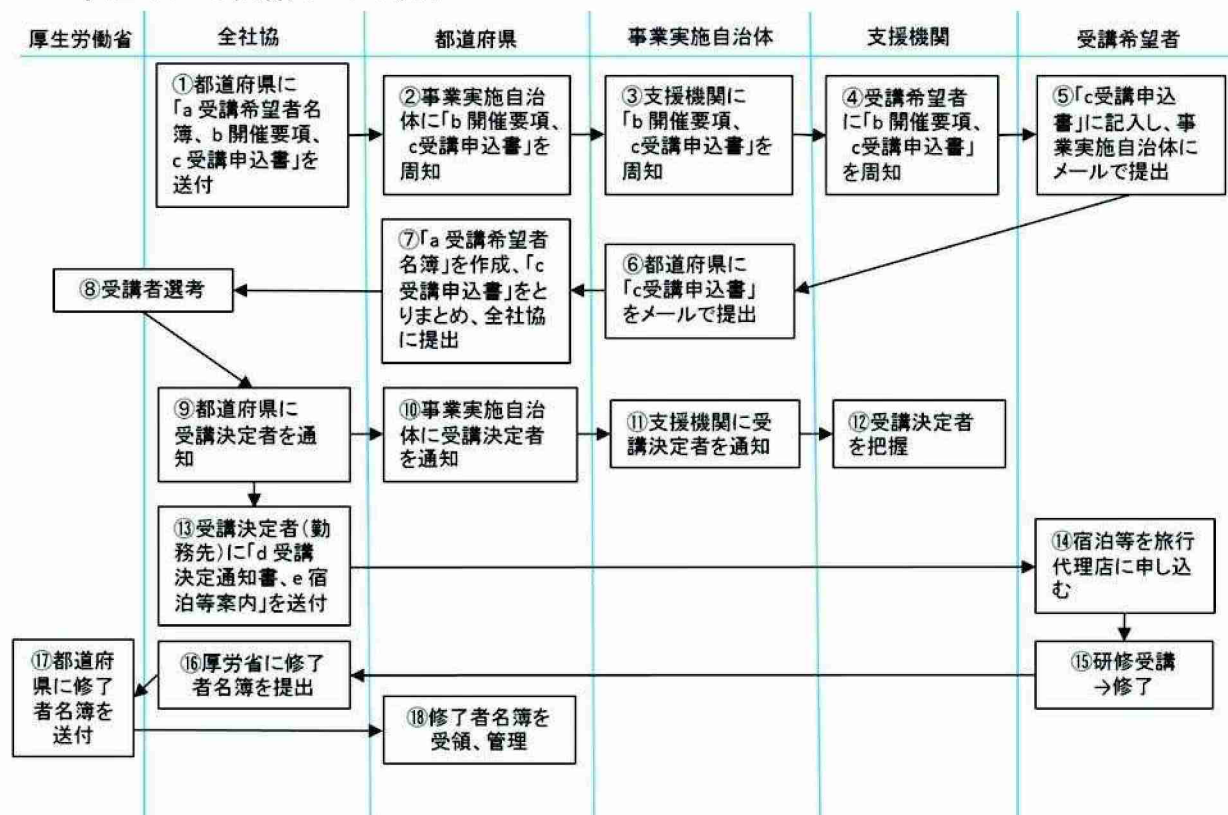
4 研修の受講定員

1 回あたり 60 名

5 テキストおよびノートパソコン

- （１）テキストとして、有償の書籍は使用しない。
- （２）第 3 日目においてノートパソコン（Microsoft Word、Microsoft Excel を使用）を使用する。持参できない方に対して、レンタルサービスを提供する。

6 申込みから受講までの流れ



7 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付する。
- (2) 修了要件は以下のとおりである。
 - ①すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人に授与する。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿を送付する。

◆都道府県研修に係る担当者研修

1 研修の目的および種類

自立相談支援事業に従事する者等に対し、都道府県が独自性を持ち、国が実施する研修を基に地域における支援ニーズを加味して行う研修（以下「都道府県研修」という。）の内容の充実を図るため、効果的な都道府県研修の企画検討に関する講義・演習等を行い、都道府県研修の企画立案・運営に携わり中核的な役割を担う者を養成することを目的とした。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研 修 名	日 程	会 場
【前期】 都道府県研修に係る担当者研修	2019 年 5 月 29 日（水）	全社協・会議室
【後期】 都道府県研修に係る担当者研修	2020 年 1 月 28 日（火）	東京駅・セントラル カンファレンスセンター

<会場>

【前期】 全国社会福祉協議会 （5階 会議室）
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

【後期】 T K P 東京駅セントラルカンファレンスセンター ホール 11 A
〒103-0028 東京都中央区八重洲 1 丁目 8-16 新槇町ビル

2019 年度 【前期】 都道府県研修に係る担当者研修

日 程 表

5 月 29 日（水）

時 間	科 目	講 師
10:00～10:30 (30 分)	受 付	
10:30～10:35 (5 分)	挨拶・オリエンテーション 厚生労働省 全国社会福祉協議会	
10:35～10:55 (20 分)	行政説明	◆厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 包括的支援体制整備推進官 鏑木 奈津子氏
10:55～11:25 (30 分)	【講義と演習】 生活困窮者自立支援における 人材養成について	◆明治学院大学 教授 新保 美香 氏
11:25～12:15 (50 分)	昼食・休憩	
12:15～13:15 (60 分)	【講義と演習】 都道府県における研修の 取り組みについて	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室 就労支援専門官 佐藤 圭司 氏 【コメンテーター】 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【事例発表】 愛知県 福祉局福祉部地域福祉課 課長補佐 羽生 康一 氏 栃木県 保健福祉部保健福祉課 副主幹 法師人 昇 氏
13:15～13:30 (15 分)	休憩	

時 間	科 目	講 師
13:30～17:20 (230 分) (15 分休憩)	【講義と演習】 効果的な研修の企画・立案	◆九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 ◆明治学院大学 教授 新保 美香 氏
17:20～17:30 (10 分)	アンケート記入、事務連絡等	
17:30～18:30 (60 分)	研修企画相談会（任意参加） 加留部先生に質問や相談をすることができます。	

2019 年度 【後期】 都道府県研修に係る担当者研修

日 程 表

1 月 28 日 (火)

時 間	科 目	講 師
10:30～11:00 (30 分)	受 付	
11:00～11:15 (15 分)	挨拶・オリエンテーション	
11:15～11:30 (15 分)	行政説明	◆厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 氏
11:30～12:30 (60 分)	【講義と演習】 今年度実施した研修の振り返り	◆九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
12:30～13:30	昼食・休憩	
13:30～14:40 (70 分)	【講義と演習】 都道府県における研修の 取り組みについて	【コーディネーター】 ・厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏 ・厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 就労支援専門官 佐藤 圭司 氏 【コメンテーター】 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 【事例発表】 ・神奈川県福祉子どもみらい局福祉部 生活援護課 主事 久保田 俊也 氏 ・山口県健康福祉部厚政課 保護医療班 主任主事 村田 一紘 氏
14:40～14:55	休憩	
14:55～16:50 (115 分) (15 分休憩)	【講義と演習】 効果的な研修の企画・立案	◆九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
16:50～16:55 (5 分)	アンケート記入、事務連絡等	

3 受講対象者

都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者 ※主に①②を想定。

①都道府県の研修担当者

②国が実施する研修の修了者（条件：平成 26-30 年度自立相談支援事業従事者養成研修の修了者）

③その他、都道府県研修の企画立案や実施に関わる者。

4 研修の受講定員

【前期】 140 名

【後期】 132 名

◆全研修の受講者数と修了者数

	主任相談 支援員 養成研修	相談 支援員 養成研修	就労 支援員 養成研修	就労準備 支援事業 従事者 養成演習	家計改善 支援事業 従事者 養成研修	合計
受講者数※1	214 名	388 名	193 名	143 名	221 名	1,159 名
修了者数	202 名	358 名	188 名	140 名	215 名	1,103 名

※1：受講決定通知を発行した人数

■【前期】共通カリキュラム（実際の受講者数）

【第1回】 272 名（主任 133 名、相談 109 名、就労 25 名、前期のみ受講 22 名）

【第2回】 177 名（主任 9 名、相談 147 名、就労 13 名、前期のみ受講 13 名）

【第3回】 194 名（主任 1 名、相談 81 名、就労 100 名、前期のみ受講 18 名）

【前期免除】 126 名（主任 59 名、相談 21 名、就労 50 名）

※後期研修は複数受講している場合があり、各回の合計数は合わない。

■ 相談支援員養成研修 受講者数と修了者数の内訳

受講者数 388 名（第1回 215 名、第2回 173 名）

修了者数 358 名（第1回 198 名、第2回 160 名）

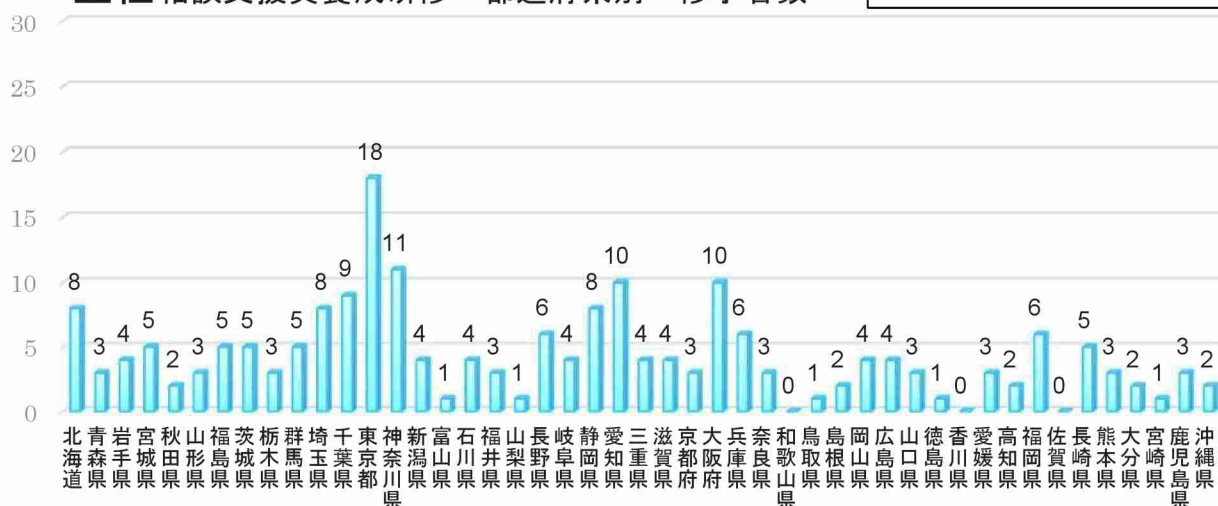
■ 都道府県研修に係る担当者研修

前期 受講者数 85 名

後期 受講者数 75 名

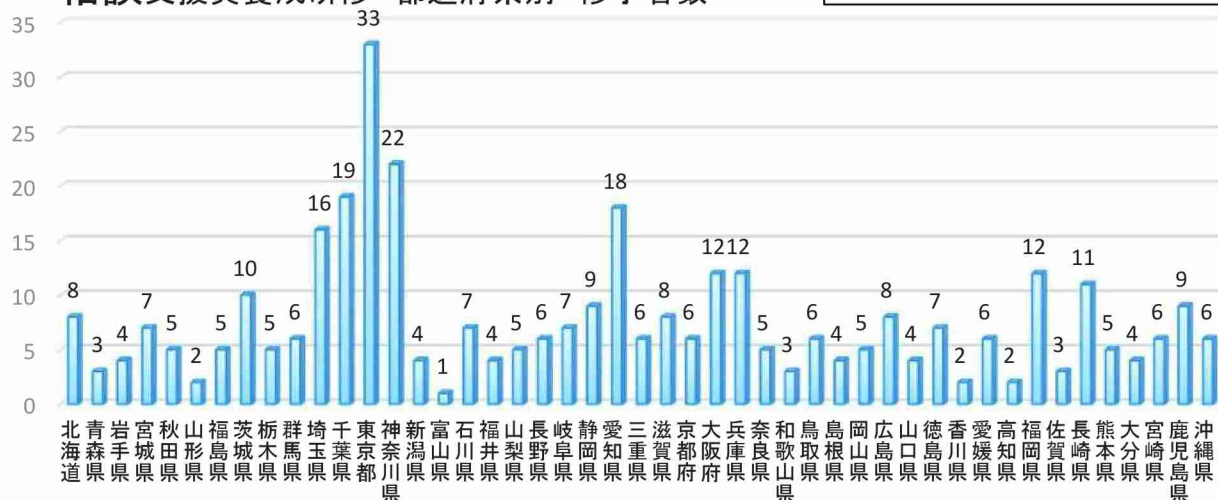
主任相談支援員養成研修 都道府県別 修了者数

修了者202名／受講者214名



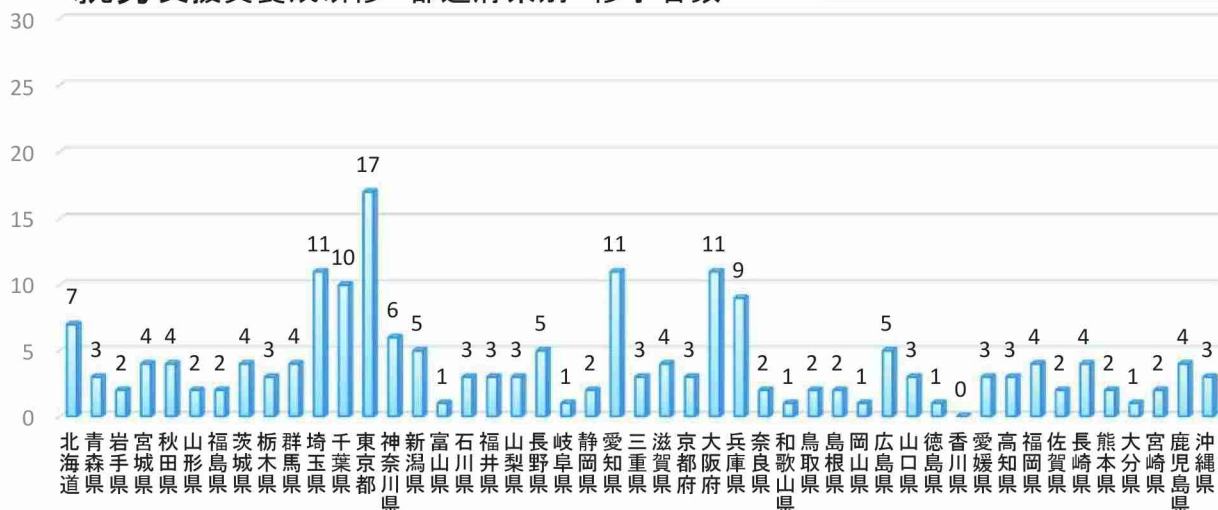
相談支援員養成研修 都道府県別 修了者数

修了者358名／受講者388名

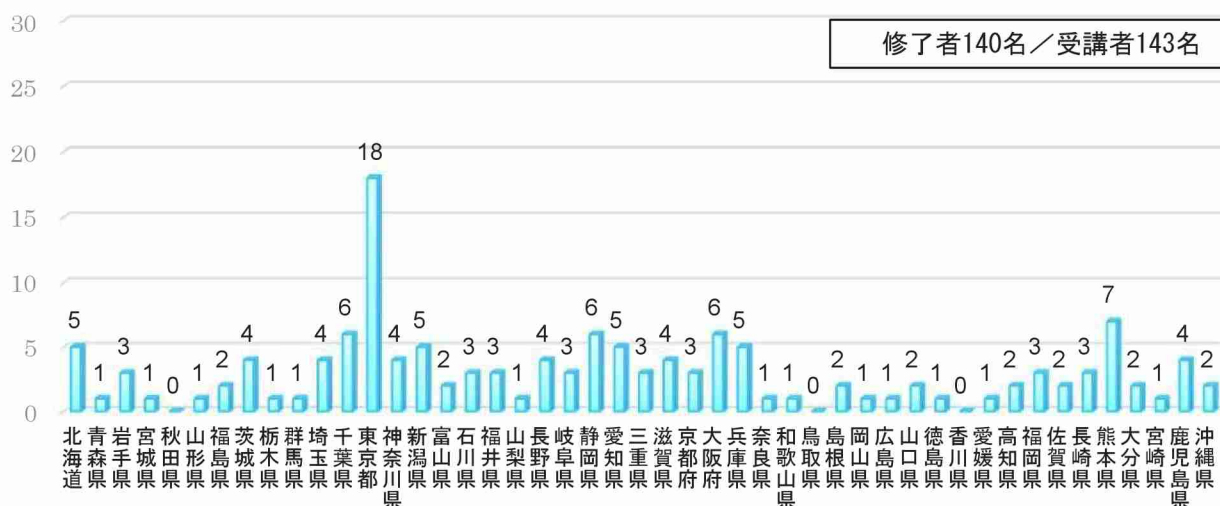


就労支援員養成研修 都道府県別 修了者数

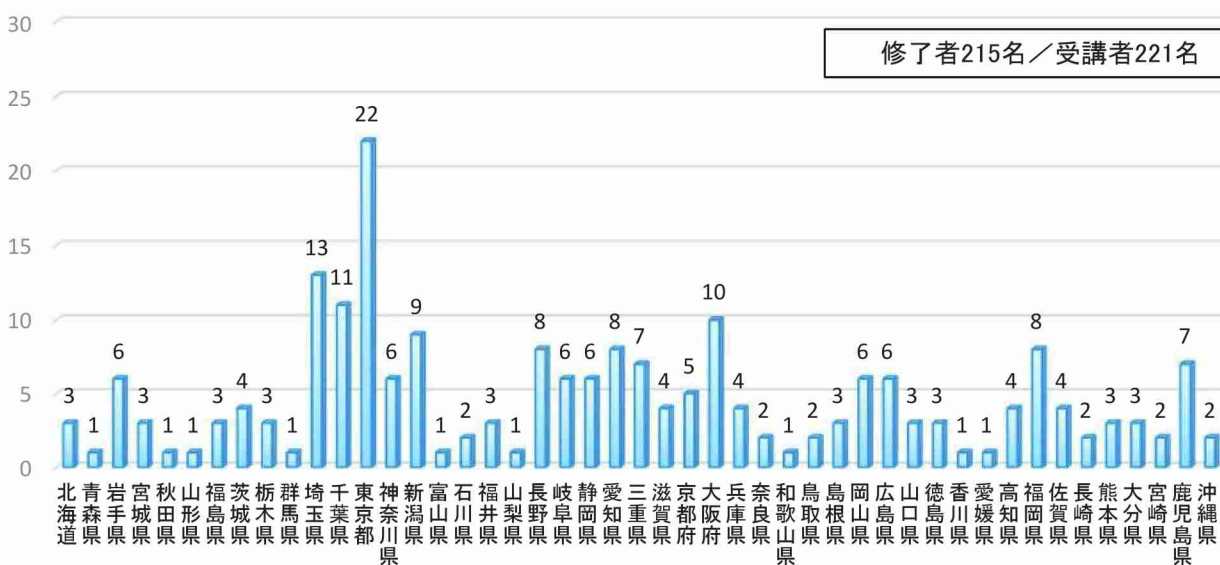
修了者188名／受講者193名



就労準備支援事業従事者養成研修 都道府県別 修了者数



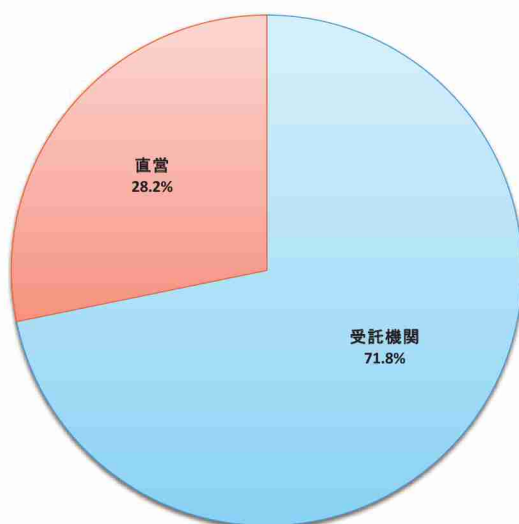
家計改善支援事業従事者養成研修 都道府県別 修了者数



2019年度
自立相談支援事業従事者養成研修
主任相談支援員養成研修
修了者属性傾向

2019年度 主任相談支援員養成研修 修了者の割合

	人数
受託機関	145
直営	57
計	202



2019年度 主任相談支援員養成研修 修了者の男女比



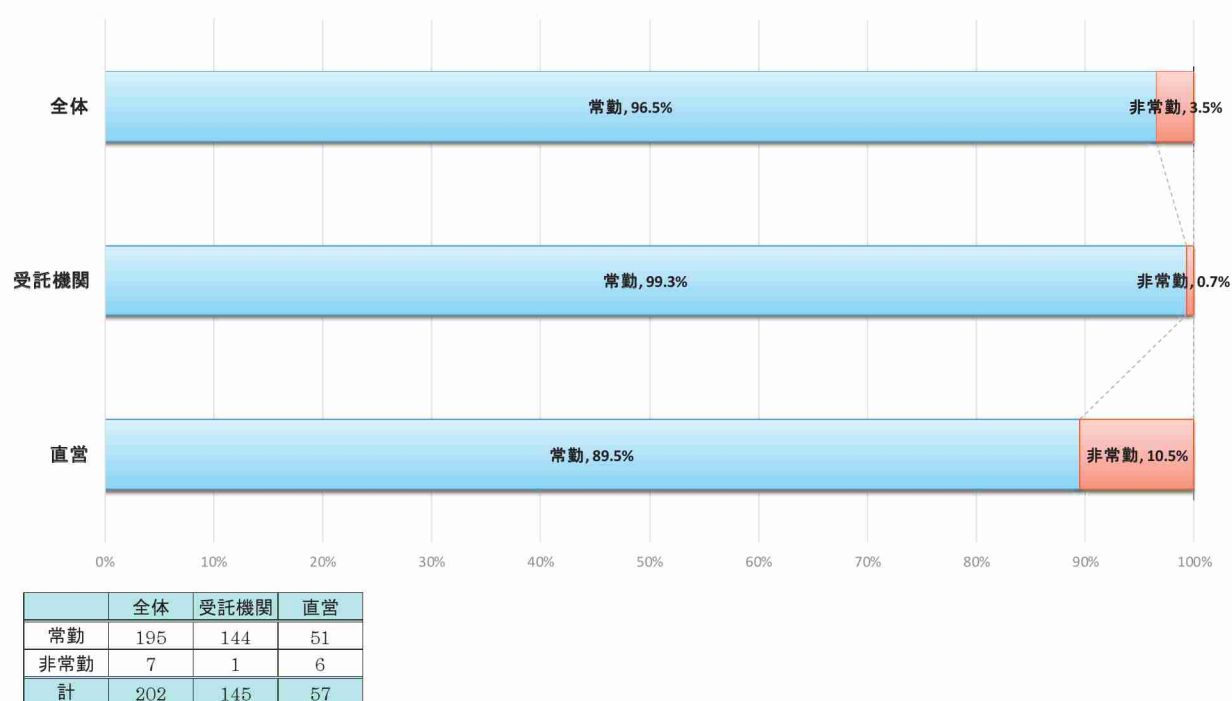
	全体	受託機関	直営
男	119	81	38
女	83	64	19
計	202	145	57

2019年度 主任相談支援員養成研修 修了者の年齢構成

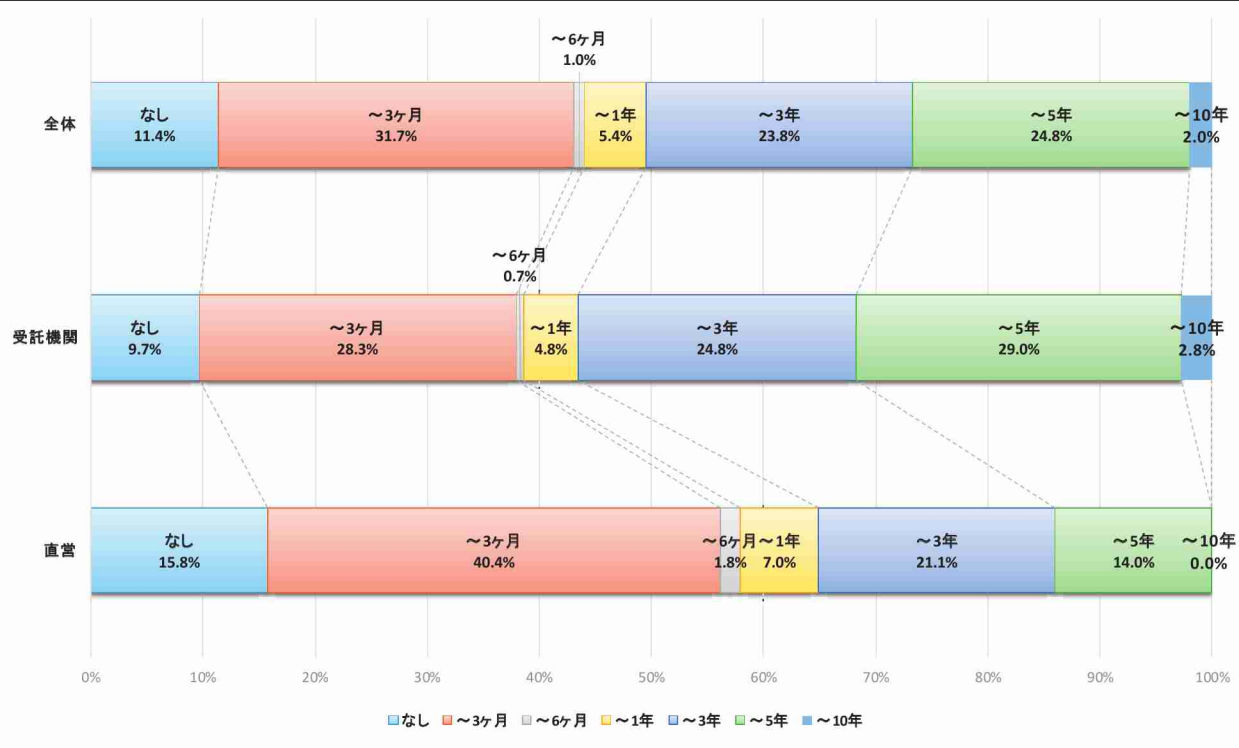


平均年齢は45.1歳

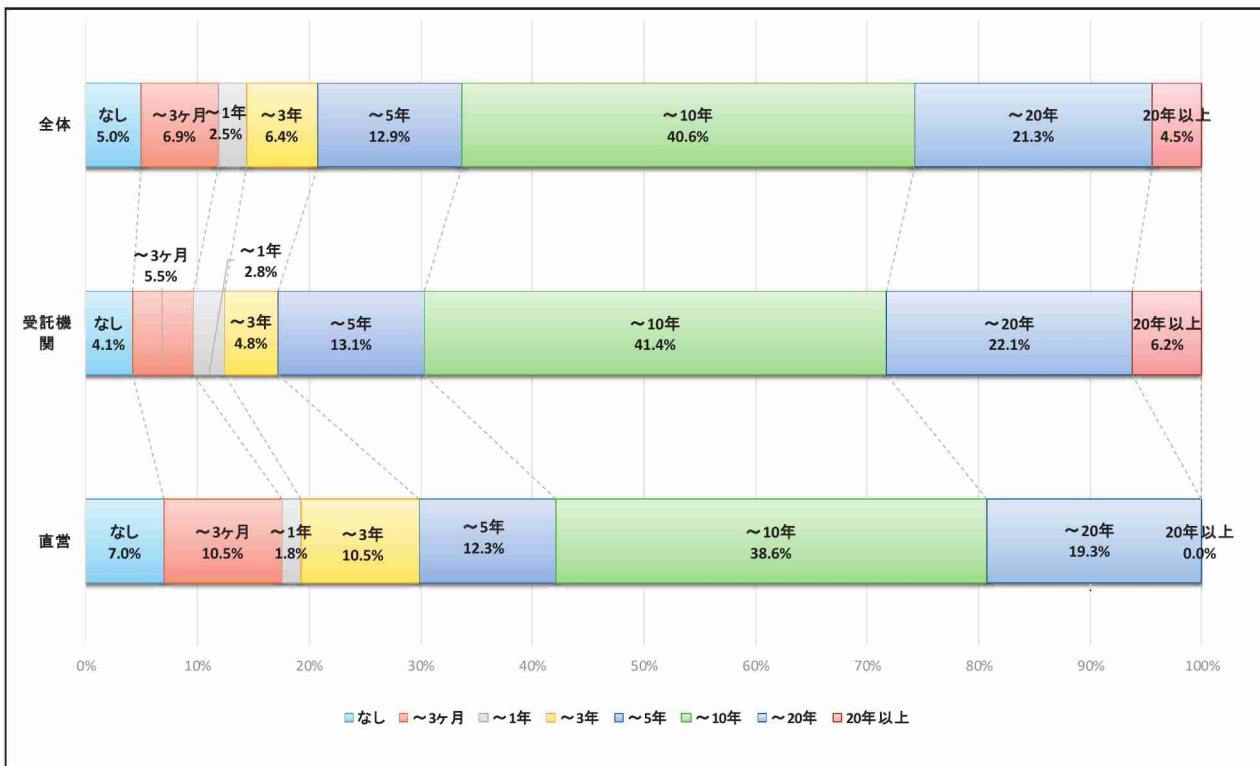
2019年度 主任相談支援員養成研修 修了者の勤務形態



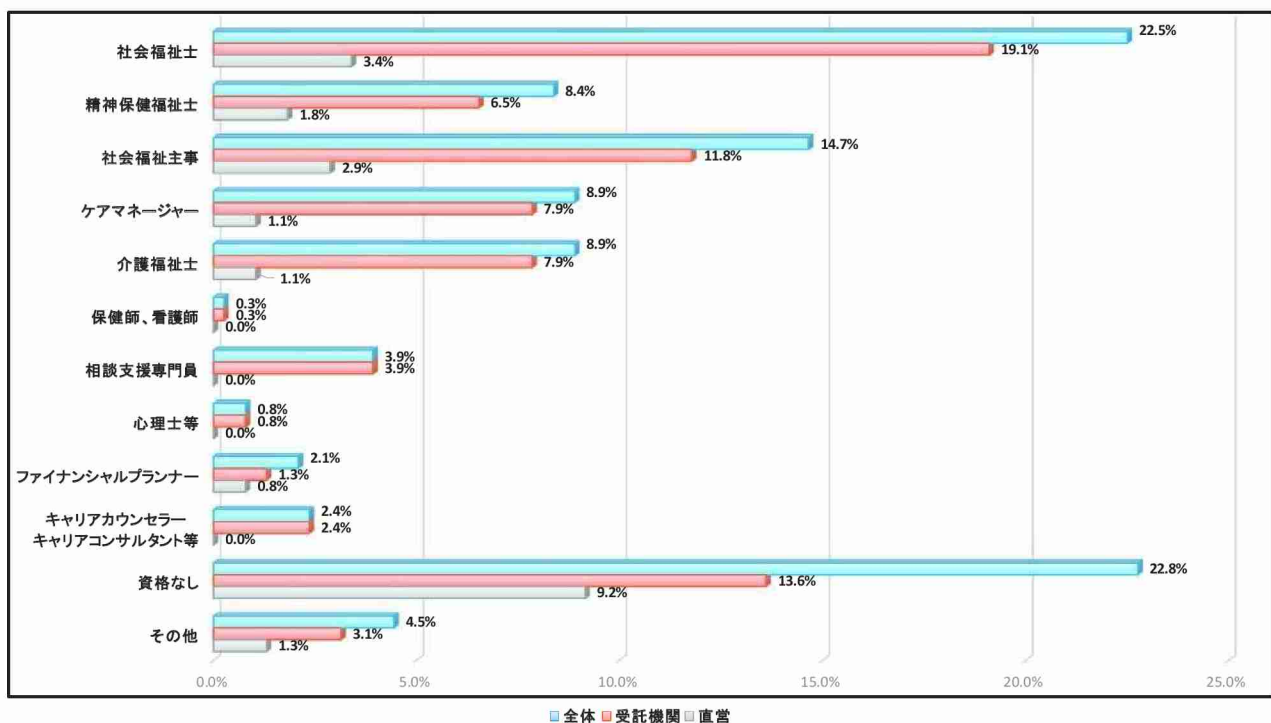
2019年度 主任相談支援員養成研修 修了者の現職経験年数



2019年度 主任相談支援員養成研修 修了者の相談・就労支援通算経験年数



2019年度 主任相談支援員養成研修 修了者の資格保有状況

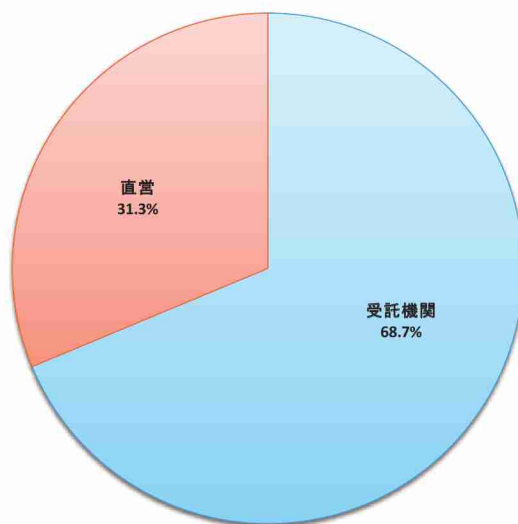


2019年度 自立相談支援事業従事者養成研修

相談支援員養成研修 修了者属性傾向

2019年度 相談支援員養成研修 修了者の割合

	人数
受託機関	246
直営	112
計	358



2019年度 相談支援員養成研修 修了者の男女比



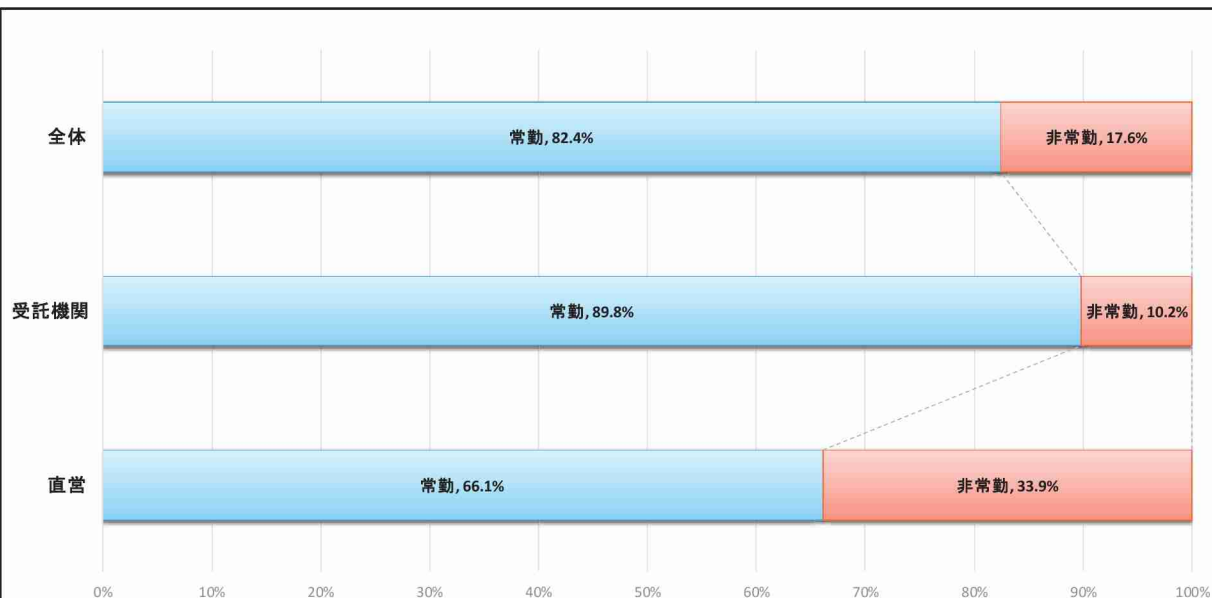
	全体	受託機関	直営
男	151	98	53
女	207	148	59
計	358	246	112

2019年度 相談支援員養成研修 修了者の年齢構成



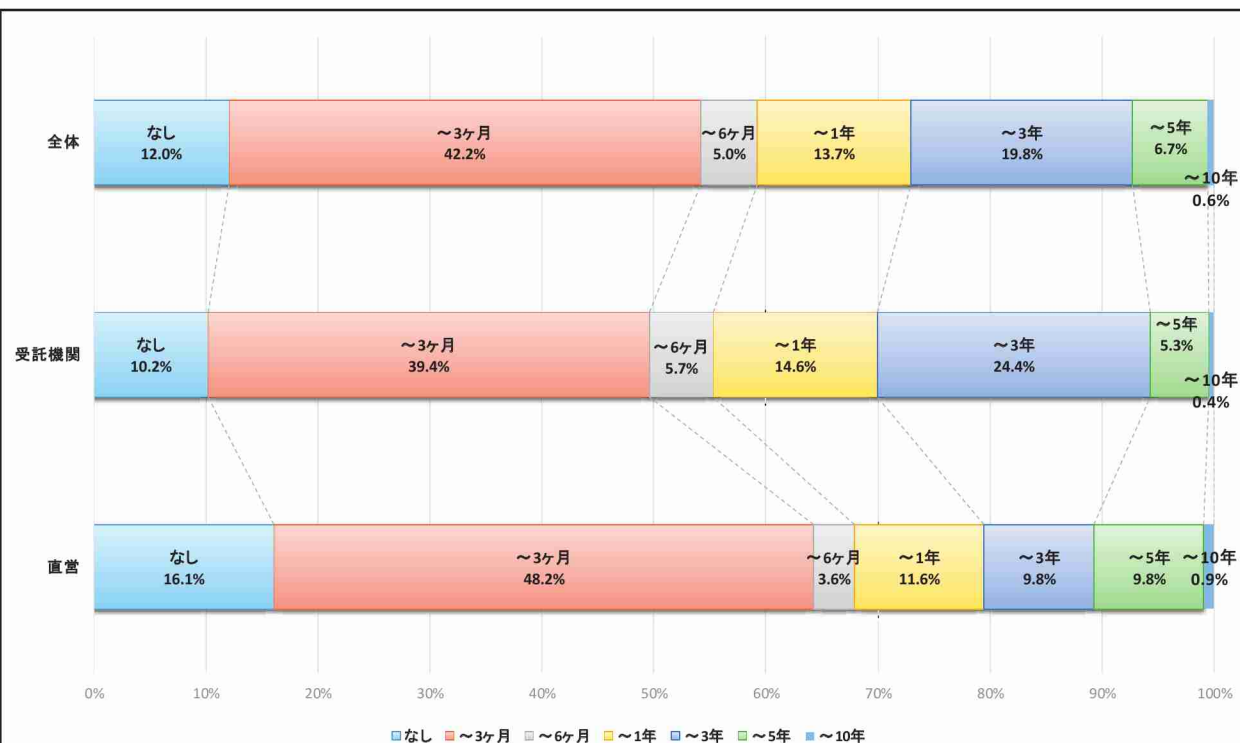
平均年齢は43.5歳

2019年度 相談支援員養成研修 修了者の勤務形態

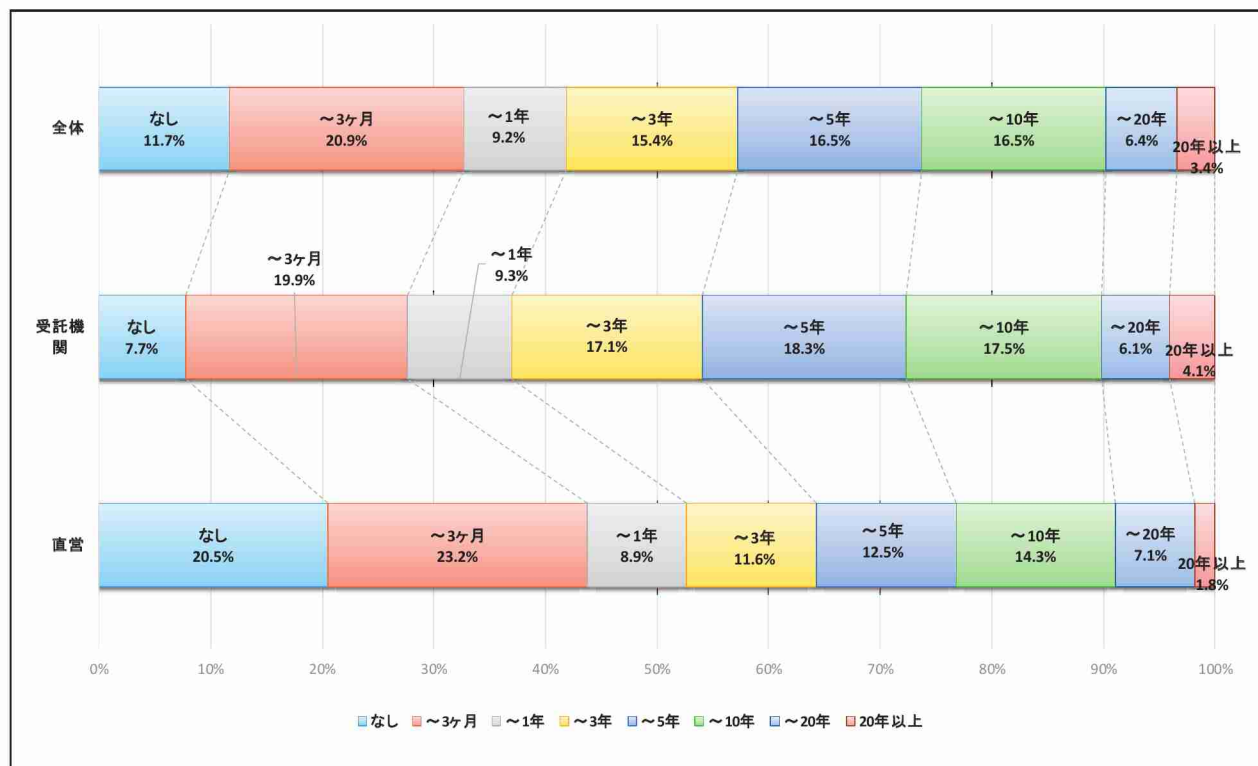


	全体	受託機関	直営
常勤	295	221	74
非常勤	63	25	38
計	358	246	112

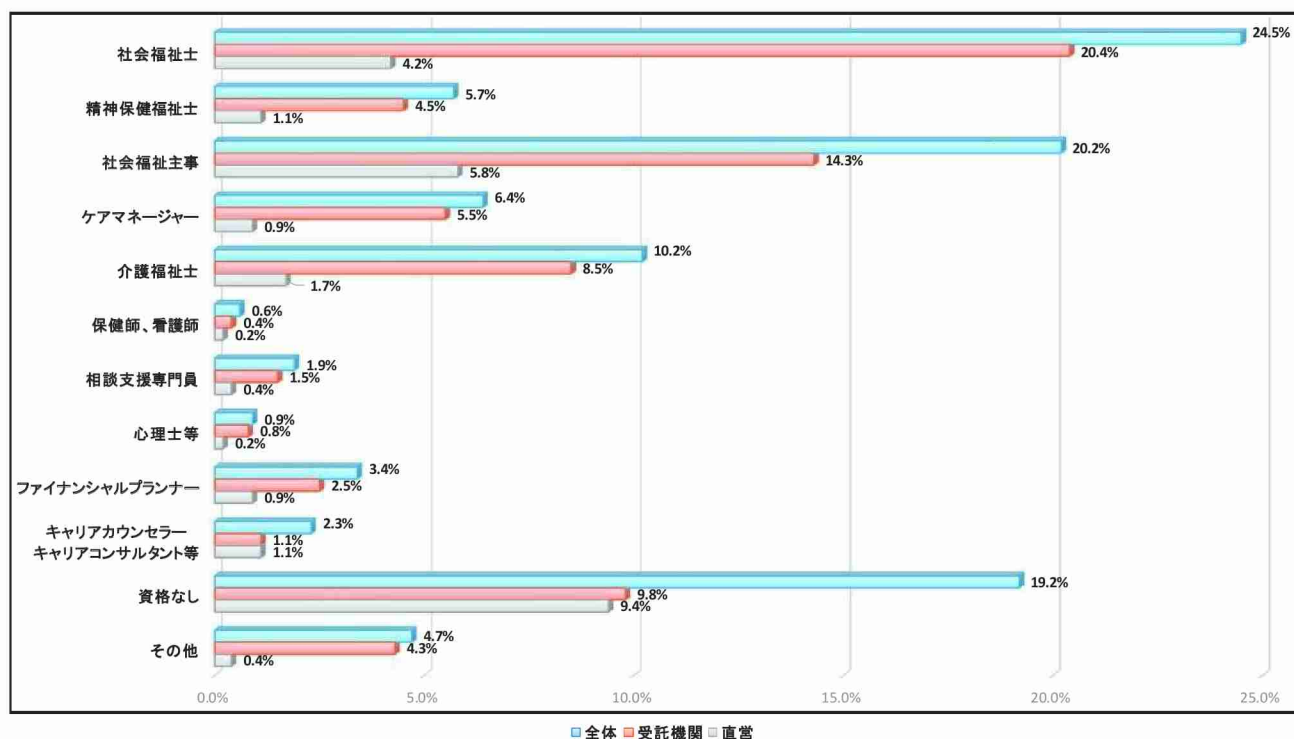
2019年度 相談支援員養成研修 修了者の現職経験年数



2019年度 相談支援員養成研修 修了者の相談・就労支援通算経験年数



2019年度 相談支援員養成研修 修了者の資格保有状況

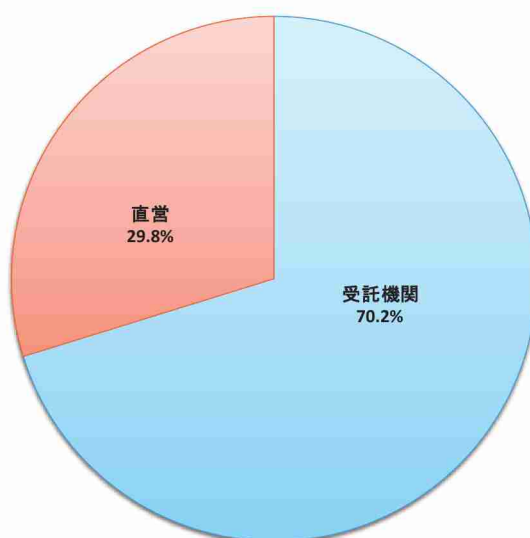


2019年度 自立相談支援事業従事者養成研修

就労支援員養成研修 修了者属性傾向

2019年度 就労支援員養成研修 修了者の割合

	人数
受託機関	132
直営	56
計	188

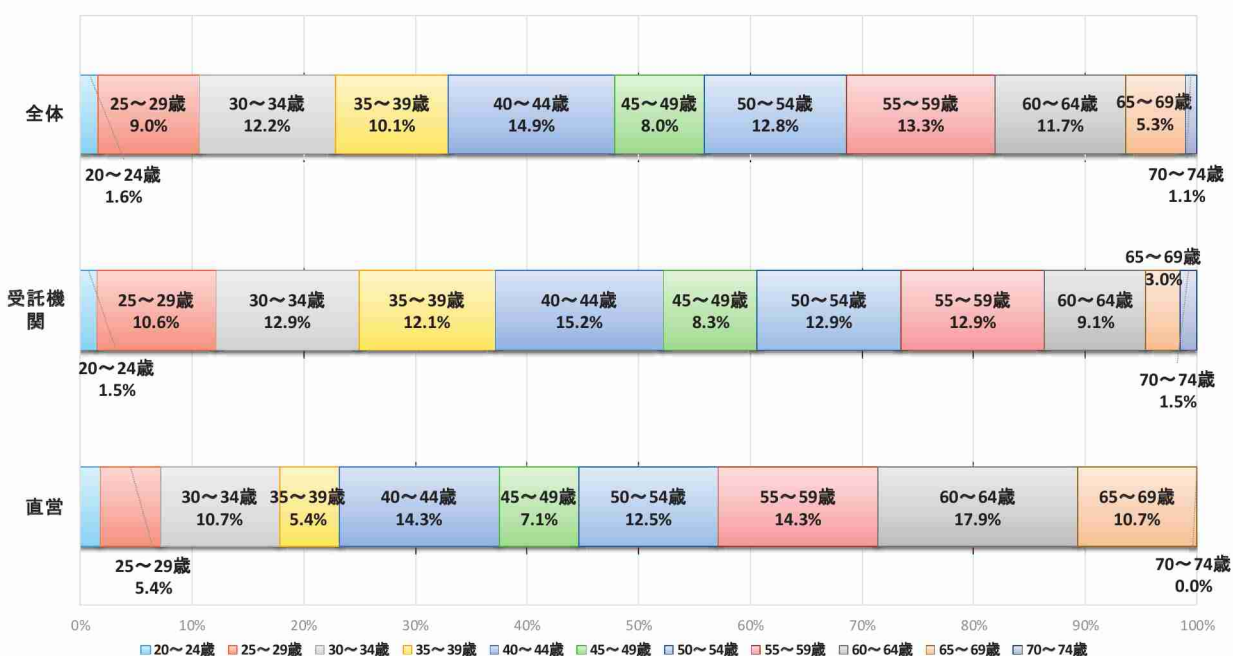


2019年度 就労支援員養成研修 修了者の男女比



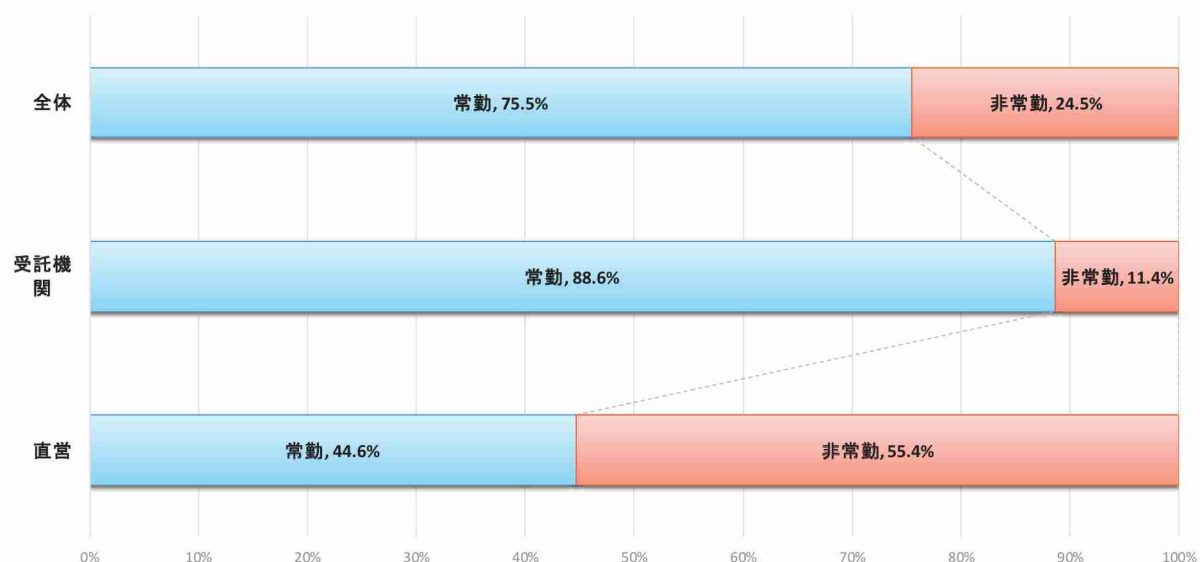
	全体	受託機関	直営
男	100	70	30
女	88	62	26
計	188	132	56

2019年度 就労支援員養成研修 修了者の年齢構成



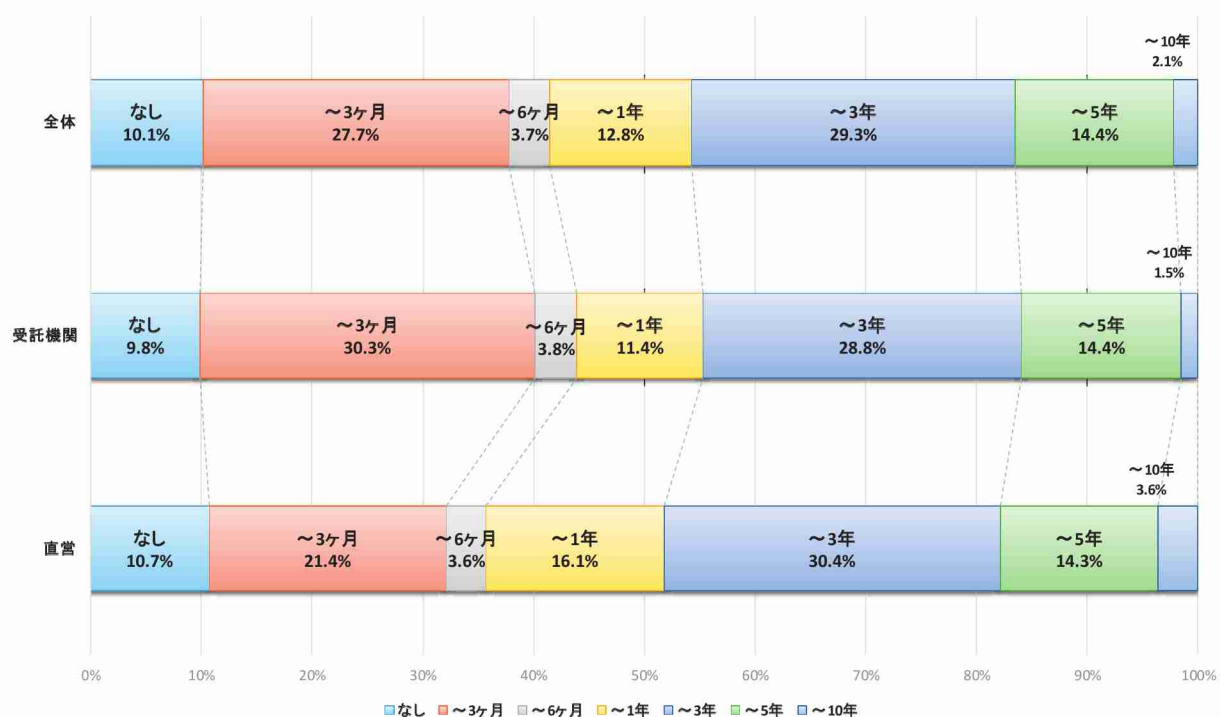
平均年齢は46.1歳

2019年度 就労支援員養成研修 修了者の勤務形態

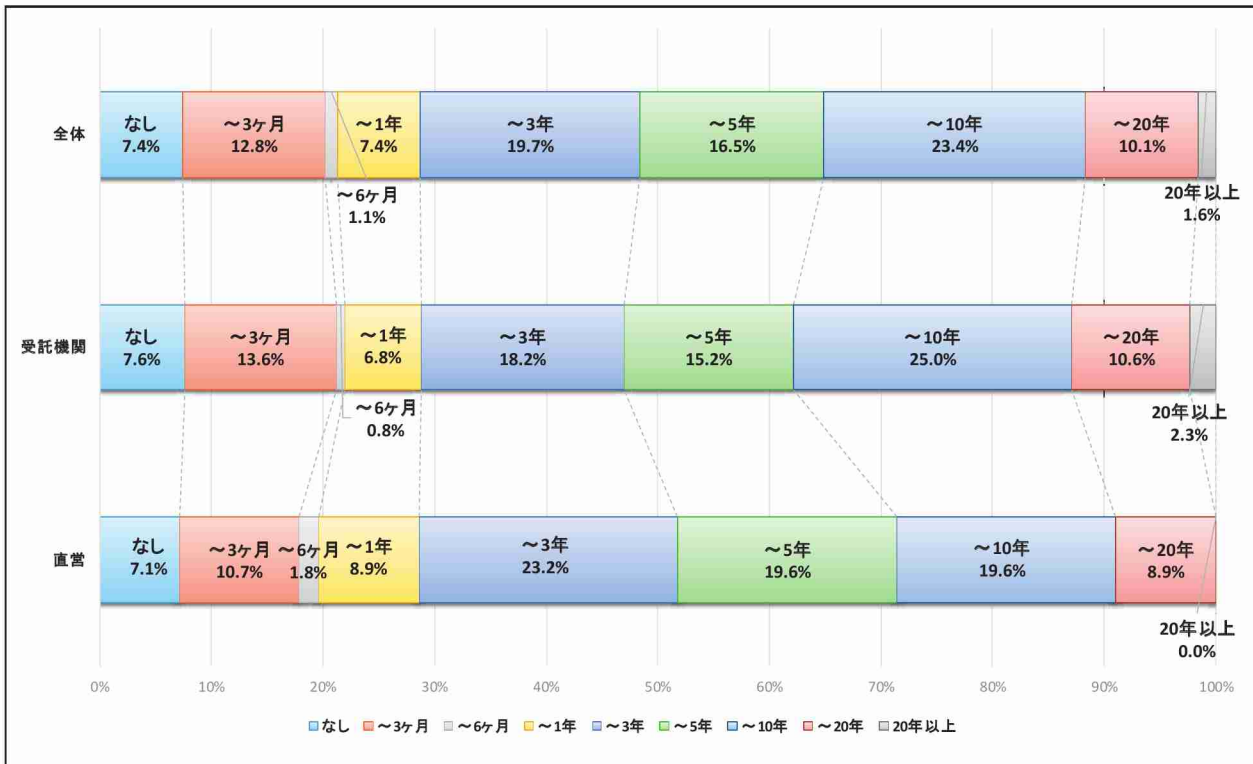


	全体	受託機関	直営
常勤	142	117	25
非常勤	46	15	31
計	188	132	56

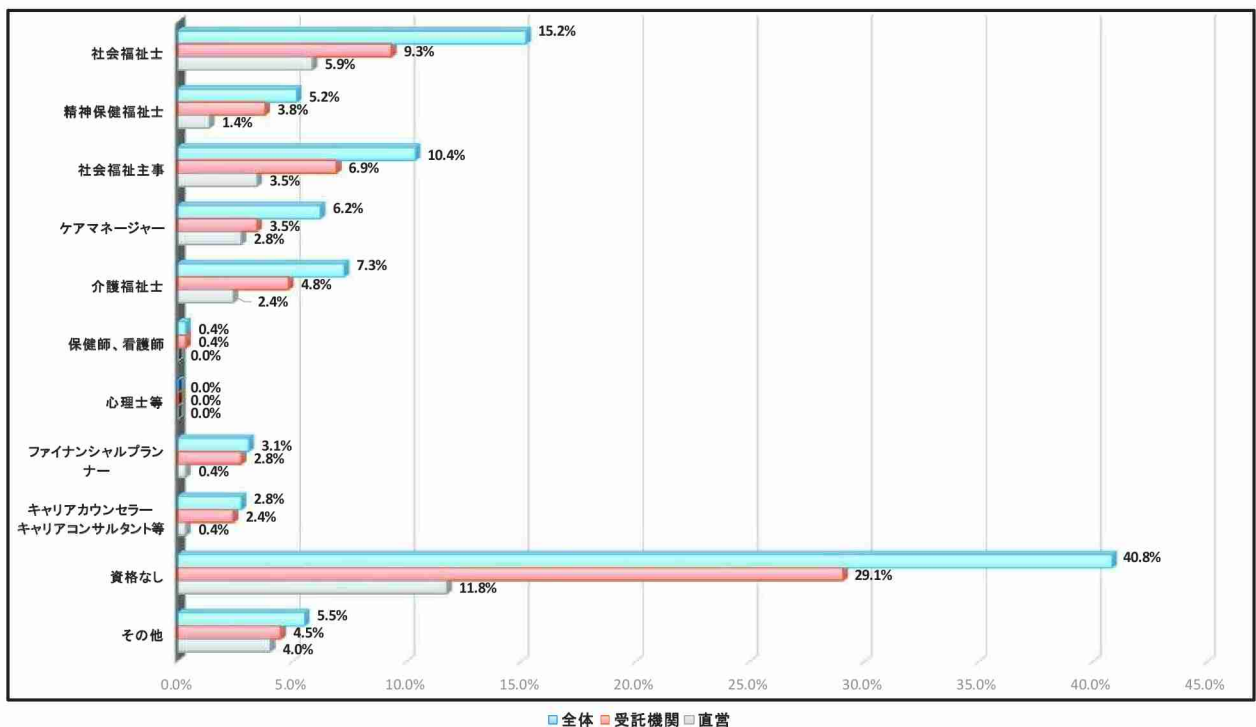
2019年度 就労支援員養成研修 修了者の現職経験年数



2019年度 就労支援員養成研修 修了者の相談・就労支援通算経験年数



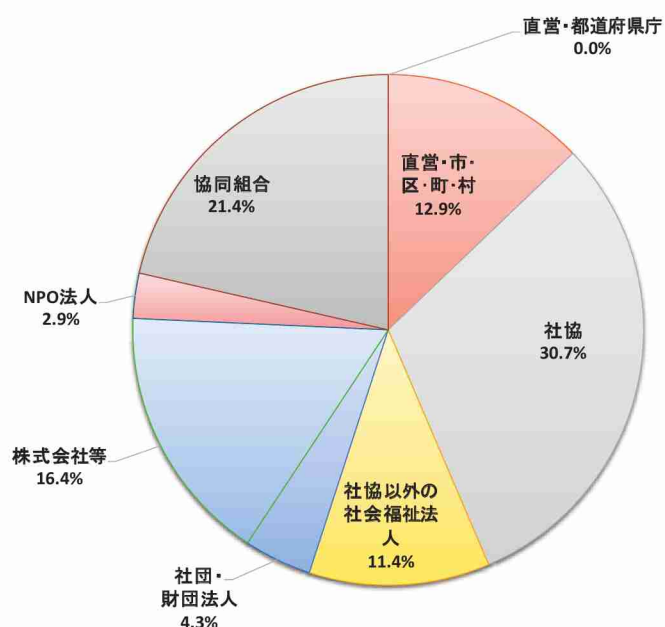
2019年度 就労支援員養成研修 修了者の資格保有状況



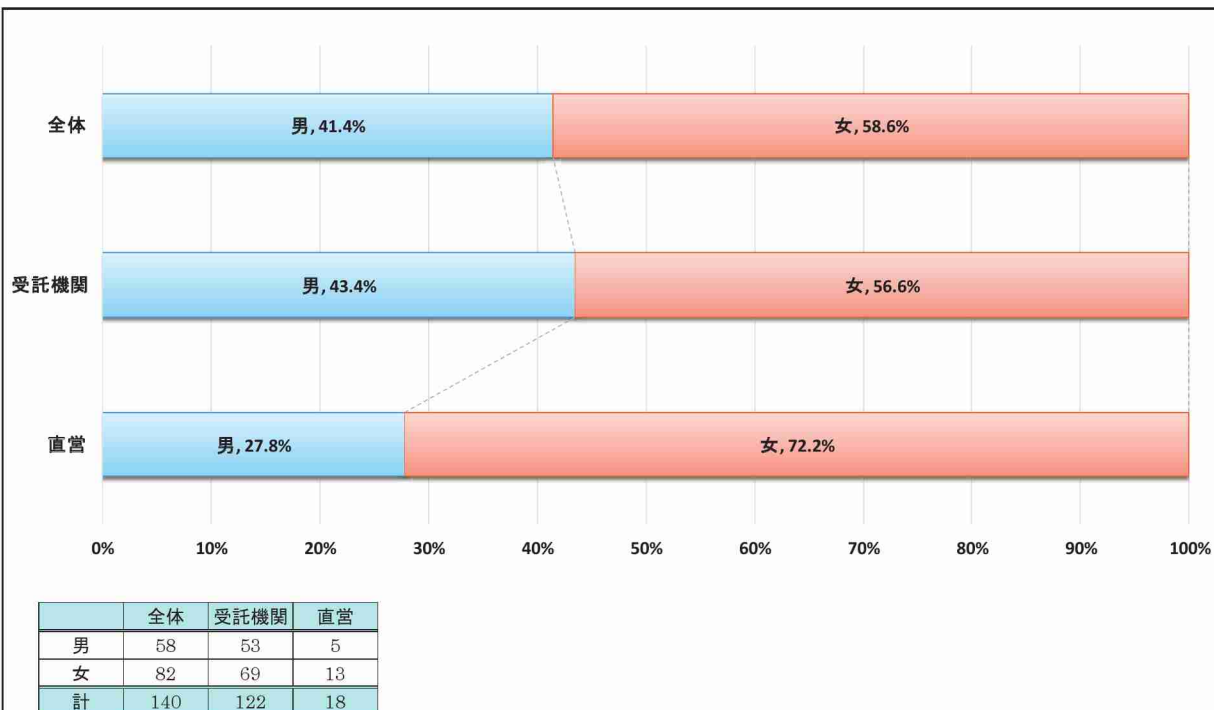
2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の状況

2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の割合

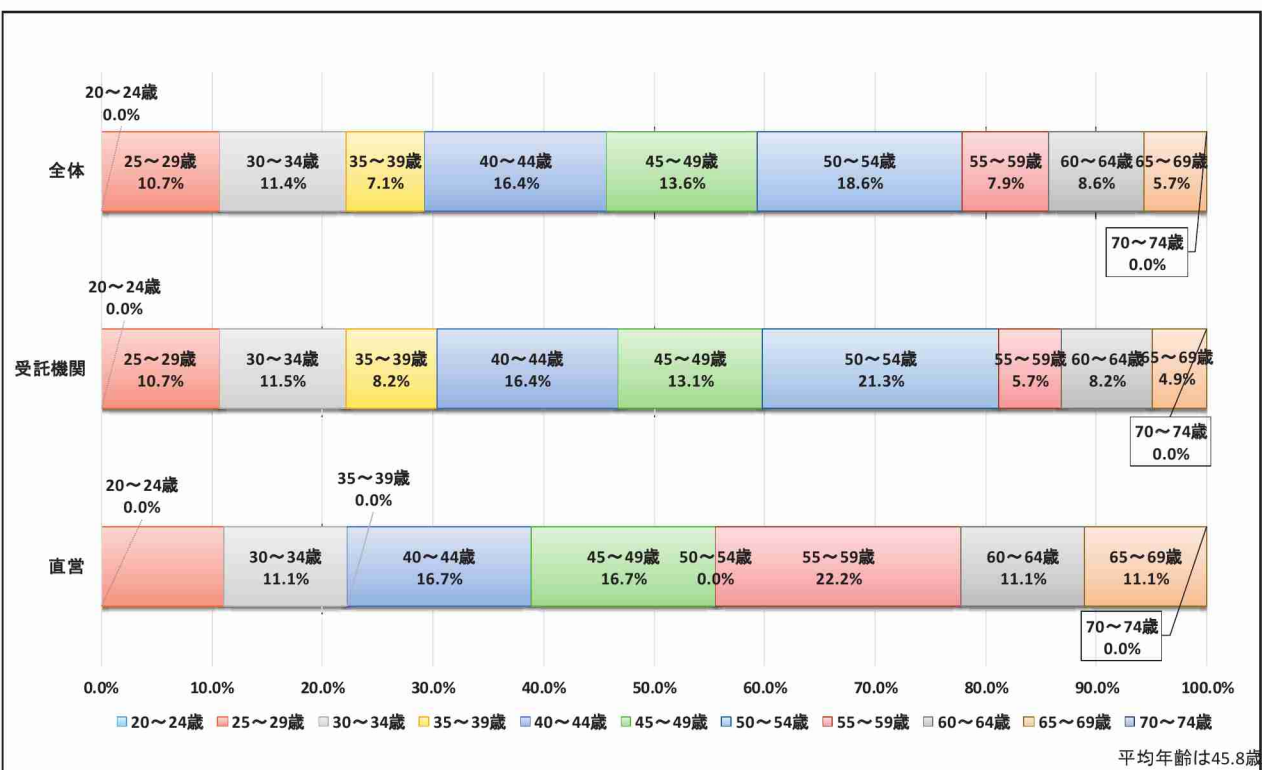
	人数
直営・都道府県庁	0
直営・市・区・町・村	18
社協	43
社協以外の社会福祉法人	16
社団・財団法人	6
NPO法人	23
協同組合	4
その他	30
計	140



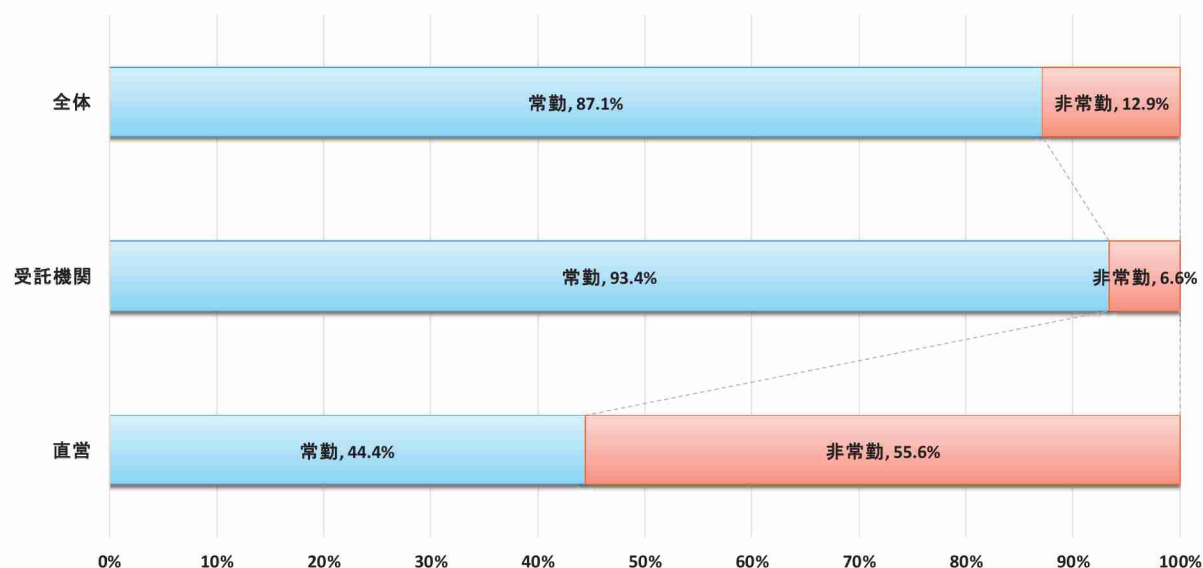
2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の男女比



2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の年齢構成

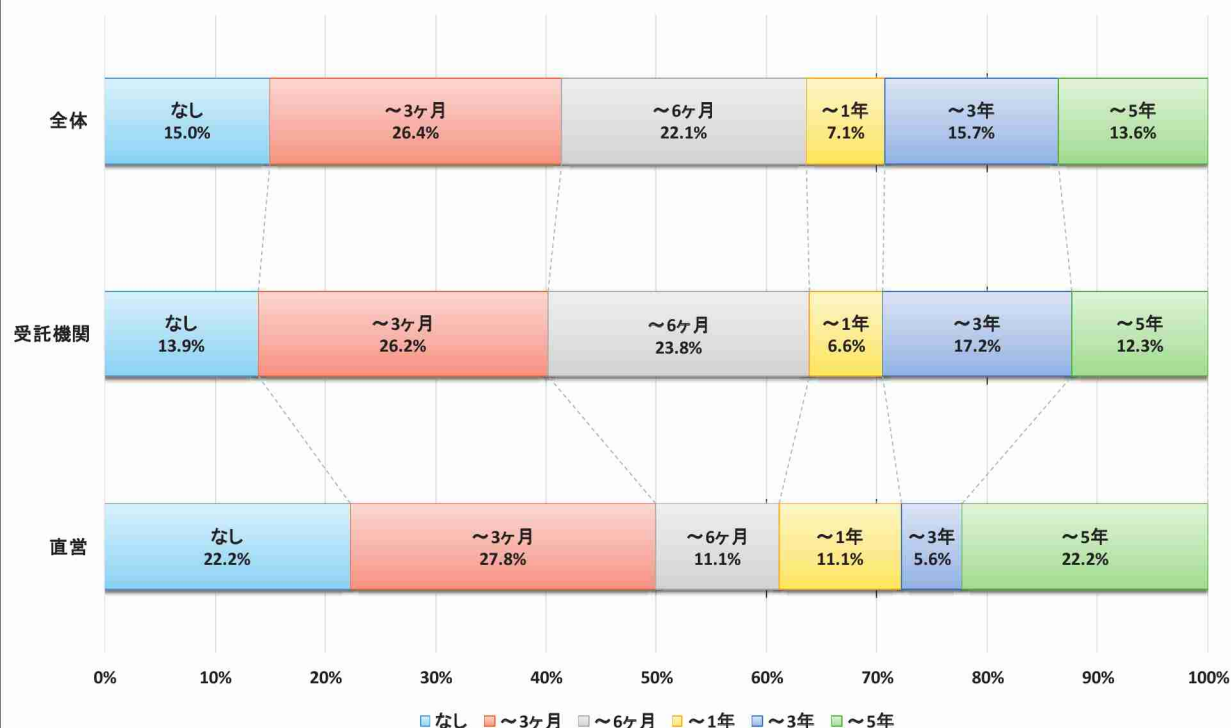


2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の勤務形態

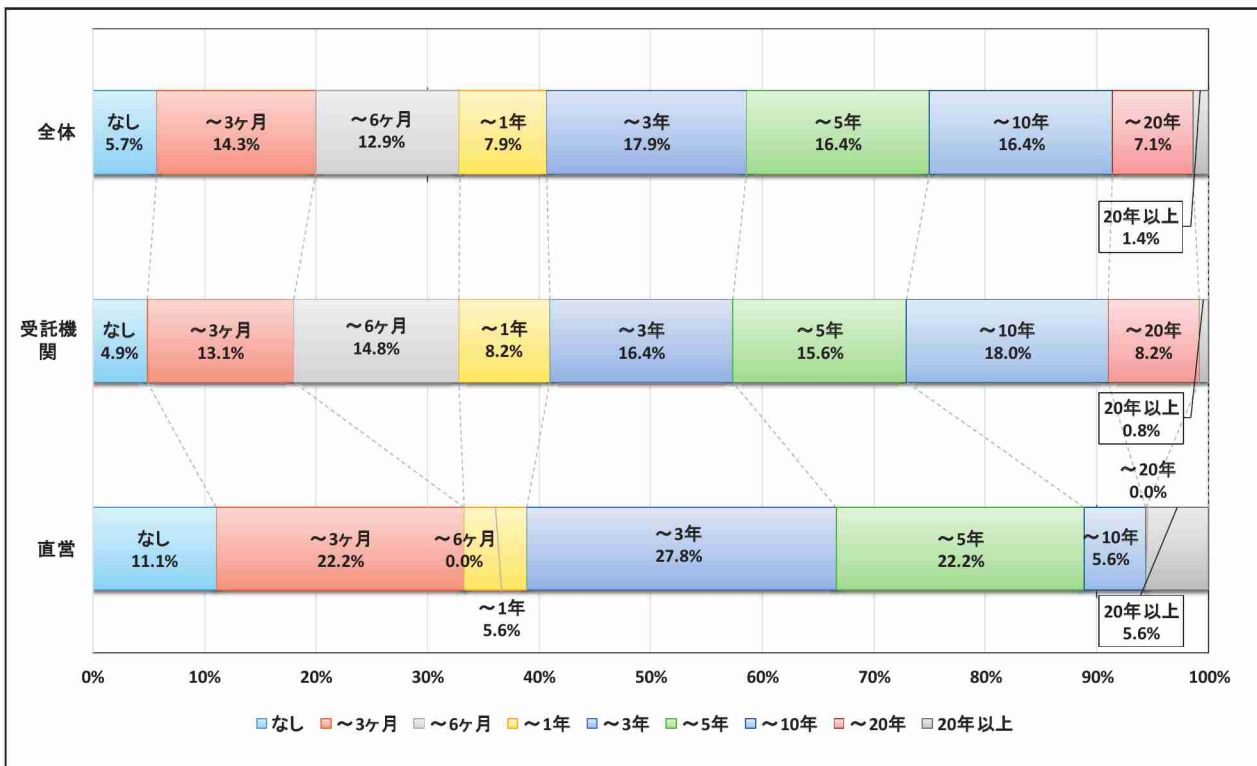


	全体	受託機関	直営
常勤	122	114	8
非常勤	18	8	10
計	140	122	18

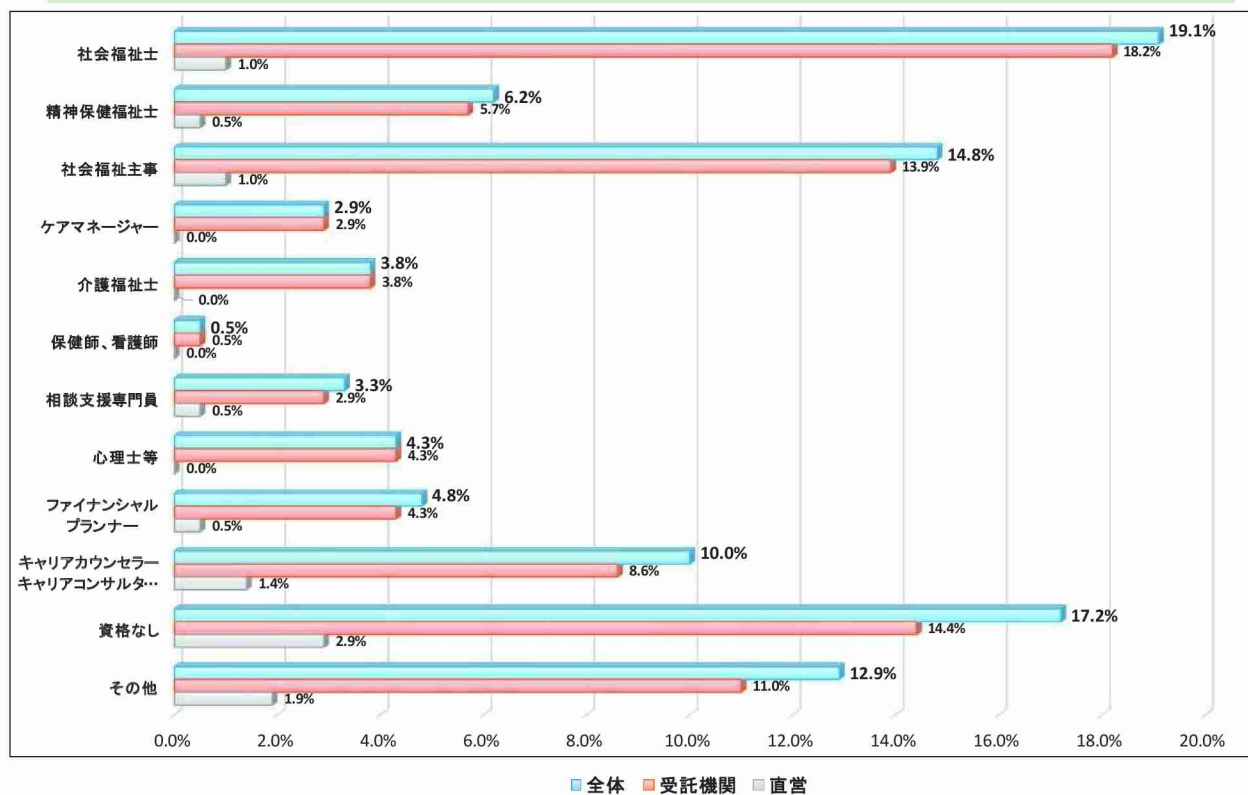
2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の現職経験年数



2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の就労支援通算経験年数



2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の資格保有状況

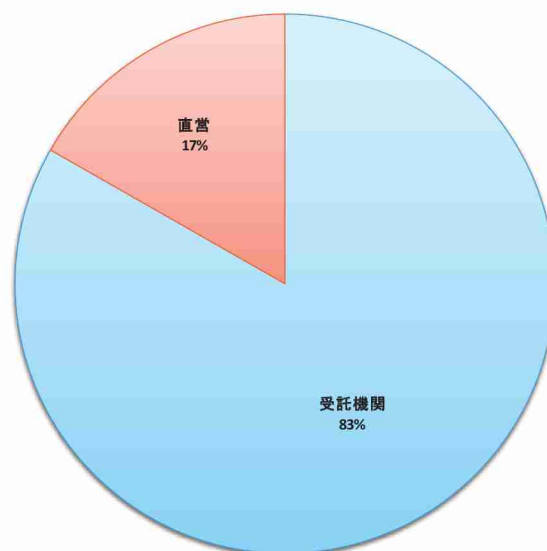


2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 【第1,2,3,4回】

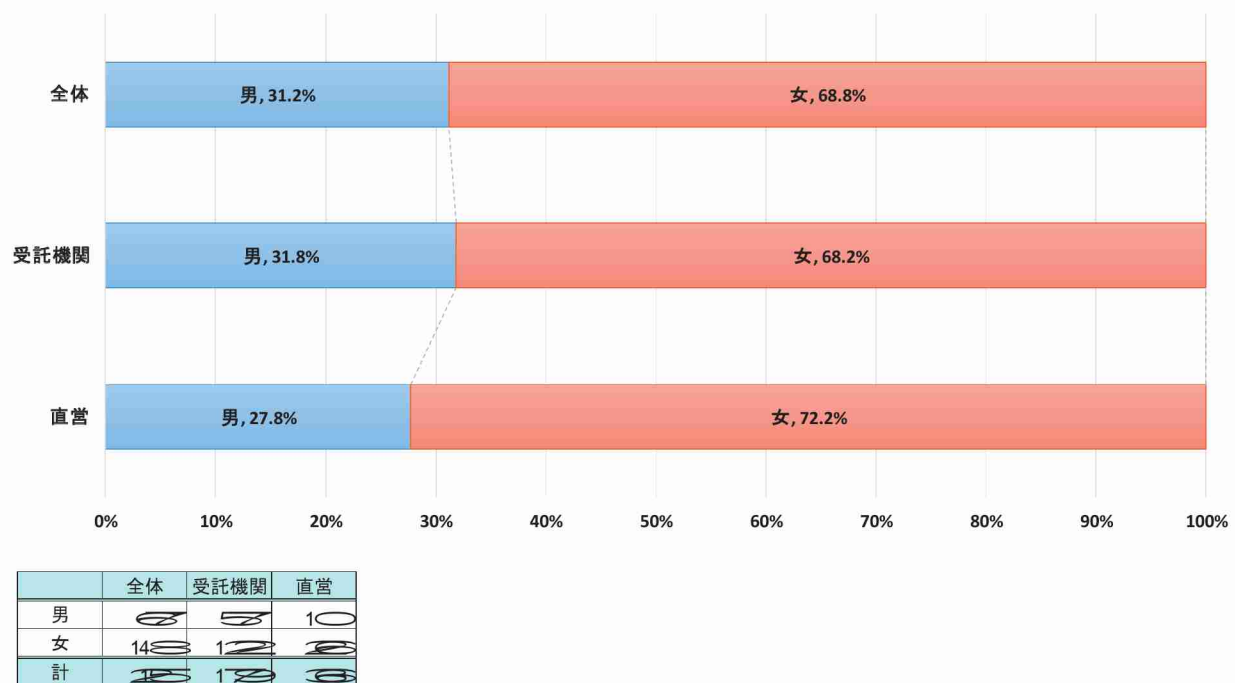
修了者の傾向

2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 修了者の割合

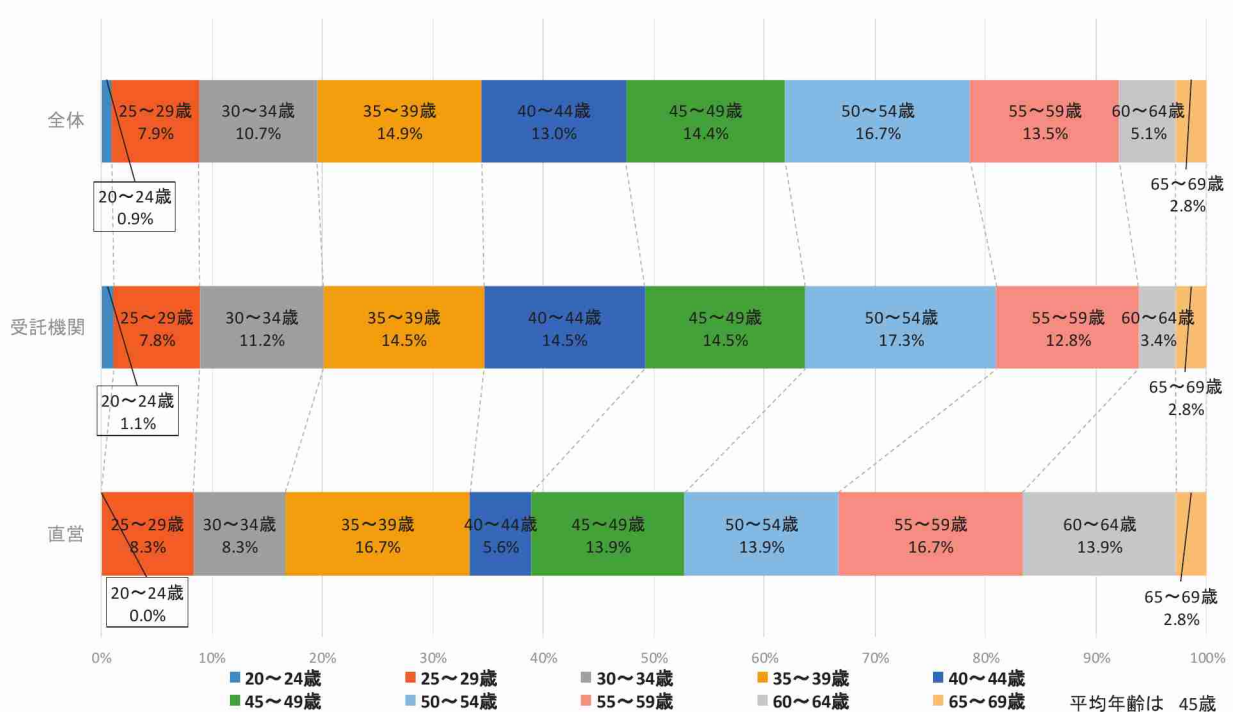
	人数
受託機関	17
直営	10
計	27



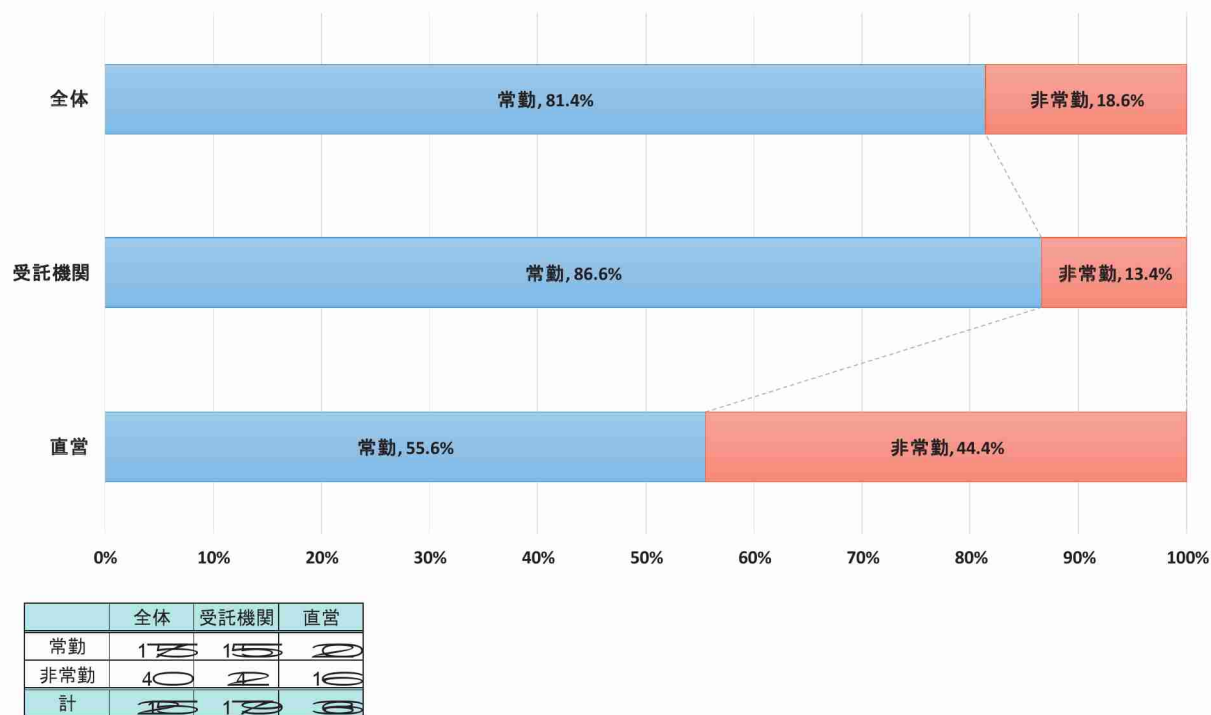
2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 修了者の男女比



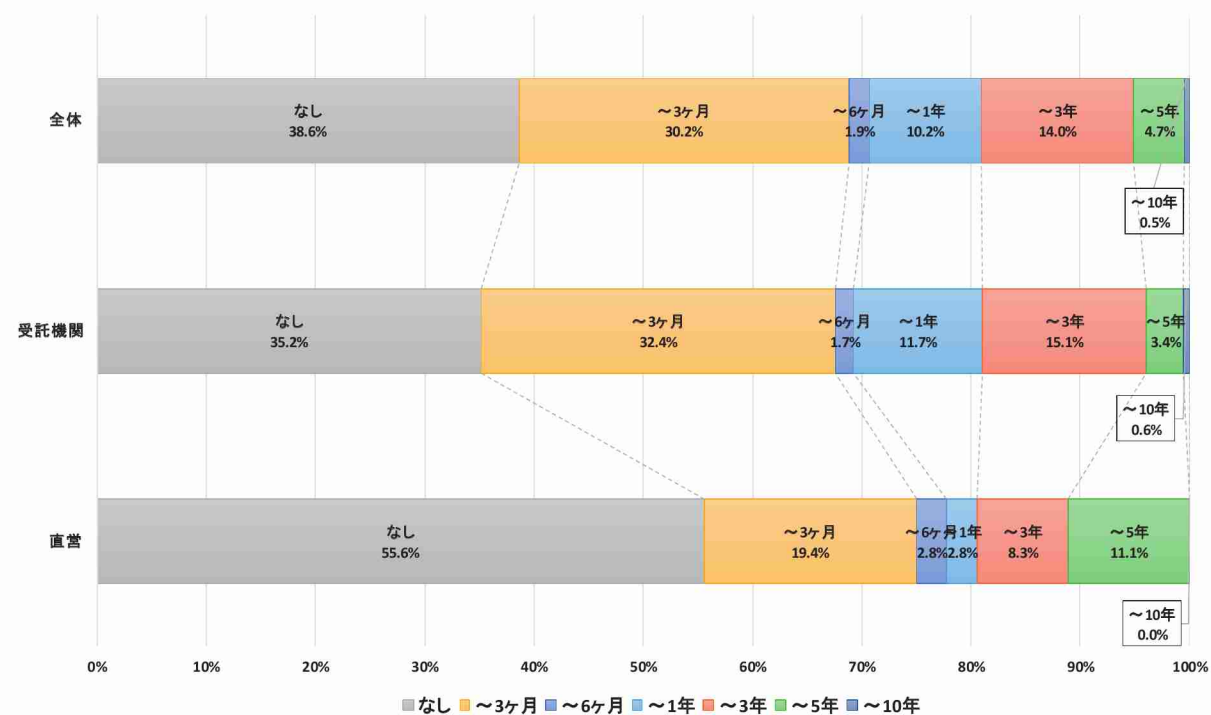
2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 修了者の年齢構成



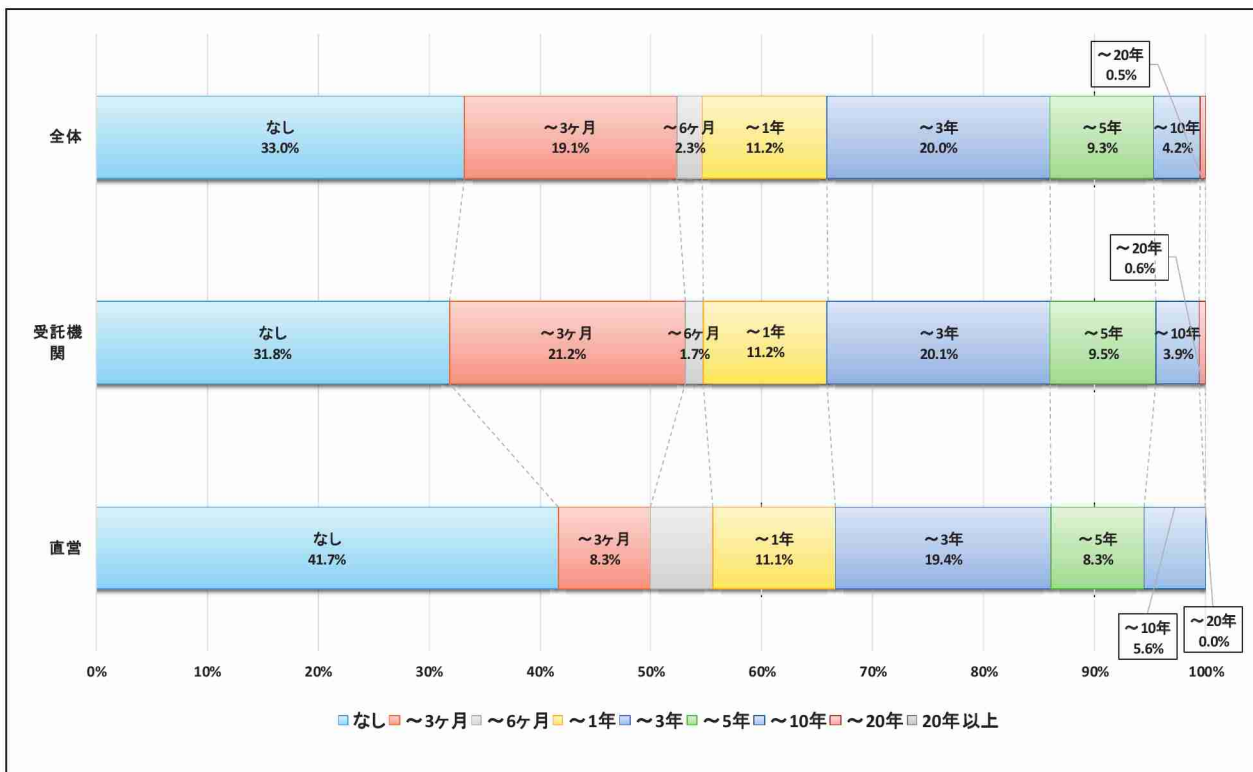
2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 修了者の勤務形態



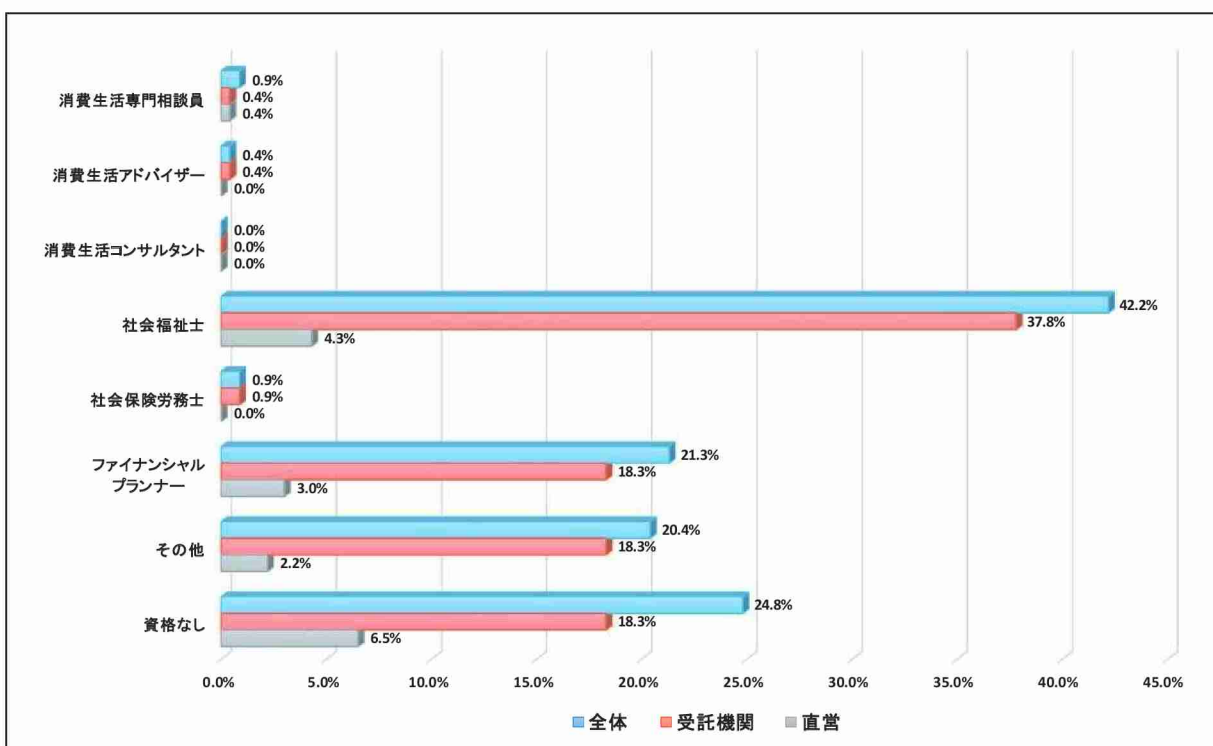
2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 修了者の現職経験年数



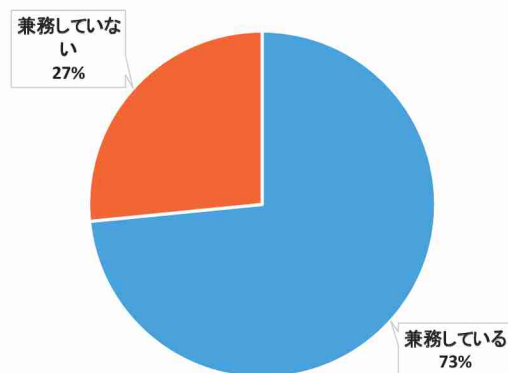
2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 修了者の家計改善支援通算経験年数



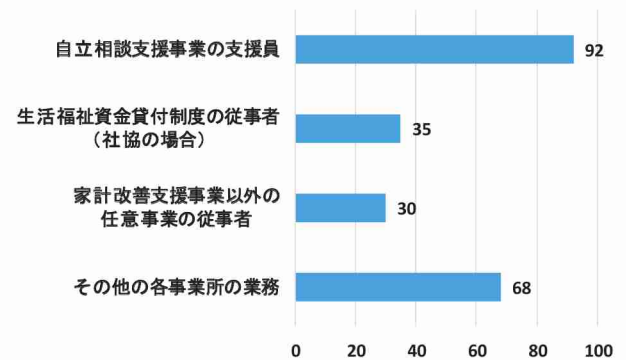
2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 修了者の資格保有状況



2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 兼務の状況



兼務の有無 N=192



兼務の職種 ※複数回答あり

第2章 研修内容の企画

1 企画運営委員会・企画部会の概要

(50音順 敬称略)

氏名(敬称略)	所属	役職	備考
企画運営委員会			
奥田 知志	認定特定非営利活動法人 抱樸	理事長	
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
空閑 浩人	同志社大学	教授	
新保 美香	明治学院大学	教授	
高橋 良太	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部	部長	
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	代表理事	
原田 正樹	日本福祉大学	副学長	
行岡 みち子	グリーンコープ生活協同組合連合会	常務理事・生活再 生事業推進室長	
和田 敏明	ルーテル学院大学	名誉教授	委員長
主任相談 企画部会			
勝部 麗子	豊中市社会福祉協議会	福祉推進室長	
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
新保 美香	明治学院大学	教授	
原田 正樹	日本福祉大学	副学長	部会長
和田 敏明	ルーテル学院大学	名誉教授	
相談支援 企画部会			
空閑 浩人	同志社大学	教授	部会長
朝比奈 ミカ	市川市生活サポートセンターそら (so-ra)	主任相談支援員	
上原 久	社会福祉法人 聖隷福祉事業団・浜松市生活 自立相談支援センターつながり	所長	
高橋 良太	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部	部長	

就労支援 企画部会			
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
櫛部 武俊	一般社団法人釧路社会的企業創造協議会	副代表	
新保 美香	明治学院大学	教授	部会長
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	代表理事	
名嘉 泰	那覇市パーソナルサポートセンター	統括責任者	
西岡 正次	A' ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）	就労支援室長	
家計改善 企画部会			
鎗木 信行	日本司法支援センター	第一事業部付 弁護士	
木村 誠一郎	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課	主任	
高橋 良太	全国社会福祉協議会 地域福祉部	部長	
藤浦 久美	グリーンコープ生協ふくおか	家計改善支援ス ーパーバイザー	
行岡 みち子	グリーンコープ生活協同組合連合会	常務理事・生活 再生事業推進室	
就労準備 企画部会			
新保 美香	明治学院大学	教授	
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポ ート・フェイス	代表理事	部会長
名嘉 泰	公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナル・サポート・センター	総括責任者	
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
櫛部 武俊	一般社団法人釧路社会的企業創造協議会	副代表	
新保 美香	明治学院大学	教授	
担当者研修 企画部会			
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	部会長
新保 美香	明治学院大学	教授	

2 企画に係る委員会・部会の実施状況

	開催日時・場所	主な議題(◆出席者)
企画運営 委員会	<第1回> 2019年4月15日(月) 17:00～19:00 全社協 第2会議室 <第2回> 2020年1月9日(木) 15:00～17:00 商工会館 7F 会議室	<第1回> 1.2019年度 生活困窮者自立支援制度人材養成研全体について 2.【前期】共通カリキュラムの検討 ◆新保氏・高橋(良)・谷口氏・原田氏・行岡氏・和田氏・厚生労働省 <第2回> 1.2019年度研修の振り返り 2.2020年度 生活困窮者自立支援制度人材養成研修について ◆新保氏・高橋(良)・谷口氏・行岡氏・和田氏・厚生労働省
主任相談 企画部会	<第1回> 2019年5月15日(水) 13:30～15:30 全社協 第1会議室 <第2回> 2019年10月23日(月) 10:00～12:00 全社協 第1会議室	<第1回> 1.平成30年度研修の振り返り 2.2019年度の研修プログラムについて ◆原田氏・高橋(良)・勝部氏・新保氏・和田氏・厚生労働省 <第2回> 2019年度の講義・演習の振り返り ◆新保氏・上原氏・厚生労働省
相談支援 企画部会	2019年7月24日(水) 10:30～12:30 商工会館 7F 会議室	1.平成30年度研修の振り返り 2.2019年度の研修プログラムについて ◆空閑氏・朝比奈氏・上原氏・厚生労働省
就労支援 企画部会	2019年7月8日(月) 18:30～20:30 全社協 第1会議室 ※就労準備企画部会と合同開催	1.平成30年度研修の振り返り 2.2019年度の研修プログラムについて ◆新保氏・加留部氏・谷口氏・櫛部氏・西岡氏・名嘉氏・厚生労働省
家計改善 企画部会	2019年4月17日(水) 13:30～15:30 全社協 第2会議室	1.平成30年度研修の振り返り 2.2019年度研修プログラムについて ◆行岡氏・藤浦氏・鎗木氏・木村氏・和田氏・厚生労働省
就労準備 企画部会	2019年7月8日(月) 18:30～20:30 全社協 第1会議室 ※就労支援企画部会と合同開催	1.平成30年度研修の振り返り 2.2019年度の研修プログラムについて ◆新保氏・加留部氏・谷口氏・櫛部氏・西岡氏・名嘉氏・厚生労働省
担当者研 修企画部 会	2019年4月18日(木) 13:30～15:30 商工会館 8A 会議室	1.平成30年度研修の振り返り 2.2019年度の研修プログラムについて ◆加留部氏・新保氏・高橋(良)・厚生労働省

3 個別打合せの実施状況

開催日時・場所	主な議題(◆出席者)
2019年6月5日(水) 14:00～16:00	【前期】打ち合わせ① ◆八木氏・土屋氏
2019年6月20日(木) 10:30～12:30	【主任】打ち合わせ② ◆新保氏・上原氏・朝比奈氏

第3章 研修内容の詳細

1【前期】共通カリキュラム 養成研修

《【前期】共通カリキュラム プログラムシート》

■期日 【第1回】7月9日（火）～11日（木）

【第2回】7月29日（月）～31日（水）

【第3回】9月2日（月）～4日（水）

■受講者数 【第1回】272名 【第2回】177名 【第3回】194名

■会場 全社協・灘尾ホール

■研修の目標

- ①基本を学ぶ
- ②学んだことを実践できる
- ③講師になれる

■各プログラムの詳細

◆科目：【講義①】生活困窮者自立支援法の今後の展望（研修90分）

◇日時：第1回目＜1日目＞7/9（火）9：30～11：00

第2回目＜1日目＞7/29（月）9：30～11：00

第3回目＜1日目＞9/2（月）9：30～11：00

◇登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

室長 野崎 伸一 氏（第1回）

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 氏（第2回）

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

室長 吉田 昌司 氏（第3回）

◇学びのポイント：制度の動向と、これから目指す姿について

◆科目：【講義②】他制度の活用・連携（研修100分）

◇日時：第1回目＜1日目＞7/9（火）11：10～12：50

第2回目＜1日目＞7/29（月）11：10～12：50

第3回目＜1日目＞9/2（月）11：10～12：50

◇登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

自立支援専門調査員 平野 憲司 氏（第1回）

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

就労支援専門官 佐藤 圭司 氏（第2回）

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 氏（第3回）

野洲市役所 市民生活相談課

課長 生水 裕美 氏（第1.2.3回）

野洲市役所 健康福祉部社会福祉課

主査 宇都宮 誠実 氏（第2.3回）

◇講義のポイント：各種制度の減免・給付制度の活用の実際、医療、介護、障害、年金、住居に関する制度との連携について※事例を用いて解説。

◆科目：【講義と演習③】支援員に求められる倫理と基本姿勢を支える人材育成と職場づくり

（研修 210 分+休憩 15 分）

◇日時：第1回目＜1日目＞7/9（火）13：50～17：35

第2回目＜1日目＞7/29（月）13：50～17：35

第3回＜1日目＞9/2（月）13：50～17：35

◇登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◇講義のポイント：①3つの基本倫理と8つの基本姿勢について演習を用いて説明【新保先生】

②より良い職場づくり、チームづくりについて【加留部先生】

③職場や都道府県研修での伝達方法について（動機づけ）【加留部先生】

◇進行：

進行時刻	内容
13:50～14:50	1. 新保先生の講義（60分） ・講義の導入で自己紹介フリップを活用する
14:50～15:05	【休憩（15分）】
15:05～17:35	2. 加留部先生の講義（150分）

◆科目：【講義と演習④】対象者の特性を踏まえた支援のあり方（研修 205 分+休憩 15 分）

◇日時：第1回目＜2日目＞7/10（水）9：00～12：40

第2回目＜2日目＞7/30（火）13：00～16：40

第3回目＜3日目＞9/4（水）13：10～16：50

◇登壇者：【講師】日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏

【実践者】社会福祉法人グリーンコープ

家計改善支援員 勝浦 久美 氏

パーソナルサポートセンター 仙台市生活自立・仕事相談センターわんすてっぷ

センター長 平井 知則 氏

NPO 法人アスクネット

ディレクター/常務理事 城取 洋二 氏

◇学びのポイント：任意事業の活用による対象者の特性に合わせた支援のあり方について学ぶ

テーマ① 家計改善支援事業 《知的障がい者》（藤浦氏）

テーマ② 就労準備支援事業支援 《ひきこもり》（平井氏）

テーマ③ 子ども学習・生活支援 《子ども・子育て家庭》（城取氏）

◇進行：※進行時間は第3回目のもの

進行時刻	内容
13:10～13:20	原田先生 講義の目的等について説明（10分）
13:20～13:50	<u>報告① 家計改善支援事業（藤浦氏）（30分）</u>
13:50～14:08	原田先生から報告者にインタビュー（18分）
14:08～14:20	受講者が机3人でバズセッション（7分） 「青（参考になった点）」と「ピンク（課題）」のカードを作って、話し合う。 全体としての質問や共有（5分）
14:20～14:50	<u>報告② 就労準備支援事業（平井氏）（30分）</u>
14:50～15:08	原田先生から報告者にインタビュー（18分）
15:08～15:20	受講者が机3人でバズセッション（7分） 「青（参考になった点）」と「ピンク（課題）」のカードを作って、話し合う。 全体としての質問や共有（5分）
15:20～15:35	【休憩（15分）】
15:35～16:05	<u>報告③ 子ども学習・生活支援支援（城取氏）（30分）</u>
16:05～16:24	原田先生から報告者にインタビュー（19分）
16:24～16:35	受講者が机3人でバズセッション（6分） 「青（参考になった点）」と「ピンク（課題）」のカードを作って、話し合う。 全体としての質問や共有（5分）
16:35～16:50	<u>まとめ 原田先生（15分）</u>

◆科目：【講義と演習⑤】就労支援の考え方と実施方法（研修180分+休憩15分）

◇日時：第1回目 <2日目> 7/10（水）13:40～16:55

第2回目 <3日目> 7/31（水）13:10～16:25

第3回目 <2日目> 9/3（火）13:00～16:15

◇登壇者：【講師】明治学院大学 新保 美香 氏

【実践者】一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト 渡辺 ゆりか 氏

NPO法人 青少年就労支援ネットワーク静岡 池田 佳寿子 氏

東近江圏域 働き・暮らし応援センターTekito 野々村 光子 氏（第2.3回）

◇【実践編】の目標

- ①就労支援の様々な実施方法と、地域づくりを視野に入れた就労支援を通じた企業へのアプローチ、支援のネットワークづくりについて理解する。
- ②様々な支援に共通する、支援の姿勢、大切にすべきことを理解する。

◇【実践編】のポイント

- ① 支援のあり方とともに、マインド（心）を学ぶ。
- ② 実践報告を他人事で終わらせずに「自分ごと」として持ち帰っていただけるようにする。
⇒最後に「ズバリ！ポイント」を伝えていただく。

◇進行：進行時間は第3回目のもの

進行時刻	内容
13:30～13:50	<u>1. 「就労支援の考え方と実践方法」講義・演習（50分）【基礎編】新保先生</u>
13:50～14:00	<u>2. 実践事例紹介者の紹介（計10分）【実践編】</u> ①新保先生より実践編について趣旨説明（2分） ②渡辺氏・池田氏・野々村氏の自己紹介（お一人2分程度：共通のスライド）
14:00～14:30	<u>3. 渡辺氏の時間（計30分）</u> ①渡辺氏の実践紹介（20分） ②参加者バズセッション（5分） ③補足（5分）
14:30～14:45	<u>休憩（15分）</u>
14:45～15:15	<u>4. 池田氏の時間（計30分）</u> ①池田氏の実践紹介（20分） ②参加者バズセッション（5分） ③補足（5分）
15:15～15:45	<u>5. 野々村氏の時間（計30分）</u> ①野々村氏の実践紹介（20分） ②参加者バズセッション（5分） ③補足（5分）
15:45～16:15	<u>6. まとめのセッション（30分）</u> 「ズバリ！それぞれの取組を各地で実践するためのポイント」 ①渡辺氏・池田氏・野々村氏それぞれに、「ズバリ！ポイント」をお伝え いただく。（お一人7分：スライドにもとづきお話いただく。） ②まとめのメッセージ（渡辺氏・池田氏・野々村氏・新保先生）

◆科目：【講義と演習⑥】生活困窮者支援を通じた地域づくり（研修 165 分+休憩 15 分）

◇日時：第 1 回目＜3 日目＞7/11（木） 9：00～12：00

第 2 回目＜2 日目＞7/30（火） 9：00～12：00

第 3 回目＜2 日目＞9/ 3（火） 9：00～12：00

◇登壇者：【講師】ルーテル学院大学 和田 敏明 先生

【コメンテーター】豊中市社会福祉協議会 勝部 麗子氏

釧路社会的企業創造協議会 櫛部 武俊氏

【修了者】第 1 回目 島根県邑南町社会福祉協議会 地域福祉課長 渡邊 健二 氏

第 2 回目 岩手県宮古市社会福祉協議会 地域福祉課

副主幹 有原 領一 氏

第 3 回目 岡山県赤磐市社会福祉協議会 赤磐市くらし・しごと応援センター

センター所長 藤岡 宏暁 氏

◇学びのポイント：①地域づくりに関する概念や課題解決の糸口を学ぶ。

②先駆者の報告だけでなく、受講者と近い立場にある修了者の方にご報告いただくことで、自分が取り組むことができる地域づくりの具体的なイメージを持っていただく。

◇進行：※進行時間は第 3 回目のもの

進行時刻	内容
9:00～9:20	1. 講師（和田先生）によるプログラムの趣旨説明・講義（20 分）
9:20～9:50	2. 修了者（藤岡氏）の報告（30 分） ①藤岡氏の報告（15 分） ②報告に対して、和田先生から参考になる点や疑問点等についてインタビュー（10 分） ③和田先生のまとめ（5 分）
9:50～10:05	【休憩（15 分）】
10:05～11:45	3. 実践者（①勝部氏、②櫛部氏）の報告（100 分）
① 勝部氏 10:05～10:38	勝部 氏 ①実践者 1 人の報告（勝部氏から）（15 分） ②報告に対して、講師から参考になる点や疑問点等についてインタビュー（15 分） ※受講者は①報告、②インタビューを聞きながら、付箋に「参考になったこと」、「報告者に質問したいこと」をメモする。 ③個人ワークで上記を整理し付箋に記入する（3 分）
② 櫛部氏 10:38～11:11	櫛部 氏 ①実践者 1 人の報告（櫛部氏）（15 分）

11:11~11:50	②報告に対して、講師から参考になる点や疑問点等についてインタビュー（15分） ※受講者は①報告、②インタビューを聞きながら、付箋に「参考になったこと」、「報告者に質問したいこと」をメモする。 ③個人ワークで上記を整理し付箋に記入する（3分） ④藤岡氏への質問もあれば記入する ①同じ机3人で付箋の内容を共有（9分） ②会場からの質問を受ける（10分） ③実践者、講師それぞれからまとめのコメント（20分） 付箋は回収しない。
11:50~12:00	4. 講師（和田先生）によるプログラムのまとめ（10分）

◆科目：【講義と演習⑦】相談支援の展開と視点（研修175分+休憩15分）

◇日時：第1回目＜3日目＞7/11（木）13：00～16：10

第2回目＜3日目＞7/31（水）9：00～12：10

第3回目＜3日目＞9/4（水）9：00～12：10

◇登壇者：福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子 氏

雲南市社会福祉協議会 地域福祉部 生活支援・相談センター 相談支援員 土屋 博紀 氏

◇講義のポイント：①相談支援の展開について基本的な流れ、構図を理解する。

②実践（事例）を通して支援の視点を理解する。

③本事業における終結を理解する。

◇資料構成：①相談支援のプロセス図

②事例シート1（導入）

③事例シート2（プラン作成までの経過）

④事例2 ワークシート（インテークアセスメントシート）

⑤プラン兼事業等利用申込書（1回目）

⑥事例シート3

⑦評価シート（1回目）

⑧プラン兼事業等利用申込書（2回目）

⑨帳票類標準様式を活用する意義（みずほ報告書P.44）

⑩生活困窮者自立支援事業相談員ハンドブック（Q&A集）（P.28～29 Q14）

◇進行：※進行時間は第3回目のもの

進行時刻	内容
9:00～9:10	<u>1. 導入（八木先生）</u> ・本プログラムのねらいの説明（→事例を通じて学んでいくことを説明） ・相談支援のプロセス（資料①）
9:10～9:20	<u>2. 事例1検討（把握・アウトリーチ・相談受付）</u> ・事例の読み上げ（土屋氏）、共有、ポイントの解説（資料②）
9:20～10:40	<u>3. 事例2検討（アセスメント・プラン作成（支援調整会議））</u> ・事例の読み上げ（土屋氏） ・個人ワーク→帳票の記入（課題と背景要因・課題のまとめと支援方針等） ・グループディスカッション ・グループ報告、ポイントの解説（資料③④※途中配布、資料⑨）
10:40～10:55	<u>【休憩（15分）】</u>
10:55～12:00	<u>4. 事例3検討・ワーク（プラン評価・終結）</u> ・事例の読み上げ（土屋氏）、共有（資料⑤⑥） ・個人ワーク（事例のどの部分に着目して終結とみなしたか。） ・グループディスカッション ・グループ報告、ポイントの解説（資料⑦⑧※途中配布） 「終結の根拠とは」（事例のどの部分に着目して「終結」とみなしたのか。（資料⑩）
12:00～12:10	<u>5. まとめ</u>

◆科目：【講義と演習⑧】つながりにくい相談者への支援（研修100分）

◇日時：第1回目 <3日目> 7/11（木）16:20～18:00

第2回目 <2日目> 7/30（火）16:50～18:30

第3回目<2日目> 9/3（火）16:25～18:05

◇登壇者：【コーディネーター】市川市生活サポートセンターそら（so-ra） 朝比奈 ミカ 氏

【実践者】一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 遠藤 智子 氏

NPO法人 BOND プロジェクト 橘 ジュン 氏

◇学びのポイント：若年女性等、つながりにくい相談者の支援について、実践者から基本的な考え方と実践方法について学ぶ。

◇進行：※進行時間は第3回目のもの

進行時刻	内容
16:25～16:35	<u>1. 朝比奈氏によるプログラムの趣旨説明・講義（10分）</u>
16:35～17:05	<u>2. 遠藤氏の発表（計30分）</u> ①遠藤氏の発表（30分）
17:05～17:35	<u>3. 橘氏の発表（計30分）</u> ①橘氏の発表（30分）
17:35～17:55	<u>4. バズセッション・全体での質疑応答（20分）</u> 遠藤氏、橘氏の発表の共有をする。
17:55～18:05	<u>5. まとめ（10分）</u> 朝比奈氏より全体のまとめを行っていただく。

【前期】共通カリキュラム 研修会の様子



2【後期】主任相談支援員養成研修

《【後期】主任相談支援員養成研修 プログラムシート》

■期日 8月21日（水）～23日（金） ■受講者数 202名 ■会場 全社協・中央福祉学院

■会場の着席形式 3日間終日グループ形式

最小単位を3人のグループとして、2つのグループ（計6人）で着席する。

1日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる

2日目：地域でグループを構成

3日目：1日目の3人グループは同じメンバーで、組み合わせるグループを別にする

■各プログラムの詳細

◆科目：【講義①】主任相談支援員の役割と期待（研修60分）

◇日時：＜1日目＞ 8/21（水） 10：40～11：40

◇登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

◇講義のポイント：①主任相談支援員の役割について理解する。

②スーパービジョンの方法を学ぶ。支援における視点の偏りや、権利擁護の視点の必要性についても取り上げる。

◆科目：【講義と演習②】職員の資質向上と職場（組織）づくり（研修210分+休憩15分）

◇日時：＜1日目＞ 8/21（水） 12：40～16：25

◇登壇者：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◇講義のポイント：①職員の育成・教育に向けた方法を学ぶ。

②自立相談支援機関の職場特性を踏まえた職場づくりのあり方、スーパービジョンの仕組みづくりや組織マネジメントを考える。

③他機関との協働、チームづくりへの視点を学ぶ

◇進行：

進行時刻	内容
12:40～16:25	演習：加留部先生（210分【途中休憩15分】）
12:40～12:55	全体導入 説明（15分）
12:55～13:20	演習「貿易ゲーム」（25分）
13:20～13:50	結果全体シェア（20分）＋小道具入替え（10分）
13:50～14:50	ワールド・カフェによる振り返り（60分）
14:50～15:05	休憩（15分）
15:05～16:15	講義「いっしょにやる、ということ」、ワールド・カフェ解説（70分）
16:15～16:25	全体振り返り（10分）

※12:55～ 6人の島形式、備品あり（封筒に備品入れておく）

※13:50～ 6人の島形式で、各島に模造紙1枚、プロッキー1セット、A4用紙を人数分

◆科目：【講義③】生活困窮者支援と地域づくりの意義（60分）

◇日時：＜1日目＞ 8/21（水） 16：40～17：40

◇登壇者：ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏

◇講義のポイント：①なぜ困窮者支援に地域づくりが必要なのか

②生活困窮者自立支援と地域福祉計画

③生活困窮者自立支援と他の分野との連携

◆科目：【講義と演習④】対象者理解を深めるために（研修180分+休憩15分）

◇日時：＜2日目＞ 8/22（木） 9：00～12：15

◇登壇者：ファシリテーター：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

コメンテーター：浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏

市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏

実践（事例）報告：東御市社会福祉協議会 主任相談支援員 佐藤 ももこ 氏

奈良県社会福祉協議会 主事 田中 和博 氏

◇学びのポイント：①事例検討を通して対象者理解の視点を学ぶ。

②対象者理解の切り口や解釈を学ぶ。

◇壇上 （下手）上原氏 （スクリーン） （上手）事例発表者

・マーカー（黒・赤・青・緑、極太各2本）

・マイク：ライン2本（司会者・事例提供者）、ワイヤレス2本（会場用）

◇進行:

進行時刻	内容
9:00-9:05	<u>1. 導入：新保先生（5分）</u> ・趣旨説明と導入（本講義・演習の目的）
9:05-9:25	<u>2. 事例理解の枠組み：朝比奈氏（20分）</u>
9:25-11:40	<u>3. 事例検討（2事例）（120分+休憩15分）</u> 事例提供者：佐藤氏、田中氏 司会進行：上原 久 氏（聖隷福祉事業団） 《事例検討の流れ》 事例紹介（10分） 事実確認（10分） グループ討議（20分） 討議結果発表（10分※2-3分×3G） コメント（10分）※朝比奈氏、上原氏 ※上原氏進行のもと下記の内容を進める。休憩は進行状況をみながら決める。
11:40-12:10	<u>4. 講義：上原氏（30分）</u> ① アセスメントとは （現状の査定、背景の理解、主要テーマの把握） ② アセスメントに役立つ諸理論 （ライフサイクル理論、ストレス理論、その他の理論） ③ 「対象者理解を深める」とは
12:10-12:15	<u>5. まとめ：新保先生（5分）</u>

◆科目：【講義と演習⑤】スーパービジョンの実際（研修210分+休憩15分）

◇日時：＜2日目＞ 8/23（木） 13:05～16:50

◇登壇者：市川市生活サポートセンター そら（so-ra） 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏
聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏
いちほら生活相談サポートセンター 主任相談支援員 大戸 優子 氏

◇学びのポイント：①主任相談支援員の役割や視点、スーパービジョンについて学ぶ。
②事例を通して、主任相談支援員としての「考え」と「対応」について実践的に学ぶ。

◇壇上 （下手）朝比奈氏、大戸氏、上原氏（スクリーン） （上手）

◇進行：

進行時刻	内容
13:05～13:25	<u>1. 解説：主任の視点・スーパービジョンについて学ぶ：上原氏（20分）</u> ①レジュメに基づき解説（20分）
13:25～16:50	<u>2. 演習：主任の役割とスーパービジョンの実践（190分＋休憩15分）</u>
13:25～13:35	①導入（朝比奈氏）（10分） 演習の趣旨、進め方とグループの役割分担（発表者）等を説明する。
13:35～14:15	②事例シートの紹介（大戸氏）（40分）
14:15～15:05	③グループ協議（50分） 事例をもとに主任としての「考え」と「対応」について協議する。 協議内容についてワークシート（個人）として整理する。
15:05～15:20	【休憩（15分）】
15:20～16:20	④グループ発表（3～4グループ×5分＝15～20分）＋解説（40分） グループ協議の発表をもとに、主任としての役割やスーパービジョンの実践方法等の理解を深める。 →助言は朝比奈氏が上原氏と大戸氏に振り分ける。
16:20～16:50	⑤演習全体のまとめ（30分） 主任相談支援員の視点・スーパービジョンについて解説（上原氏）10分 まとめ・コメント（朝比奈氏、大戸氏）20分

◇研修資料

- ①自立相談支援事業における使用標準様式の実用化に向けた調査研究 報告書（みずほ情報総研 平成26年度）PP. 64-65 「課題のまとめと支援の方向性」を導き出すための実践上のポイント
 - ②事例から学ぶ自立相談支援の基本（みずほ情報総研 平成27年度）PP. 2-3 本人理解にもとづく相談支援の考え方
 - ③解説レジュメ（上原氏）
 - ④事例シート（大戸氏）
 - ⑤演習：個人ワークシート ※当日配布
- * テーマ「主任相談支援員であるあなたは、どのように考え、どのように対応しますか」

◆科目：【講義と演習⑥】個を支える地域づくり（研修150分＋休憩10分）

◇日時：＜3日目＞ 8/23（金） 9：00～11：45

◇登壇者：【講師】日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏

【コメンテーター】豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏

【実践者】・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏

・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こずえ 氏

◇学びのポイント：①ソーシャルサポートネットワークづくりのプロセスとその作り方を学ぶ。

- ②個と地域の一体的支援や地域住民への福祉教育の推進等において、主任相談支援員としての関わりや働きかけをするプロセスを学ぶ。
- ③事例を通して地域づくりの必要性や地域における包括的な支援体制づくりに自立支援相談支援機関として、また、主任相談支援員として主体的に取り組むことの必要性を理解する。

◇壇上 (下手) 原田先生、勝部氏 (スクリーン) 森脇氏、古市氏 (上手)

◇進行：

進行時刻	内容
9:00～10:25	<u>前半：ソーシャルサポートネットワークを作るプロセスを学ぶ (85 分)</u>
9:00～9:10	1. 講義の目的 (原田先生) + 事例紹介①「会う前」(森脇氏) 10 分 事例概略シートで紹介する
9:10～9:20	2. 個人ワーク エコマップ①書き方説明 (原田先生) + 作成 10 分
9:20～9:30	3. 事例紹介②「会ってから現在」(森脇氏) 10 分
9:30～9:35	4. 個人ワーク エコマップ②作成 5 分
9:35～9:45	5. 個人ワーク プロセスレコードシートの整理 10 分
9:45～10:00	6. グループワーク プロセスレコードシート共有 15 分 <u>7. の前にエコマップ、プロセスレコードシート記入済みを配付する</u>
10:00～10:10	7. グループワーク 支援のポイント共有 10 分
10:10～10:25	8. 全体共有 グループ発表+解説 (原田先生)、コメント (勝部氏) 15 分
10:25～10:35	休憩 (10 分)
10:35～11:45	<u>後半：ソーシャルサポートネットワークの作り方を学ぶ (70 分)</u>
10:35～10:37	1. 講義の目的 (原田先生) 2 分
10:37～10:45	2. 事例紹介 (①子ども：古市氏、②障害者：森脇氏) 4 分×2 (8 分) ※ワークする事例 (A～B) については、原田先生が指定する。
10:45～10:50	3. 個人ワーク ワークシート記入 5 分
10:50～11:10	4. グループワーク 支援内容について討議 20 分
11:10～11:25	5. グループワーク 報告・ディスカッション 5 分×3 グループ (15 分)
11:25～11:45	6. 解説・コメント：(原田先生、勝部氏、古市氏、森脇氏) 20 分程度 <u>(午後プログラムの準備・説明)</u>
	★「事前課題」(参加者持参) をグループ内で配布、午後の演習までに各自確認する。

※6 人の島形式で、ワークシート (A1 版) 1 枚、プロッキー1 セット (なお、付箋 (赤、青) は事前配付済)

◇研修資料

- (前半) ①ケースの概略シート (エコマップ記入シート付) (森脇氏)
- ②プロセスレコードシート個人記入用 A3
- ③エコマップパワーポイント ※当日配布 (森脇氏)
- ④プロセスレコードシート記入済み※当日配布 (森脇氏)

(後半) ①ケースメソッド 2つの事例

(事例作成：①子ども分野：古市氏、②障害者分野：森脇氏)

※事例検討ではないため、各事例は5行程度で簡潔に整理する。

②予防と新しい支援の仕組みを考えるワークシート (個人用 A3)

③予防と新しい支援の仕組みを考えるワークシート (グループ用 A1)

◆科目：【講義と演習⑦】社会資源とネットワークの開発 (研修 120 分+15 分)

◇日時：＜3 日目＞ 8/23 (金) 12：35～14：50

◇登壇者：【講師】日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏

【コメンテーター】豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏

【実践者】・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏

・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こずえ 氏

◇学びのポイント：①社会資源開発や創出の必要性和、多機関協働や幅広い関連分野との具体的な連携の方法、自立相談支援機関として担う協働の中核としての役割を学ぶ。

②ニーズにもとづく社会資源の開発、ネットワークづくり (多層的なネットワーク、多機関協働、多職種連携等) における主任相談支援員の役割を学ぶ。

◇受講者は6人1組のグループ

◇壇上 (下手) 原田先生、勝部氏 (スクリーン) 森脇氏、古市氏 (上手)

◇進行：

【前半：実践報告】(計 55 分)

進行時刻	内容
12:35～12:40	1. 講義の目的等について説明：原田先生 (5 分) ※4 名登壇
12:40～13:00	2. 【実践報告・テーマ 1】多機関協働、協働の中核を担う役割：古市氏 (15 分) ⇒実践報告を踏まえたテーマに対するコメント：森脇氏、勝部氏 (5 分) (計 20 分)
13:00～13:20	3. 【実践報告・テーマ 2】「地域セーフティネット」の構築と実践：森脇氏 (15 分) ⇒実践報告を踏まえたテーマに対するコメント：古市氏、勝部氏 (5 分) (計 20 分)
13:20～13:30	4. 会場からの質問対応 (10 分)
13:30～13:45	休憩 (15 分)

【後半：演習・事前課題の検討】(計 65 分)

◎事前課題をもとに、社会資源とネットワーク開発 (出口づくり) について検討する。

13:45～13:50	<u>1. 演習の目的・進め方：原田先生（5分）</u>
13:50～14:05	<u>2. 各グループでの事前課題の報告・共有、検討事例の選定（2分×6人+α：15分）</u>
14:05～14:35	<u>3. グループ協議：社会資源とネットワーク開発〔出口づくり〕を考える（30分）</u>
14:35～14:50	<u>4. グループ協議の発表、コメント：原田先生、勝部氏、森脇氏、古市氏（15分）</u>

※6人の島形式で、ワークシート（A1版）1枚、プロッキー1セット、（付箋（赤、青）は事前配付済）

◇研修資料：

①実践報告資料（各15分）

- ・実践報告・テーマ1：多機関協働、協働の中核を担う役割（古市氏）
- ・実践報告・テーマ2：「地域セーフティネット」の構築と実践（森脇氏）

②演習（後半）におけるグループ協議のワークシート（原田先生）

③事前課題シート（参加者各位が持参、グループで配布）

◆科目：【講義と演習⑧】研修の振り返り・まとめ（研修60分）

◇日時：＜3日目＞ 8/23（金） 14:50～15:50

◇登壇者：日本福祉大学 副学長 原田 正樹 氏

◇学びのポイント：○3日間の研修の振り返り・まとめ

- 生活困窮者自立支援制度の理念
- 地域共生社会の実現に向けた社会福祉法の改正
- 求められるソーシャルワーク

◇講義形式

生活困窮者自立支援制度における主任相談支援員の役割

- 個人への丁寧な相談支援とともに、地域づくりを視野に入れた、チームによる包括的な支援体制を整備する視点を持つ必要がある。
 - 社会資源が不足している場合には、地域の関係機関のネットワークを強化したり、新たに社会資源を開発することが求められる。
 - なお、支援困難事例に対応するとともに、スーパービジョンや人材養成を通して、支援の抜け漏れや偏りを防ぐことも重要である。
 - また、支援員一人一人が自らの専門性を発揮し、より良い実践を展開していけるよう、職場づくりやリスクマネジメントにも取り組む必要がある。
- ⇒ 主任相談支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践しよう。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 支援困難な事案への対応
- ・ 高度な相談支援の展開
- ・ 包括的、個別的、早期的、継続的、創造的な支援の実施

“しっかり”

相談業務のマネジメント

- ・ スーパービジョンや人材育成
- ・ 支援内容及び進捗状況の確認、助言、指導
- ・ 業務全体のリスクマネジメント
- ・ 理念の共有に向けた働き掛け
- ・ リーダーシップの発揮

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 関係機関との連携、協働
- ・ 自立相談支援事業と任意事業との一体的支援
- ・ より良い職場づくり
- ・ 相談支援員、就労支援員との協働・支援

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者とのネットワークの構築
- ・ 働く場、参加する場の開拓
- ・ 地域住民への普及、啓発活動
- ・ 地域の支援レベルの向上に向けた取組

2019年度【後期】主任相談支援員養成研修 学びの見取り図

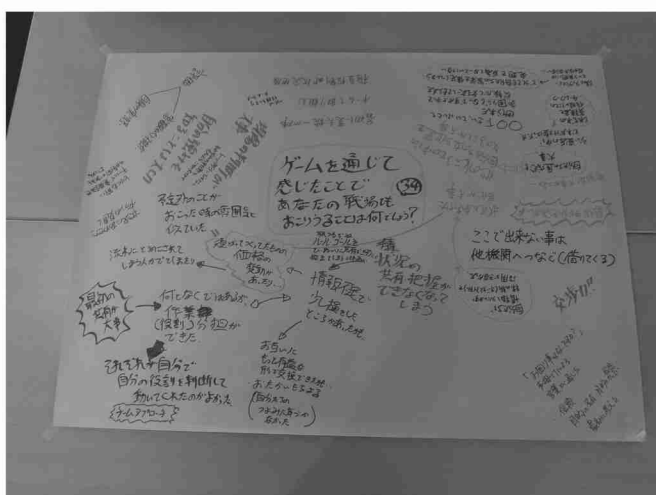
“きちんと”			“しっかり”				“みんなで”				“つながる・つくる”				
丁寧な相談支援			相談業務のマネジメント				チームによる支援				社会資源の活用と開発				
科目	支援困難な事業への対応	高度な相談支援の展開	包括的、個別化、継続的、創造的な支援の実施	スーパービジョンや人材育成	支援内容及び進捗状況の確認、助言、指導	業務全体のリスクマネジメント	理念の共有に向けた働きかけ	リーダーシップの発揮	関係機関との連携、協働	自立相談支援事業と任意事業との一体的支援	相談支援員、就労支援員との協働、支援	関係機関、者とのネットワークの構築	地域住民への普及、啓発活動	働く場、参加する場の開拓	地域の支援レベルの向上に向けた取り組み
【講義①】主任相談支援員の役割と期待	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【講義と演習②】職員の資質向上と職場（組織）づくり							○		○	○		○	○	○	○
【講義③】生活困窮者支援と地域づくりの意義				○	○	○	○	○		○					
【講義と演習④】対象者理解を深めるために	○	○	○	○				○	○	○		○	○		○
【講義と演習⑤】スーパービジョンの実践	○	○	○	○	○	○	○	○							
【講義と演習⑥】個を支える地域づくり		○			○				○	○		○	○		○
【講義と演習⑦】社会資源とネットワークの開発		○					○		○	○		○	○	○	○
【講義と演習⑧】研修の振り返り・まとめ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

1日目

2日目

3日目

【後期】主任相談支援員養成研修 研修会の様子



3 【後期】相談支援員養成研修

《【後期】相談支援員養成研修 プログラムシート》

■期日 【第1回】10月17日（木）～10月19日（土）

【第2回】11月27日（水）～11月29日（金）

■受講者数 【第1回】198名 【第2回】161名

■会場 【第1回】全社協・中央福祉学院

【第2回】リバーサイドホテル（大阪）

■会場の着席形式 6人のグループ形式で着席する。（グループ構成はランダム）

（基本6人組（一部5人組）、2～3日目についてはグループ変更なし。）

■備品 受講者には予め青の付箋を配付している

■各プログラムの詳細

◆科目：【テーマ別講義①】ギャンブル依存症の理解と相談支援の視点（研修70分）

◇日時：＜第1日目＞【第1回】10月17日（木）、【第2回】11月27日（水） 14：00～15：10

◇登壇者：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課依存症対策推進室
依存症対策専門官 遠山 朋海 氏

◇学びのポイント：①依存症についての理解を深め、適切な機関と連携できるようイメージする。

◇壇上：（下手側）演台

◇研修資料：遠山氏レジュメ、依存症リーフレット

◆科目：【テーマ別講義②】ひきこもりの状態にある方の理解と支援の視点（研修70分）

◇日時：＜第1日目＞【第1回】10月17日（木）、【第2回】11月27日（水） 15：25～16：35

◇登壇者：【第1回】一般社団法人 ひきこもり UX 会議 代表理事 林 恭子 氏
【第2回】一般社団法人 ひきこもり UX 会議 理事 石崎 森人 氏

◇学びのポイント：①ひきこもりの状態にある方の理解を深め、支援に必要な視点や心構えを学ぶ。

◇壇上：（下手側）演台

◇研修資料：林氏、石崎氏レジュメ

◆科目：【講義と演習①】個別支援の基本（研修 60 分）

◇日時：＜第 1 日目＞【第 1 回】10 月 17 日（木）、【第 2 回】11 月 27 日（水） 16：50～17：50

◇登壇者：同志社大学 教授 空閑 浩人 氏

◇学びのポイント：①個別支援の基本姿勢について学ぶ。

②援助関係を構築するとはどういう意味を持つのか、構築することでどういう援助が可能になるのかを学ぶ。

③【前期共通】の振り返りと、【後期】相談支援員研修の導入の位置づけで行う。

◇壇上：（下手側）演台

◇研修資料：空閑先生レジュメ

◆科目：【講義と演習】相談支援の展開

◇日時：【第 1 回】＜2 日目＞10 月 18 日（金）9：00～16：50

＜3 日目＞10 月 19 日（土）9：00～15：05

【第 2 回】＜2 日目＞11 月 28 日（木）9：00～16：50

＜3 日目＞11 月 29 日（金）9：00～15：05

◇登壇者：

【コーディネーター】・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏

【コメンテーター】・市川市生活サポートセンターそら（so-ra） 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏

・聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 医療福祉相談室 課長 上原 久 氏

【演習協力者】【第 1 回】・木更津市役所 福祉部自立支援課 主査 大塚 歩 氏

【第 2 回】・米原市役所 健康福祉部社会福祉課 主幹 石田 育子 氏

・社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 生活支援部生活困窮者支援グループ
主任相談支援員 細羽 英二 氏

※演習協力者の役割

- ・事例シートの読み上げ
- ・各ワークにおいて、グループからの報告に対するコメント
- ・演習中、会場内を巡回し、迷ったり作業が進んでいないグループへのフォロー
- ・全体で共有したい（発表していただきたい）グループの選定 等

◇講義のポイント：①相談支援における考え方や必要な視点について、事例を通じて学ぶ。

◇進行：※進行時間は第2回目のもの

◇研修2日目

時間	内容	担当
9:00~9:10	導入（プログラムのねらい、進め方について等）	空閑氏
9:10~9:25	《自己紹介・アイスブレイク》	空閑氏
9:25~10:30	《セッション1：包括的な相談受付》	【コーディネート】 空閑氏
9:25~9:40	◆初回面談でのポイント ワーク1（65分） ①事例シート1を読んで、ワークシート1を記入 （個人ワーク）（15分）	【コメント】 朝比奈氏、上原氏 演習協力者
9:40~10:00	②グループのなかで共有（グループワーク）（20分）	
10:00~10:20	③発表（20分）	
10:20~10:30	④まとめ（10分） ＊相談受付・申し込み票配布（④まとめ時）	
10:30~10:45	休憩（15分） ＊事例シート2、ワークシート2配布（セッション2①開始前）	
10:45~12:35	《セッション2：アセスメント》	
10:45~10:50	◆①面接過程と今後の支援 ワーク2（110分）	
10:50~11:00	①セッションのねらいについて（5分）	
11:00~11:25	②事例シート2の読み上げ（10分） →壇上でロールプレイ形式（演習協力者）	
11:25~11:55	③事例シート2を聞いて、ワークシート2を記入 （個人ワーク）（25分）	
11:55~12:15	④グループのなかで共有（グループワーク）（30分）	
12:15~12:20	⑤ワークシート2（1）発表（20分） →ロールプレイで支援者を演じた演習協力者から、各グループ の発表を聞いて振り返りを行う。	
12:20~12:30	ワークシート2（1）まとめ（5分）	
12:30~12:35	ワークシート2（2）発表（10分） ワークシート2（2）まとめ（5分）	
12:35~13:35	昼食休憩（60分） ＊事例シート3、インテーク・アセスメントシート（個人用（A4）、 グループ用（A1））配布	
13:35~14:00	◆ミニ講義1 援助関係（25分） ※みずほ情報総研資料（「本人理解にもとづく相談支援の考え方」） の説明 ※事例のここまでの展開の振り返り（事例シート3の説明）	ミニ講義1 朝比奈氏

時間	内容	担当
14:00~16:50	◆②インテーク・アセスメントシートの記入 ワーク3（160分+休憩15分）	
14:00~14:40	①事例シート3（演習協力者が読み上げる）（20分）+個人ワーク 説明（5分）を聞いて、インテーク・アセスメントシートの「本人の主訴・状況」、「課題と背景要因」を記入（個人ワーク）（15分）	
14:40~15:05	②グループでA1のインテーク・アセスメントシートの「課題と背景要因」をグループで検討する。（25分）	
15:05~15:40	③「※課題のまとめと支援の方向性」（個人ワーク）（5分）、 「※チェック項目」に記入（グループワーク）（30分） ⇒（休憩時間：15分）発表グループを演習協力者から各3グループ推薦してもらい、可能であれば会場内スクリーンに投影。	
15:40~15:55		
15:55~16:35	④発表（6グループ程度）（40分）→タイムキーパーあり。	
16:35~16:45	⑤「課題のまとめと支援の方向性のポイント」の解説（10分）	空閑氏
16:45~16:50	⑥まとめ（5分） * 記入済みインテーク・アセスメントシート（参考資料）、プランシート配布（⑥まとめ終了後）	空閑氏

◇研修3日目

時間	内容	担当
9:00~9:05	* ワークシート4 配布（受付にて配布） 2日目の振り返り・3日目の流れについて説明	空閑氏
9:05~11:30	《セッション3：プラン実行》 ◆プラン実行ワーク4（145分）	
9:05~9:15	①事例シート③を手元にプランシートの説明（10分）	朝比奈氏
9:15~9:40	◆ミニ講義2 多機関との連携（25分）	ミニ講義2 上原氏
9:40~10:00	② プランをもとに、ワークシート4を記入（個人ワーク）（20分）	
10:00~10:40		
10:40~11:20	③グループのなかで共有（グループワーク）（40分）	
11:20~11:30	④発表（40分）→適宜休憩 ⑤まとめ（10分）	
11:30~12:20	昼食休憩（50分） * 事例シート④（ワード版・パワーポイント版）、ワークシート⑤（個人ワーク用）、模造紙配布	

12:20~14:50	(セッション4 開始前) 《セッション4 : 評価・終結》 ◆終結について ワーク5 (150分)	
12:20~12:30	◆ミニ講義3 終結について (10分)	ミニ講義3 上原氏
12:30~12:55	①事例シート4の説明 (25分) (パワーポイント使用)	朝比奈氏
12:55~13:05	②事例シート4を読んで、ワークシート5を記入 (個人ワーク) (10分)	
13:05~13:20	③グループのなかで共有 (15分)	
13:20~14:10	*模造紙 (グループワーク) (50分) ⇒適宜休憩	
14:10~14:40	④発表 (30分)	
14:40~14:50	⑤まとめ (10分)	
14:50~15:05	《全体まとめ》 (15分)	空閑氏

生活困窮者自立支援制度における相談支援員の役割

- 相談者は自尊心や自己有用感を喪失していることから、相談者との信頼関係を構築し、ストレングス視点を持って支援を展開していくことが重要である。
 - また、良い支援を支援者に提供するためには、関係機関と連携しチームアプローチによる支援を展開していくことが求められる。
 - なお、社会資源が不足している場合には、地域の関係機関のネットワークを強化したり、新たに社会資源を開発していく視点を持つ必要がある。
- ⇒ 相談支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践しよう。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- ・ 支援のコーディネートと適切な支援の提供
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングスに着目した本人主体の支援

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 主任相談支援員、就労支援員との協働
- ・ 関係機関との連携、協働
- ・ 自立相談支援事業と任意事業との一体的支援

“ずっと”

切れ目のない支援

- ・ アウトリーチによる発見・支援
- ・ 寄り添いながらの包括的、継続的支援
- ・ 定着支援や終結後のフォローアップ
- ・ 見守りのネットワークの構築

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

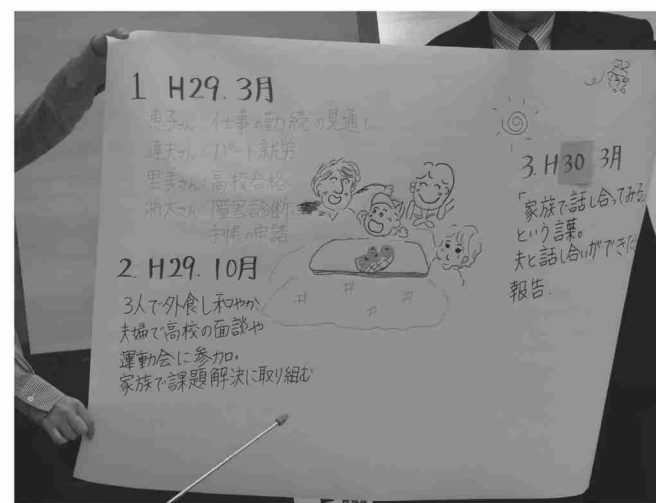
- ・ 各種制度や地域資源に関する情報収集と活用
- ・ 関係機関・者のネットワークの構築
- ・ 働く場、参加する場の開拓

【後期】相談支援員養成研修 学びの見取り図

2019年度【後期】相談支援員養成研修 学びの見取り図

科目	“きちんと”				“ずっと”				“みんなで”			“つながる・つくる”		
	丁寧な相談支援				切れ目のない支援				チームによる支援			社会資源の活用と開発		
	包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成	支援のコーディネートと適切な支援の提供	信頼関係の構築と自尊感情、自己有用感の回復に向けた支援	ストレングスに着目した本人主体の支援	アウトリーチによる発見・支援	寄り添いがらな包括的、継続的支援	定着支援や最終後のフォローアップ	見守りのネットワークの構築	主任相談支援員、就労支援員との協働	関係機関との連携、協働	自立相談支援事業と任意事業との一体的支援	関係機関・若者とのネットワークの構築	各種制度や地域資源に関する情報収集と活用	働く場、参加する場の開拓
1 日目	【テーマ別講義①】 ギャンブル依存症の理解と相談支援の視点		○	○		○				○		○	○	
	【テーマ別講義②】 ひきこもりの状態にある方の理解と支援の視点		○	○		○				○		○	○	
	【講義と演習①】 個別支援の基本	○	○	○	○	○								
2 日目	【講義と演習②】 相談支援の展開	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習③】 相談支援の展開	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
3 日目	【講義と演習④】 相談支援の展開	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

【後期】相談支援員養成研修 研修会の様子



4 【後期】就労支援員養成研修

《【後期】就労支援員養成研修 プログラムシート》

■期日：12月11日（水）～13日（金） ■受講者数：188名 ■会場 全社協・中央福祉学院

■会場の着席形式：机1本に3人のグループで着席する。3日間終日机を2本合わせたグループ形式で進行。

1、3日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる。1、3日目は同じグループ。

2日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく

■各プログラムの詳細

◆科目：【講義と演習①】はじめに（研修90分）

◇日時等：＜1日目＞12月11日（水）13:10-14:40

◇登壇者：【講師】明治学院大学 教授 新保 美香 氏

◇学びのポイント：①前期の振り返り

②生活困窮者自立支援制度における就労支援の内容の確認

③後期研修の目的

④「支援を育てる」事例の確認と共有（事前課題に基づき事例を持ち帰る）

◆科目：【行政説明】生活困窮者自立支援制度における就労支援について（研修45分）

◇日時等：＜1日目＞12月11日（水）14:55-15:40

◇登壇者：【講師】厚生労働省社会・援護局 地域福祉課生活困窮者自立支援室

室長補佐 渡邊 泰彦 氏

◇学びのポイント：①生活困窮者自立支援における就労支援

◆科目：【講義と演習②】ひきこもりの状態の方のアウトリーチ支援の実際（研修130分）

◇日時：＜1日目＞12月11日（水）15:55～18:05

◇登壇者：【講師】NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏

◇学びのポイント：①アウトリーチの実際

②危機管理の視点など

◆科目：【講義と演習③】地域づくり、自治体による就労支援について（研修 120 分）

◇日時等：＜2 日目＞12 月 12 日（木）9:00～11:00

◇登壇者：【コーディネーター】明治学院大学 教授 新保 美香 氏

【報告者】 ・釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏

・A' ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター） 就労支援室 室長 西岡 正次 氏

◇学びのポイント：①就労支援を通じた地域づくりの考え方と実践を学ぶ。

◇壇上：（下手）新保氏（スクリーン）櫛部氏、西岡氏（上手）

◇進行：

進行時刻	内容
9:00～9:05	<u>1 導入：趣旨説明及び登壇者紹介：新保氏（5 分）</u>
9:05～9:45	<u>2 櫛部氏報告（40 分）</u>
9:45～9:55	<u>3 バスセッション①＋コーディネーターとのやりとり（10 分）</u>
9:55～10:35	<u>4 西岡氏報告（40 分）</u>
10:35～10:45	<u>5 バスセッション②＋コーディネーターとのやりとり（10 分）</u>
10:45～11:00	<u>6 まとめ（15 分）</u> ・講師より受講者へメッセージ

◆科目：【講義と演習④】多様なメニューづくり（研修 85 分）

◇日時等：＜2 日目＞12 月 12 日（木）11:10～12:35

◇登壇者：【講師】沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナルサポートセンター

統括責任者 名嘉 泰 氏

◇学びのポイント：①プログラム作りの方法や考え方

②その人から出発する就労支援

◇備品：A4 白紙（各自 1 枚）、模造紙（6 人グループ 1 枚）、プロッキー（6 人グループ 1 つ）

◇進行：

進行時刻	内容
11:10～12:00	<u>1 支援メニュー（プログラム）づくりの説明（50 分）</u>

12:00～12:05	<u>2 個人ワーク (5 分)</u>	(各自資料、白紙、プロッキー)
12:05～12:15	<u>3 グループ共有 (10 分)</u>	(各自資料、白紙、プロッキー)
12:15～12:20	<u>4 プログラム選定 (5 分)</u>	(模造紙、プロッキー)
12:20～12:30	<u>5 全体共有 (10 分)</u>	
12:30～12:35	<u>6 まとめ (5 分)</u>	

◆科目：【講義と演習⑤】企業訪問、開拓について（研修 55 分）

◇日時等：＜2 日目＞12 月 12 日（木）13:35～14:30

◇登壇者：【講師】一般社団法人 パーソナルサポートセンター 常務理事 立岡 学 氏

◇学びのポイント：①企業開拓について
②就労支援員の心構え

◆科目：【講義と演習⑥】「環境支援型」就労支援～企業とのチーム支援の手法～（研修 135 分休憩含む）

◇日時等：＜2 日目＞12 月 12 日（木）14:45～17:00

◇登壇者：【講師】一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏

◇学びのポイント：①企業開拓の手法について
②企業の選出、本人のプロフィールシートや顔合わせの方法について

◆科目：【講義⑦】就労支援における出口づくり～企業へのアプローチ～（研修 65 分）

◇日時等：＜3 日目＞12 月 13 日（金）9:00-10:05

◇登壇者：【講師】東近江圏域 働き・暮らし応援センター “Tekito-”
センター長 野々村 光子 氏
主任補佐 辻村 達久 氏 （途中から登壇 ⇒野々村氏より紹介）

◇学びのポイント：①企業支援の視点について
②企業との関わり方について

◆科目：【講義と演習⑧】地域をつくる就労支援（研修 65 分）

◇日時等：＜3 日目＞12 月 13 日（金）10:20～11:25

◇登壇者：【講師】NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡
事務局長 池田 佳寿子 氏

◇学びのポイント：①就労支援を通じた地域づくりを学ぶ。

◇備品：付箋、模造紙（6 人グループ 1 枚）、プロッキー（6 人グループ 1 つ）

◇進行：

進行時刻	内容
10:20～10:45	<u>1 静岡方式「ストレングス」について講義（25 分）</u>
10:45～11:25	<u>2 ワークショップ（40 分）</u> ★「ごちゃ混ぜ」の場を作る。 ① 各グループで有償スタッフ・地域ボランティア・本人を 2 名ずつ設定。 ② 本人役のどちらか 1 名が、事前課題を元に事例提供を行う。 ③ 有償スタッフ役に「困りごと」や「好きな○○」を聞いていただくところからワークスタート。 ④ 本人から「好きな○○」からこだわりや魅力・習慣等を教えてもらい、「縁増やし」を行い、地域ボランティア等にも参加していただく。

◆科目：【講義と演習⑨】研修全体のまとめ（研修 120 分）

◇日時等：＜3 日目＞12 月 13 日（金）12：25～14：25

◇登壇者：【講師】・明治学院大学 教授 新保 美香 氏

・九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◇学びのポイント：総合演習 受講者自ら就労支援を組み立てる

◇備品：付箋、模造紙（6 人グループ 1 枚）、プロッキー（6 人グループ 1 つ）

◇進行：

進行時刻	内容
12:25～12:35	<u>1. 導入 趣旨説明（10 分）</u>
12:35～13:10	<u>2. 振り返り演習（合計 35 分）</u>
12:35～12:45	①個人ワーク（10 分）支援検討シートに支援を育てるシートの内容を追記する
12:45～12:55	②個人ワーク（10 分）1 年後、半年後、3 か月後の見通し記入（各 3 分×3 回）
12:55～13:10	③グループワーク（15 分）支援の見通し（タイムマシーン法）を 3 名で共有
13:10～14:25	<u>3. これからに向けた演習（ワールドカフェ方式）（合計 75 分）</u>
	<u>テーマ：これからの就労支援であなたが踏み出したい第一歩は何ですか？</u>
13:10～13:30	①グループワーク 1（20 分）模造紙に記入
13:30～13:50	②グループワーク 2（20 分）一人を残して他グループに移動して模造紙に記入
13:50～14:05	③グループワーク 3（15 分）グループに戻り、情報を共有して模造紙に記入
14:05～14:10	④個人ワーク（5 分）「あなたが持ち帰って、他職員に伝えたいキーワードは何ですか」 を付箋に記入
14:10～14:25	⑤講師まとめ（15 分）

生活困窮者自立支援制度における就労支援員の役割

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊心や自己有用感を喪失している。

このため、本制度における就労支援は、常に本人を起点とし、

- ・ 就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、包括的な支援の一環として展開する。
- ・ 本人の状態に合わせ、必要に応じてステップアップも意識しながら支援する。

⇒ 就労支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングスに着目した支援
- ・ 就労意欲の喚起

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 主任相談支援員、相談支援員との協働
- ・ 就労準備支援事業等の活用
- ・ ハローワークその他の関係機関・者との協働

“ずっと”

切れ目のない支援

- ・ アウトリーチによる発見・支援
- ・ 多様なプログラムの用意
- ・ 個別のニーズに応じた職業紹介
- ・ 定着支援と企業支援

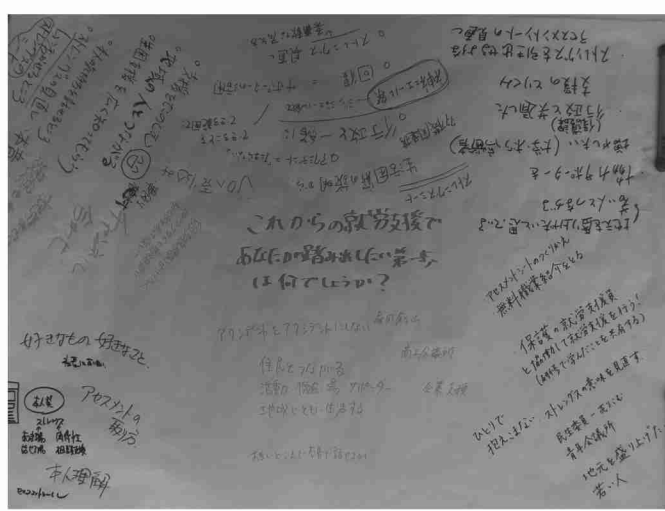
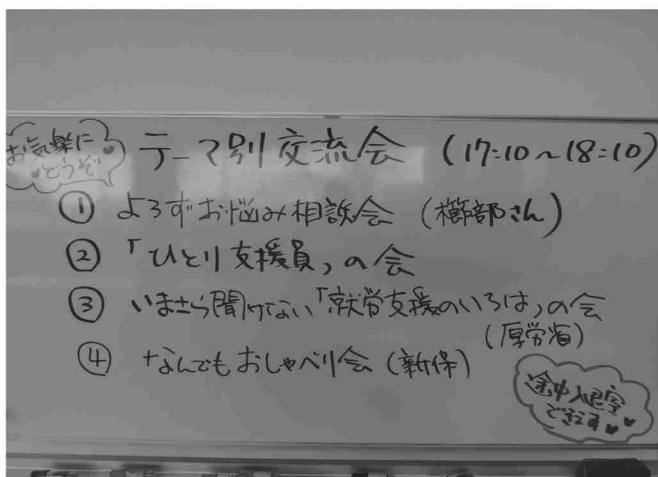
“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者のネットワークの構築
- ・ 企業との関係づくり
- ・ 中間的就労や実習場所等の開拓
- ・ 居場所づくり
- ・ 町おこし、地域づくり

2019年度【後期】就労支援員養成研修 学びの見取り図																
科目	“きちんと”				“みんなで”				“ずっと”				“つながる・つくる”			
	包括的な相談受付け、アセスメント、プラン作成	信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援	丁寧な相談支援	就労意欲の喚起	主任相談支援員、相談支援員との協働	チームによる支援	ハローワークその他の関係機関・事業者との協働	アウトリーチによる発見・支援	多様なプログラムの用意	個別のニーズに応じた職業紹介	定着支援と企業支援	関係機関・者のネットワークの構築	企業との関係づくり	中間的就労や実習場所等の開拓	居場所づくり	町おこし・地域づくり
1 日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習①】はじめに															
	【行政説明】生活困窮者自立支援制度における就労支援について															
2 日目		○		○				○			○	○	○	○	○	○
	【講義と演習②】ひきこもりの状態の方のアウトリーチ支援の実践															
	【講義と演習③】地域づくり、自治体による就労支援について															
3 日目		○		○				○			○	○	○	○	○	○
	【講義と演習④】多様なメニューづくり															
	【講義⑤】企業訪問、開拓について															
4 日目																
	【講義と演習⑥】「環境支援型」就労支援～企業とのチーム支援の手法～															
	【講義⑦】就労支援における出口づくり～企業へのアプローチ～															
5 日目																
	【講義と演習⑧】地域をつくる就労支援															
	【講義と演習⑨】研修全体のまとめ															

【後期】就労支援員養成研修 研修会の様子



5【後期】就労準備支援事業従事者養成研修

《就労準備支援事業従事者養成研修 プログラムシート》

■期日 10月7日（月）～9日（水） ■受講者数 140名 ■会場 タイム 24ビル

■会場の着席形式

3日間、席が変更になる。グループ構成はランダム。

3人掛けスクール形式で着席する。（1日目）

最小単位を3人のグループとして、2つのグループ（計6人）で着席する。（2～3日目）

■各プログラムの詳細

◆科目：【講義①】生活困窮者自立支援法と就労準備支援事業の基本的な考え方（研修 60分）

◇日時：＜1日目＞ 10/7（月） 13：20～14：20

◇登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

室長補佐 渡邊 泰彦 氏

◇学びのポイント：①生活困窮者自立支援制度の創設背景、理念、事業概要等について簡単に説明する

②就労準備支援事業の目的と必要性を理解してもらうとともに、支援の内容と流れを説明する。

③ 具体的な実践例を紹介する。

◆科目：【講義②】これまでの取組実績と考え方（研修 45分）

◇日時：＜1日目＞10/7（月） 14:20～15:05

◇登壇者：釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊氏

◇学びのポイント：①生活保護行政から生活困窮者制度に至るこれまでの取組と、その中で見えてきた就労準備支援事業の役割や自立支援について説明する。

②就労準備支援事業の基本的考え方や姿勢を理解する。

◆科目：【事例発表③】自立相談支援機関との連携（研修 85分）

◇日時：＜1日目＞ 10/7（月） 15：25～16：50

◇登壇者：【コーディネーター】厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

労支援専門官 佐藤 圭司 氏

【実践報告者】・那覇市パーソナルサポートセンター 総括責任者 名嘉 泰 氏

・豊島区くらし・しごと相談支援センター 就労準備支援員 八木 孝道 氏

◇学びのポイント：①具体的な実践事例について学ぶ。

②自立相談支援機関との連携のあり方について考える機会とする。

◇進行：

進行時刻	内容
15:25～15:30	1 導入：趣旨説明及び登壇者紹介（5分）
15:30～16:10	2 登壇者の取組紹介（お一人20分×2 計40分） まず、それぞれの取組（プログラム内容や支援における工夫など）を紹介していただく。（順番は名嘉氏→八木氏）
16:10～16:20	3 インタビュー（お一人5分×2 計10分） ・コーディネーターよりお二人に質問（名嘉氏） ・効果を感じたプログラムは？ ・利用者の送迎はどうしているか？ ・支援の失敗例を教えてください。（八木氏） ・効果を感じたプログラムは？ ・どのように就労意欲を喚起させているか？ ・学校との連携の経緯を教えてください ※時間を見ながら主に上記について質問。
16:20～16:40	4 登壇者から追加で紹介（お一人10分×2 計20分） ・自立相談支援機関との連携について工夫されていることを紹介
16:40～16:50	5 まとめ（10分） ・講師より受講者へメッセージ （佐藤氏）まとめ 4分 （名嘉氏）メッセージ 3分 （八木氏）メッセージ 3分

◆科目：【講義と演習④】ひきこもりの状態の方のアウトリーチ支援の実際（研修150分 休憩含む）

◇日時：＜2日目＞10/8（火）9：30～12：00

◇登壇者：NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史氏

◇学びのポイント：①ひきこもりの状態の方への支援の視点やアウトリーチの方法について学ぶ。

②支援の過程における、アセスメントの方法について説明する。

◆科目：【事例発表⑤】就労体験を中心とした取り組み（研修90分）

◇日時：＜2日目＞10/8（火）12:50～14:20

◇登壇者：京都自立就労サポートセンター 主任就労支援相談員 高橋 尚子 氏

◇学びのポイント：①具体的な実践事例を通して、就労準備支援の支店や展開方法を学ぶ。

②就労体験を中心とした取組について考える機会とする。

◆科目【講義と演習⑥】本人の状態に応じた多様なメニュー開発（研修 90 分）

◇日時：＜2 日目＞10/8（火）14：35～16：05

◇登壇者：沖縄県おしごと応援センター One×One（ワンバイワン）

センター長 岡野 みゆき 氏

◇学びのポイント：①対象者の状態に合わせた支援メニューの必要性について理解する。

②就労準備支援プログラムの作成における多様な支援メニューの準備と開発について学ぶ。

◇準備物：・カレンダーワークシートを印刷した A1 サイズ用紙（各グループに 1 枚配布）

・プロッキー（各グループに 1 ケース配布）

・付箋（75×25mm）（1 人 1 束）

◇進行：

進行時刻	内容
14:35～15:05	1 本人の状態に応じた多様なメニュー開発について講義（30 分）
15:05～16:05	2 ワークショップ（60 分） ★「2019 年度ワークシート 支援プログラム・メニューの開発」に沿って、演習 1～6 まで行う。（各 2 グループ 6 名） 演習① 頭の体操（個人ワーク） →講習メニュー（プログラム）をできるだけ多く付箋紙に書き出す。 演習② 相談者に合わせた多様なメニュー開発（個人ワーク） →事例を読み、メニュー開発のポイントを抑えた上で、演習①で書いた付箋をまとめ、さらにメニューを考える。 演習③ グループで 1 か月の就労準備支援プログラムを作成（グループワーク） →演習②で記入した付箋紙の講習内容と目的等もグループ内で共有した後に、メニューの目的ごとに分類する。これまで出てきた付箋紙を使って、一か月のプログラムを組み立てる。 演習④ 作成したプログラムの見直し →作成したプログラムを見直し、課題や気づき等をグループで共有する。 演習⑤ 研修を通しての気づきを書き出す（個人ワーク） 演習⑥ 地域に戻って、まず何から手がけるか書き出す（個人ワーク）

◆科目：【講義と演習⑦】企業開拓について（研修 90 分）

◇日時：＜2 日目＞10/8（火）16：15～17：45

◇登壇者：【コーディネーター】

厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 泰彦 氏

【コメンテーター】

A' ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター） 就労支援室 室長 西岡 正次 氏

【実践報告者】

NPO 法人わかもの就労ネットワーク 副代表理事 佐藤 洋作 氏

埼玉県障害者雇用総合サポートセンター 企業支援部門長 岡濱 君枝 氏

◇学びのポイント：①企業開拓の手法及び実施するにあたってのポイントを理解する。

（就労体験の場所や実習先の発見・開拓において工夫している点など）

◇進行：

進行時刻	内容
16:15～16:20	1. 導入（5 分）（コーディネーター 渡邊氏より）
16:20～17:10	2. 実践者報告（50 分）
16：20～16：45	佐藤氏から実践報告（25 分）
16：45～17：10	岡濱氏から実践報告（25 分）
17:10～17:20	3. 企業アプローチの課題とツールを紹介（10 分）（コメンテーター 西岡氏より）
	自治体の事業事例とその案内チラシ等を紹介。また、佐藤氏・岡濱氏の報告に対し、補足・コメント等も行う。
17：20～17：45	4. 登壇者 4 人で意見交換（シンポジウム形式）（25 分）

◆科目：【講義⑧】対象者別の特性理解（研修 60 分）

◇日時：＜3 日目＞ 10/9（水） 9：30～10：30

◇登壇者：厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室

発達障害対策専門官 加藤 永歳 氏

◇学びのポイント：①発達障害の基本的な知識を得て、対象者の特性に応じた支援の在り方を考える。

◆科目：【講義と演習】支援関係の構築（研修 100 分）

◇日時：＜3 日目＞ 10/9（水） 10：45～12：25

◇登壇者：【講義・演習】明治学院大学 教授 新保 美香 氏

【コメンテーター】・NP0 スチューデント・サポート・フェイス 代表 谷口 仁史 氏

・白井市 くらしと仕事のサポートセンター 生活クラブ 風の村

主任相談支援員 岡 靖裕 氏

◇学びのポイント：①就労自立の前段階にいる人、まだ就労意欲が低い等、就労に向けた準備がほとんど整っていない段階の人への支援のあり方について理解する。

◇進行：

進行時刻	内容
10:45～11:30	<u>1. 講義＋演習 （45 分） ※新保氏</u> ・ 支援関係の構築に関する講義・演習 ・ ストレngths視点を学ぶ
11:30～11:50	<u>2. 支援のあり方を考える①（20 分）※以降谷口氏・岡氏・新保氏</u> ・ インシデントにもとづき、受講生に対応を検討してもらい、最後に谷口さん、岡さんだったらどうするかコメントを頂く。
11:30～11:32	① 「インシデント 1」の説明（2 分）
11:32～11:35	② 個人での検討（3 分）
11:35～11:40	③ チームによるわかちあい（5 分）
11:40～11:50	④ 谷口氏のお話（5 分）→岡氏のお話（5 分）
11:50～12:10	<u>3. 支援のあり方を考える②（20 分）</u> ・ インシデントにもとづき、受講生に対応を検討してもらい、最後に岡氏・谷口氏だったらどうするかコメントを頂く。
11:50～11:52	① 「インシデント 2」の説明（2 分）
11:52～11:55	② 個人での検討（3 分）
11:55～12:00	③ チームによるわかちあい（5 分）
12:00～12:10	④ 岡氏のお話（5 分）→谷口氏のお話（5 分）
12:10～12:20	<u>4. 就労に向けたモチベーションを高めるために</u> <u>「支援に生かせる 3 つのポイント」 （10 分）</u> ・ 「支援に生かせる 3 つのポイント」として、就労意欲が低い方や、準備が必要な方への支援にあたりポイントとなることを 3 つに絞り、お話していただく。（ポイントはスライド 1 枚にまとめていただく） ①谷口氏（5 分） ②岡氏（5 分）

12:20~12:25	<u>5. まとめ (5分)</u> ・新保氏が、全体を振り返って、まとめのコメントを伝える。
-------------	--

◆科目：【講義と演習⑨】3日間の振り返りとまとめ（研修 120 分）

◇日時：＜3 日目＞10/9（水） 13：25～15：25

◇登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室 就労支援係員 谷口 祐樹 氏

◇位置づけ：研修の振り返りとまとめ

◇学びのポイント：①今回の研修で学んだことを整理し、それを今後どのように生かすことができるか考える。

②参加者同士で、互いのストレングスを見いだしていく。

◇進行：

進行時刻	内容
13:25~13:35	<u>1. 導入 (10 分)</u>
13:25~13:28	(1)新保先生・谷口氏 自己紹介、本講義・演習のすすめかたの説明 (3 分)
13:28~13:35	(2)参加者自己紹介 (7 分)
13:35~14:35	<u>2. グループでのワーク ワールドカフェ (60 分)</u>
13:35~14:25	(1)問い:「就労準備事業であなたがこれから取り組んでみたいことは何でしょうか」(50 分)
	①はじめのグループでのセッション (20 分)
	②近くのテーブルを移動してのセッション (20 分)
	③元のテーブルに戻っていただく。(10 分)
14:25~14:35	(2)「あなたが持ち帰って実行したいことを3つ記入してください」(10 分)
	→A4 用紙配布 (記入：3 分、共有：7 分)
14:35~15:15	<u>3. 色紙ワーク (40 分)</u>
	受講者全員に色紙1枚を配付する。
14:35~14:45	
14:45~15:15	①「自分にとっての就労準備支援とは」を漢字一文字で記入する。文字を選んだそのココロ、日付、氏名も併せて記入する。(10 分)
	②受講者同士で、一文字を紹介し合いながら相手のストレングスを相手の色紙に記入し合う。最終的に自分のストレングスの寄せ書きが完成させる。(30 分)
15:15~15:25	<u>5. まとめ (10 分)</u>
	①参加者振り返り (色紙を見せながら、ひとことフィードバック)
	②本講義・演習を振り返り、締めくくりのメッセージを伝える (谷口氏・新保氏)

生活困窮者自立支援制度における就労準備支援事業

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊心や自己有用感を喪失している。

このため、常に本人を中心としながら、

- ・ 就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、日常生活自立・社会生活自立・就労自立に関する支援を行う。
- ・ 本人の状況に応じた多様な支援メニューを用意し、必要に応じてステップアップを意識しながら支援を展開する。

⇒ 支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ アセスメントに基づくプログラムの作成
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングスに着目した支援
- ・ 就労意欲の喚起

“ぴったり”

きめの細かい支援

- ・ 本人の状態像に応じた多様なニューの用意
- ・ 職場定着支援
- ・ 居場所づくり

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 自立相談支援機関との一体的支援
- ・ 協力関係事業所やハローワーク、地域の企業等との協働

“つながる・つくる”

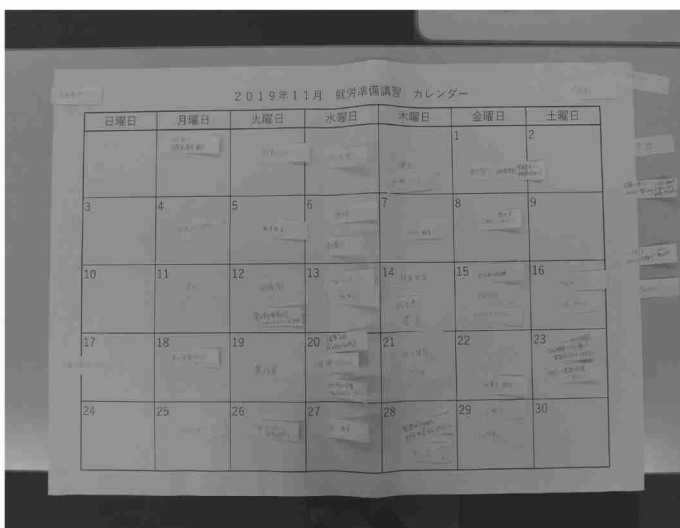
社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者とのネットワークの構築
- ・ 企業との関係づくり
- ・ 就労体験場所や実習場所等の開拓

2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修 学びの見取り図

	“きちんと” 丁寧な相談支援				“ぴったり” きめの細かい支援			“みんな” チームによる支援		“つながる・つくる” 社会資源の活用と開発		
	アセスメントに基づくプログラムの作成	信頼関係の構築、自尊感情、自己有用感の回復に向けた支援	ストレスに葛さした支援	就業意欲の喚起	本人の状況像に応じた多様なメニューの用意	職場定職支援	居場所づくり	自立相談支援機関との一体的支援	協力関係事業所やハローワーク、地域の企業等との協働	関係機関・者とのネットワークの構築	企業との関係づくり	就労体験場所や実習場所等の開拓
1 日 目	生活困窮者自立支援法と就労準備支援事業の基本的な考え方					○	○	○	○	○	○	○
	これまでの取り組み実績と考え方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自立相談支援機関との連携							○	○	○	○	○
2 日 目	ひきこもりの状態の方のアウトリーチ支援の実際	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	就労体験を中心とした取組	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本人の状態に応じた多様なメニュー開発				○	○	○	○	○	○	○	○
3 日 目	企業開拓について				○	○	○	○	○	○	○	○
	対象者別の特性理解	○	○	○	○	○	○					
	支援関係の構築	○	○	○	○	○	○					
	3日間の振り返りとまとめ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

就労準備支援事業従事者養成研修 研修会の様子



6 家計改善支援事業従事者養成研修

《家計改善支援事業従事者養成研修 プログラムシート》

- 期日：【第1回】6月12日（水）～14日（金） ■受講者数：59名 ■会場：全社協・会議室
 ■期日：【第2回】8月7日（水）～9日（金） ■受講者数：55名 ■会場：全社協・会議室
 ■期日：【第3回】9月25日（水）～27日（金） ■受講者数：55名 ■会場：全社協・会議室
 ■期日：【第4回】11月13日（水）～15日（金） ■受講者数：46名 ■ガーデンシティ東梅田（大阪市内）

【第1日目】【第1回】6月12日（水）【第2回】8月7日（水）【第3回】9月25日【第4回】11月13日（水）

時間	科目	目標	進め方	講義のポイント	講師
12:40～13:20	受付				
13:20～13:40 (20分)	挨拶 オリエンテーション		・全社協挨拶(5分) ・グリーンコープ講師紹介(5分) ・事務連絡(10分)		
13:40～14:10 (30分)	【講義①】 行政説明「家計改善支援事業の動向」	生活困窮者自立支援法の改正と家計改善支援事業の内容について理解する	講義形式	○生活困窮者自立支援制度の創設背景、理念、事業概要等について説明する ○家計改善支援事業の目的と必要性を理解してもらうとともに、支援の内容と流れを説明する ○自立相談支援事業及び就労準備支援事業等と家計改善支援事業との関係性や連携のあり方について事例を交えながら理解を促す ○加えて、家計改善支援員が特に配慮すべき、基本姿勢や倫理等について説明する ○厚生労働省の制度担当者および実施主体である社会福祉協議会の担当者から、制度について説明する。	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 【1・3回目】 相談支援係 主査 高野 仁士 【2・4回目】 生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司 厚生労働省 社会・援護局 保護課 保護事業室 【1・2・3回目】 室長補佐 清水 修 【4回目】 自立支援・就労支援係 泉 雄祐
14:10～14:40 (30分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	生活福祉資金貸付制度について理解する			
14:40～15:30 (50分)	【講義③】 生活保護制度について	生活保護制度について理解する			
15:30～15:45	休憩				
15:45～16:45 (60分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の解決方法の理解	多重・過剰債務問題の理解と、給付、適正化による減免、留保等の利用できる制度や法律など自治体との連携について学ぶ	講義形式	○多重・過剰債務を理解するために、債務整理等の基礎や多重・過剰債務問題の要因を説明する ○活用できる各種の減免、給付制度、生活福祉資金の貸付、その他活用できる制度等について説明する 【備考】 ○事例を交えながら弁護士等へのつなぎ方を示し、具体的にイメージできるようにする	法テラス 鎮木 信行
16:45～16:50 (5分)	振り返り				
16:50～17:40 (50分)	交流会				

※第2日目以降はグリーンコープ生活協同組合連合会が主体となって講義を行う。プログラムの概案は、日程に記載のとおりである。

◆科目：【講義⑤】家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れとポイントを理解する

- ◇日時：【第1回】＜2日目＞ 6/13（木）9：50～12：10（130分+休憩10分）
 【第2回】＜2日目＞ 8/8（木）9：50～12：10（130分+休憩10分）
 【第3回】＜2日目＞ 9/26（木）9：50～12：10（130分+休憩10分）
 【第4回】＜2日目＞ 11/14（木）9：50～12：10（130分+休憩10分）

◇登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
社会福祉法人グリーンコープ 家計改善支援員 藤浦 久美 氏(4回目のみ)

講義 5 140 分 (休憩 10 分)	9:50 ～ 12:10	140 分	講義 5 家計改善支援基本的な考え方と相談流れと ポイントを理解する ・映像視聴とグループワーク ・視聴時間通算 53 分、グループワーク 77 分、休憩 10 分 ・テキスト一部も紹介する。(昨年講義⑤と演習①を一つにまとめた)	行岡氏 藤浦氏
----------------------------	--------------------	-------	---	------------

◆科目：【講義⑥】家計改善支援でうまくいかなかったのはなぜか？

◇日程：【第 1 回】＜2 日目＞ 6/13 (木) 13:10～14:10 (60 分)
【第 2 回】＜2 日目＞ 8/8 (木) 13:10～14:10 (60 分)
【第 3 回】＜2 日目＞ 9/26 (木) 13:10～14:10 (60 分)
【第 4 回】＜2 日目＞ 11/14 (木) 15:45～16:45 (60 分)

◇登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
社会福祉法人グリーンコープ 家計改善支援員 藤浦 久美 氏(1・2・3 回目)
グリーンコープ生活協同組合くまもと 家計改善支援員 中島 明美 氏(4 回目)

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課
とくしま・くらしサポートセンター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏

講義 6 60 分	15:45 ～ 16:45	60 分	講義 6 家計改善支援でうまく行かなかったなぜか？ ・相談留意点や連携のあり方	藤浦氏 中島氏 木村氏 総括：行岡氏
--------------	---------------------	------	--	-----------------------------

◆科目：【講義⑦】相談者に学ぶ家計改善支援のあり方～相談者のエンパワメントを高めるには～

◇日程：【第 1 回】＜2 日目＞ 6/13 (木) 14:20～15:20 (60 分)
【第 2 回】＜2 日目＞ 8/8 (木) 14:20～15:20 (60 分)
【第 3 回】＜2 日目＞ 9/26 (木) 14:20～15:20 (60 分)
【第 4 回】＜2 日目＞ 11/14 (木) 16:55～17:55 (60 分)

◇登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
社会福祉法人グリーンコープ 主任相談支援員 一丸 直子 氏

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 地域福祉課
とくしま・くらしサポートセンター 主任相談支援員 木村 誠一郎 氏

講義 7 60 分	16:55 ～ 17:55	60 分	講義 7 相談者に学ぶ家計改善支援あり方～相談者 エンパワメントを高めるには ・ビデオレター（2人）視聴とグループワーク	一丸氏 木村氏 総括：行岡氏
--------------	---------------------	------	--	----------------------

◆科目：【実習①】家計改善支援の実務

- ◇日程：【第1回】＜2日目＞ 6/13（木）15：35～17：55（130分+10分）
【第2回】＜2日目＞ 8/8（木）15：35～17：55（130分+10分）
【第3回】＜2日目＞ 9/26（木）15：35～17：55（130分+10分）
【第4回】＜2日目＞ 11/14（木）13：10～15：30（130分+10分）

◇登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
グリーンコープ生活協同組合おいた 家計改善支援員 近澤 和子 氏

実習 1 140 分 (休憩 10 分)	13:10 ～ 15:30	140 分	実習 1 家計改善支援 実務 ・家計改善支援実務に必要な帳票（家計表やキャッシュ フロー表など）の役割についての研修 ・手作業で家計表を作成し、家計計画表とライフイベント表 を作成する。	近澤氏 総括：行岡氏
----------------------------	---------------------	-------	---	---------------

◆科目：【実習②】相談時家計表、家計計画表、ライフイベント表、キャッシュフロー表の作成

- ◇日程：【第1回】＜3日目＞ 6/14（金）9：30～12：10（150分+10分）
【第2回】＜3日目＞ 8/9（金）9：30～12：10（150分+10分）
【第3回】＜3日目＞ 9/27（金）9：30～12：10（150分+10分）
【第4回】＜3日目＞ 11/15（金）9：30～12：10（150分+10分）

◇登壇者：社会福祉法人グリーンコープ 北島 千恵 氏
藤浦 久美 氏
グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡 みち子 氏、中島 明美 氏、一丸 直子 氏
丸山 恵子 氏、近澤 和子 氏

実習 2 160 分 (休憩 10 分)	9:30 ～ 12:10	160 分	実習 2 相談時家計表、家計計画表、ライフ イベント表、キャッシュフロー表 作成 ・相談時家計表、家計計画表、ライフイベント表、 キャッシュフロー表を入力する。	北島氏 総括：藤浦氏 ※講師全員 グループ対応
----------------------------	--------------------	-------	---	----------------------------------

◆科目：【実習③】家計再生プランの作成と貸付あっせん書の作成

- ◇日時：第1回 ＜3日目＞ 6/14（金）13：10～14：10（60分）
第2回 ＜3日目＞ 8/9（金）13：10～14：10（60分）

第3回 <3日目> 9/27(金) 13:10~14:10(60分)

第4回 <3日目> 11/15(金) 13:10~14:10(60分)

◇登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会

行岡 みち子 氏(1・2回目)

グリーンコープ生活協同組合くまもと

中島 明美 氏(1・2・3・4回目)

社会福祉法人グリーンコープ

一丸 直子 氏(3・4回目)

実習3 60分	13:10 ~ 14:10	60分	実習3 家計再生プランの作成と貸付あっせん書の作成 ・家計再生プラン 作成、入力 ・貸付あっせん書 説明	中島氏 総括：行岡氏 総括：一丸氏
------------	---------------------	-----	--	-------------------------

◆科目：【実習④】「高齢者向けの家計改善支援ツール」

◇日時：第1回 <3日目> 6/14(金) 14:10~15:00(50分)

第2回 <3日目> 8/9(金) 14:20~15:10(50分)

第3回 <3日目> 9/27(金) 14:25~15:15(50分)

第4回 <3日目> 11/15(金) 14:25~15:15(50分)

◇登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

社会福祉法人グリーンコープ

家計改善支援員 丸山 恵子氏

実習4 50分	14:25 ~ 15:15	50分	実習4 高齢者向け家計改善支援ツール ・高齢者相談時家計表、家計計画表、支払い計画書作成	丸山氏 総括：行岡氏 (講師全員グループ対応)
------------	---------------------	-----	---	-------------------------------

◆科目：全体の質疑・応答

◇日時：第1回 <3日目> 6/14(金) 15:15~16:15(60分)

第2回 <3日目> 8/9(金) 15:25~16:15(50分)

第3回 <3日目> 9/27(金) 15:25~16:15(50分)

第4回 <3日目> 11/15(金) 15:25~16:15(40分)

◇登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

質疑・応答 50分	15:25 ~ 16:15	50分	全体質疑・応答 ・グループで3日間を振り返り、質問事項をまとめる。	総括：行岡氏 講師全員
--------------	---------------------	-----	--------------------------------------	----------------

生活困窮者自立支援制度における家計改善支援員の役割

- 家計に課題のある人に対し、信頼関係を構築しながら、相談者自身が家計の状況を理解し、家計管理に向けて前向きに取り組めるよう支援する。
- 家計に関する専門的知識に基づき、適切な情報を提供したり、家計表やキャッシュフロー表等の帳票を作成する。
- 各種帳票を活用し、家計の課題を明らかにし、支援の方向性を整理する。
- 家計改善支援機関だけでなく、自立相談支援機関や法テラス、多重債務相談窓口、公的給付や減免等の担当部局等と連携する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 対象者の把握
- ・ 信頼関係の構築
- ・ 本人主体による丁寧なアセスメント
- ・ 家計の現状理解に向けた支援
- ・ 家計管理に向けた意欲喚起

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 自立相談支援事業との連携
- ・ 他事業との連携による効果的な支援の推進
- ・ 各種貸付機関との連携
- ・ 法テラスや多重債務相談窓口、消費生活相談窓口など関係機関との連携
- ・ 公的給付窓口(減免等)との連携

“しっかり”

専門的な支援技術の活用

- ・ 一般的な家計の支出額に関する知識の活用
- ・ 家計表やキャッシュフロー表等の作成を通じた家計状況の「見える化」
- ・ 各種帳票の読み解きと課題の整理
- ・ 家計の視点からの情報提供や助言
- ・ 債務整理全般や改正貸金業法、消費者安全法等の基礎的把握と活用

2019年度 家計改善支援事業従事者養成研修 学びの見取り図														
日程	学習の目標	「きんぐ」丁寧な相談支援				「みんな」チームによる支援				「しつかり」専門的な支援技術の活用				債務整理全般や改正貸付法等、消費者支援等の法的活用
		対象者の把握	信頼関係の構築	本人主体による丁寧なアセスメント	家計の現状と課題に合わせた支援	家計管理に向けた意識啓発	自立相談支援事業との連携	他事業との連携による効果的な支援の推進	各種貸付機関との連携	法テラスや多重債務相談窓口、消費生活相談窓口など関係機関との連携	一般的な家計の支出別に分類する知識の活用	家計表やキャッシュフロー表等の作成を通じて家計分析の1層を深める	各種帳票の作成・提出等と関係機関からの情報提供や助言	
1 日目	〈座学〉各種法制度の理解													
		【講義①】 ○行政説明「家計改善支援事業の動向」												
		【講義②】 ○生活福祉資金貸付制度について												
		【講義③】 ○生活保護制度について												
2 日目	〈座学・グループワーク・実習〉相談支援の方法	【講義④】 ○利用できる制度および多重・過剰債務の解決方法の理解												
		【講義⑤】 ○家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れとポイントを理解する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		【実習①】 家計改善支援の実務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		【講義⑥】 家計改善支援でうまくいかなかったのはなぜか？	○	○	○						○			
3 日目	〈実習〉各種帳票の作成	【講義⑦】 相談者に学ぶ家計改善支援のあり方～相談者のエンパワメントを高めるには～	○	○	○	○								
		【実習②】 相談時家計表、家計計画表、ライフイベント表、キャッシュフロー表の作成									○	○	○	○
		【実習③】 家計再生プランの作成と貸付あっせん書の作成								○	○	○	○	○
		【実習④】 高齢者向けの家計改善支援ツール									○	○	○	○
	〈座学〉各種法制度の理解		○	○	○								○	○

家計改善支援事業従事者養成研修 研修会の様子



7 都道府県研修に係る担当者研修

《【前期】都道府県研修に係る担当者研修 プログラムシート》

■期日：5月29日（水） ■受講者数：84名 ■会場：全社協5階 第3-5会議室

■受講対象者：都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者

①都道府県の研修担当者 52名

②研修企画チームメンバー 32名

■会場の着席形式 終日5～6名のグループ形式で進行（地域、所属、性別、研修経験を偏りなく）

■配布資料：生活困窮者自立支援事業における都道府県研修実施のための手引（みずほ情報総研）

■各プログラムの詳細

◆科目：行政説明（研修20分）

◇時間：10:35～10:55

◇登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 包括的支援体制整備推進官 鎗木 奈津子 氏

◆科目：【講義と演習】生活困窮者自立支援における人材養成について（研修30分）

◇時間：10:55～11:25

◇登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

◇進行：

進行時刻	内容
10:55～11:25（30分）	生活困窮者支援における人材養成について（手引き第1章を中心に） 【新保氏】 ※グループの自己紹介等もこの時間に済ませる

◆科目：【講義と演習】都道府県における研修の取り組みについて（研修60分）

◇時間：12:15～13:15

◇登壇者：【コーディネーター】厚生労働省 社会・援護局地域福祉課

生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏

厚生労働省 社会・援護局地域福祉課

生活困窮者自立支援室 就労支援専門官 佐藤 圭司 氏

【コメンテーター】九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

明治学院大学 教授 新保 美香 氏

【事例発表】栃木県 保健福祉部保健福祉課 副主幹 法師人 昇 氏

愛知県 福祉局福祉部地域福祉課 課長補佐 羽生 康一 氏

◇進行：

進行時刻	内容
12:15～12:20 (5分)	実践発表の進め方の説明【平野調査員】
12:20～12:35 (15分)	実践報告①【愛知県・羽生氏】
12:35～12:40 (5分)	愛知県の発表についてバズセッション
12:40～12:45 (5分)	講師からのコメント【加留部氏】と発表者と講師のやりとり
12:45～13:00 (15分)	実践報告②【栃木県・法師人氏】
13:00～13:05 (5分)	栃木県の発表についてバズセッション
13:05～13:10 (5分)	講師からのコメント【新保氏】と発表者と講師のやりとり
13:10～13:15 (5分)	まとめ【佐藤専門官】

◆科目：【講義と演習】効果的な研修の企画・立案（研修 230 分+途中休憩 5 分）

◇時間：13:30～17:20（230 分）

◇登壇者：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
明治学院大学 教授 新保 美香 氏

◇進行：

進行時刻	内容
13:30～15:05 (95分)	人材養成のあり方、やり方、研修の要件（3本柱）、手引き【加留部氏】
15:05～15:15 (10分)	休憩
15:15～16:15 (60分)	事例検討の意義と手法【新保氏】
16:15～16:20 (5分)	休憩
16:20～17:20 (65分)	全体振り返り（ワールドカフェ体験とその解説を兼ねて）

※17:30～18:30 研修企画相談会（任意参加）

◇受講決定通知送付時に、2019 年度の研修体系・スケジュール等があれば持参してもらうよう案内する。

◇「生活困窮者自立相談支援事業における都道府県研修実施のための手引」は人数分コピーして参加者に配布する。（「標準カリキュラム」は何冊かコピーしたものを会場後方に配置し、閲覧していただけるようにする）

◇後期は、企画検討メンバーを連れてきていただくよう呼びかける。

《【後期】都道府県研修に係る担当者研修 プログラムシート》

■期日：1月28日（火） ■受講者数：78名 ■会場：TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター

■受講対象者：都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者

①都道府県の研修担当者 48名

②研修企画チームメンバー 28名

■会場の着席形式 終日5～6名のグループ形式で進行（地域、所属、性別、研修経験を偏りなく）

■各プログラムの詳細

◆科目：行政説明（研修15分）

◇時間：11:15～11:30

◇登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

生活困窮者支援計画官 高石 麗理湖 氏

* 模造紙をホワイトボードに貼り、付箋で質問をとる

◆科目：【講義と演習】今年度実施した研修の振り返り（研修60分）

◇時間：11:30～12:30

◇登壇者：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

* 3本柱に照らし合わせたチェック、事前提出課題から見えた課題の共有

◇進行：

進行時刻	内容
11:30～11:50（20分）	ペアワーク① 事前課題を用いて、取組の共有
11:50～12:10（20分）	ペアワーク② （ペアを変えて）〃
12:10～12:30（20分）	まとめ 5点満点で点数をつけると何点か、理由もあわせてグループ内で共有

◆科目：【講義と演習】都道府県における研修の取り組みについて（研修70分）

◇時間：13:30～14:40

◇登壇者：【コーディネーター】厚生労働省 社会・援護局地域福祉課

生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏

就労支援専門官 佐藤 圭司 氏

【コメンテーター】九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

【事例発表】神奈川県福祉子どもみらい局福祉部生活援護課

主事 久保田 俊也 氏

山口県健康福祉部厚政課 保護医療班

主任主事 村田 一紘 氏

◇進行：

進行時刻	内容
13:30～13:35 (5分)	<u>実践発表の進め方の説明</u> 【平野調査員】
13:35～13:50 (15分)	<u>実践報告①</u> 【神奈川県・久保田氏】
13:50～13:55 (5分)	神奈川県の発表についてバズセッション
13:55～14:05 (10分)	講師からのコメント【加留部先生】
14:05～14:20 (15分)	<u>実践報告②</u> 【山口県・村田氏】
14:20～14:25 (5分)	山口県の発表についてバズセッション
14:25～14:35 (10分)	講師からのコメント【加留部氏】
14:35～14:40 (5分)	<u>まとめ</u> 【佐藤専門官】

【休憩】14：40～14：55（15分）

* 休憩終盤、講義中の質問への回答（厚生労働省より）

◆科目：【講義と演習】効果的な研修の企画・立案（研修115分+途中休憩10分）

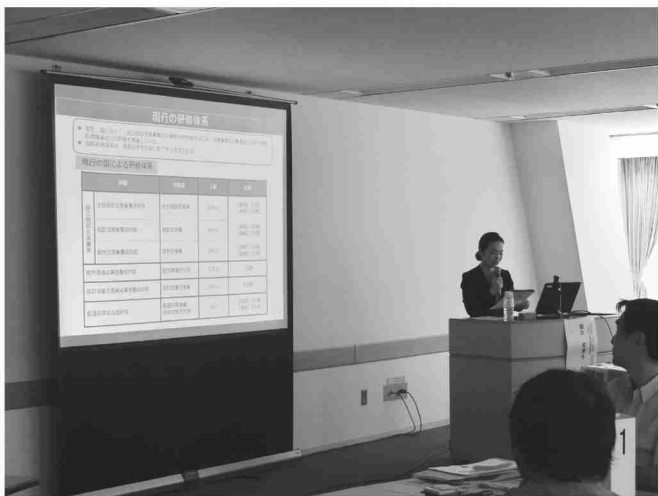
◆時間：14：55～16:50

◆登壇者：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

* A3 ワークシート使用

進行時刻	内容
14:55～15:05 (10分)	導入（ワークシートの使い方）
15:05～16:15 (70分)	全体振り返り（ワークシートを活用） 個人ワーク：20分 ペアワーク：15分×2 * 異なるグループの人とペアを組む
16:15～16:25 (10分)	休憩（質問があれば、付箋に記入し前方へ提出）
16:25～16:50 (25分)	お悩み相談・質疑応答【厚生労働省・加留部先生】

都道府県研修に係る担当者研修 研修会の様子



第4章 受講者からの評価

受講者研修事後アンケートの定量評価（5点満点）を示す。

1 【前期】共通カリキュラム

	所属先								地域の規模						経験年数										
	① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 3 0 万 人	④ 5 0 万 人	⑤ 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① な し	② 3 ケ 月	③ 6 ケ 月	④ 1 年	⑤ 3 年	⑥ 5 年	⑦ 1 0 年	⑧ 2 0 年	⑨ 2 0 年 以 上	
【第1回】 前期	全体値 平均																								
	当該人数	270	9	79	109	17	14	6	6	58	67	70	37	12	14	10	60	29	12	49	39	38	21	1	
	講義① 野崎氏	3.96	4.33	4.11	3.95	4.06	3.93	4.00	3.78	4.00	3.17	4.09	4.12	3.87	3.89	3.75	4.00	3.70	3.86	4.25	4.13	4.10	4.06	4.10	4.00
	講義② 平野氏・生水氏	4.55	4.56	4.68	4.50	4.47	4.43	4.50	4.28	5.00	4.50	4.57	4.60	4.59	4.32	4.58	4.43	4.50	4.38	4.67	4.59	4.62	4.66	4.33	5.00
	講義と演習③ 新保氏・加留部氏	4.47	4.56	4.64	4.46	4.29	4.71	4.00	4.33	4.50	4.56	4.61	4.32	4.00	4.36	4.30	4.44	4.62	4.92	4.45	4.44	4.68	4.19	5.00	
	講義と演習④ 原田氏	4.43	4.56	4.56	4.51	4.53	4.21	4.50	4.17	4.50	4.36	4.52	4.46	4.33	4.14	4.20	4.45	4.59	4.58	4.48	4.69	4.38	4.19	5.00	
	講義と演習⑤ 新保氏	4.35	4.33	4.51	4.40	4.47	4.64	4.33	4.17	4.00	3.83	4.47	4.40	4.28	4.21	4.10	4.33	4.52	4.33	4.47	4.50	4.47	4.24	5.00	
	講義と演習⑥ 和田氏	4.29	4.14	4.49	4.38	4.18	4.23	4.50	4.13	4.00	3.50	4.43	4.35	4.20	4.17	4.29	4.10	4.25	4.18	4.64	4.52	4.41	3.95	5.00	
	講義と演習⑦ 八木氏	4.53	4.71	4.62	4.45	4.44	4.38	4.80	5.00	4.17	4.64	4.52	4.53	4.20	4.33	4.62	4.40	4.43	4.48	4.58	4.59	4.71	4.49	4.29	5.00
	講義と演習⑧ 朝比奈氏	4.40	4.14	4.50	4.34	4.38	4.45	4.40	5.00	3.83	4.35	4.33	4.55	4.29	4.25	4.31	4.40	4.38	4.27	4.50	4.35	4.46	4.40	4.35	5.00
	全般の感想⑨	4.48	4.14	4.66	4.62	4.27	4.69	4.40	4.20	4.58	4.62	4.69	4.43	4.45	4.08	4.25	4.42	4.50	4.64	4.74	4.61	4.66	4.47	5.00	

	所属先									地域の規模						経験年数										
	① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 3 0 万 人	④ 5 0 万 人	⑤ 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① な し	② 3 ヶ 月	③ 6 ヶ 月	④ 1 年	⑤ 3 年	⑥ 5 年	⑦ 1 0 年	⑧ 2 0 年	⑨ 2 0 年 以 上		
【第2回】 前期	全体値 平均																									
	当該人数	176	3	49	86	10	7	3	7	6	2	37	44	53	21	11	0	7	36	38	15	34	13	14	6	2
	講義① 高石氏	3.51	3.00	3.43	3.60	3.60	3.71	4.00	3.50	4.00	3.69	3.64	3.43	3.52	3.55	—	3.29	3.69	3.53	3.80	3.62	3.31	3.36	4.00	2.50	
	講義② 佐藤氏・生永氏・宇都宮氏	4.51	4.00	4.57	4.62	4.40	4.43	5.00	4.50	4.46	4.56	4.68	4.57	4.64	—	4.43	4.47	4.66	4.60	4.59	4.77	4.57	4.50	4.00		
	講義と演習③ 新保氏・加留部氏	4.62	4.00	4.57	4.59	4.78	4.71	5.00	4.67	5.00	4.64	4.60	4.66	4.45	4.45	—	4.43	4.60	4.51	4.87	4.69	4.38	4.43	5.00	5.00	
	講義と演習④ 和田氏	4.45	4.00	4.36	4.56	4.30	4.43	4.67	4.50	4.50	4.50	4.49	4.47	4.63	4.00	—	4.29	4.38	4.49	4.87	4.31	4.31	4.58	4.83	5.00	
	講義と演習⑤ 原田氏	4.30	4.33	4.41	4.42	4.22	4.14	5.00	4.67	3.50	4.44	4.37	4.40	4.30	4.30	—	4.33	4.44	4.47	4.73	4.45	4.08	3.92	4.17	4.00	
	講義と演習⑥ 朝比奈氏	4.47	4.33	4.41	4.41	4.70	4.29	5.00	5.00	4.50	4.44	4.46	4.48	4.35	4.10	—	4.57	4.37	4.56	4.29	4.47	4.54	4.36	4.20	5.00	
	講義と演習⑦ 八木氏	4.36	3.67	4.42	4.47	4.30	4.71	5.00	4.60	4.50	4.47	4.33	4.53	4.30	4.50	—	4.29	4.36	4.55	4.64	4.48	4.31	4.23	4.50	3.50	
	講義と演習⑧ 新保氏	4.66	5.00	4.73	4.61	4.50	4.86	5.00	4.60	4.50	4.45	4.74	4.75	4.71	4.40	—	4.86	4.59	4.74	4.79	4.56	4.62	4.46	4.83	4.50	
	全般的感想⑨	4.45	4.00	4.56	4.54	4.30	4.60	5.00	4.67	4.00	4.45	4.57	4.57	4.42	4.60	—	4.43	4.48	4.63	4.70	4.55	4.36	4.50	4.17	4.50	

	所属先									地域の規模						経験年数										
	① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ N P O 法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5 万人未満	② 1 0 万人	③ 3 0 万人	④ 5 0 万人	⑤ 1 0 0 万人	⑥ 1 0 0 万人以上	① なし	② 3 ヶ月	③ 6 ヶ月	④ 1 年	⑤ 3 年	⑥ 5 年	⑦ 1 0 年	⑧ 2 0 年	⑨ 2 0 年以上		
	全体値 平均																									
【第3回】 前期	当該人数	193	5	53	78	9	7	5	18	5	6	46	42	49	21	16	10	8	8	54	17	36	19	25	16	1
	講義① 古田氏	3.98	3.80	3.98	3.95	4.13	4.43	4.00	4.06	4.20	3.50	3.98	3.98	3.96	4.00	4.06	4.00	3.38	4.13	4.02	3.88	4.03	4.17	3.88	4.00	4.00
	講義② 高石氏・生永氏・宇都宮氏	4.38	4.60	4.35	4.34	4.67	4.43	4.40	4.12	4.80	4.00	4.52	4.32	4.24	4.25	4.47	4.30	4.38	4.13	4.45	4.41	4.46	4.32	4.21	3.94	5.00
	講義と演習③ 新保氏・加留部氏	4.48	4.60	4.47	4.60	4.22	4.57	4.20	4.44	4.80	4.50	4.52	4.74	4.35	4.48	4.69	4.30	4.38	4.63	4.59	4.59	4.47	4.63	4.24	4.63	4.00
	講義と演習④ 和田氏	4.44	4.80	4.47	4.47	4.22	4.57	4.20	4.25	4.40	4.33	4.43	4.54	4.39	4.33	4.53	4.10	4.50	4.50	4.45	4.56	4.37	4.56	4.38	4.13	5.00
	講義と演習⑤ 新保氏	4.66	4.80	4.67	4.65	4.33	4.86	5.00	4.53	4.40	4.50	4.68	4.67	4.66	4.30	4.81	4.50	4.71	4.83	4.60	4.75	4.50	4.63	4.64	4.81	5.00
	講義と演習⑥ 朝比奈氏	4.37	4.67	4.12	4.31	4.56	4.50	4.40	4.24	4.40	4.75	4.48	4.26	4.24	4.20	4.31	4.10	3.86	4.50	4.37	4.19	4.12	4.47	4.36	4.38	5.00
	講義と演習⑦ 八木氏	4.44	4.75	4.45	4.47	4.50	4.57	4.50	4.24	4.40	4.33	4.41	4.54	4.39	4.53	4.63	4.10	4.43	4.63	4.44	4.63	4.51	4.41	4.43	4.21	4.00
	講義と演習⑧ 原田氏	4.42	4.60	4.42	4.46	4.33	4.75	4.50	4.19	4.60	4.40	4.44	4.41	4.39	4.53	4.40	4.40	4.38	4.50	4.51	4.33	4.48	4.44	4.39	4.15	4.00
	全般の感想⑨	4.45	4.67	4.49	4.54	4.22	4.43	4.60	4.44	4.44	4.33	4.59	4.61	4.35	4.32	4.64	4.40	4.33	4.57	4.53	4.53	4.50	4.50	4.33	4.38	4.00

	所属先								地域の規模								経験年数							
	① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 10万人	③ 30万人	④ 50万人	⑤ 100万人	⑥ 100万人以上	① なし	② 3ヶ月	③ 6ヶ月	④ 1年	⑤ 3年	⑥ 5年	⑦ 10年	⑧ 20年	⑨ 20年以上
全体値 平均																								
当該人数	3	51	87	11	9	5	13	2	4	48	53	40	20	12	9	2	10	33	5	27	33	45	27	0
講義① 新保氏	4.33	4.18	4.31	4.40	4.44	3.80	4.23	4.00	3.33	4.33	4.15	4.21	4.45	4.25	4.00	3.50	3.89	4.09	4.20	4.42	4.34	4.26	4.36	—
講義と演習② 加留部氏	5.00	4.75	4.71	4.80	4.56	4.80	4.54	5.00	4.50	4.76	4.65	4.75	4.75	4.50	4.67	4.00	4.60	4.73	5.00	4.80	4.79	4.63	4.63	—
講義③ 和田氏	3.33	3.48	3.53	3.60	3.38	2.60	4.18	5.00	3.25	3.67	3.60	3.32	3.53	3.50	3.44	3.00	3.80	3.31	3.40	3.25	3.84	3.55	3.62	—
講義と演習④ 新保氏・上原氏・朝比奈氏	4.67	4.51	4.57	4.30	4.78	4.50	4.62	4.00	4.25	4.65	4.45	4.54	4.60	4.50	4.56	4.00	4.50	4.60	4.80	4.64	4.58	4.40	4.54	—
講義と演習⑤ 朝比奈氏・大戸氏	5.00	4.35	4.52	4.70	4.56	4.50	4.46	4.00	3.67	4.55	4.29	4.58	4.55	4.25	4.50	4.00	4.50	4.50	5.00	4.50	4.48	4.36	4.46	—
任意参加 (テーマ別交流会)	—	4.33	4.35	5.00	4.33	—	4.43	5.00	4.00	4.00	4.13	4.60	4.67	4.75	4.67	—	3.00	4.43	5.00	4.33	4.22	4.50	4.80	—
講義と演習⑥ 原田氏・勝部氏	5.00	4.31	4.37	4.20	4.44	3.60	4.23	4.00	4.00	4.36	4.18	4.43	4.50	4.25	4.11	4.00	4.40	4.30	4.50	4.46	4.19	4.21	4.50	—
講義と演習⑦ 原田氏・勝部氏	4.67	4.33	4.28	4.60	4.33	3.40	4.23	3.00	4.25	4.39	4.04	4.44	4.35	4.09	4.44	4.00	4.30	4.47	4.50	4.31	4.13	4.19	4.42	—
講義と演習⑧ 原田氏	5.00	4.44	4.52	4.56	4.44	3.75	4.50	4.00	5.00	4.49	4.21	4.67	4.67	4.36	4.75	4.00	4.40	4.56	4.00	4.55	4.44	4.39	4.64	—
研修全般	4.67	4.40	4.54	4.56	4.29	3.80	4.60	4.00	4.00	4.54	4.44	4.56	4.29	4.30	4.14	4.00	4.33	4.47	4.67	4.56	4.41	4.30	4.67	—

【後期】
主任

	全体値 平均	所属先								地域の規模						経験年数									
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 3 0 万 人	④ 5 0 万 人	⑤ 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① な し	② 3 ヶ 月	③ 6 ヶ 月	④ 1 年	⑤ 3 年	⑥ 5 年	⑦ 1 0 年	⑧ 2 0 年	⑨ 2 0 年 以 上
【後期】 相 談 第 1 回	当該人数	6	46	83	9	13	7	13	3	6	36	48	46	25	14	13	4	2	45	33	49	24	16	8	1
	テーマ別講義① 遠山氏	4.33	4.02	3.84	3.78	3.92	4.43	3.77	4.33	3.83	3.91	3.96	3.91	3.67	4.15	4.23	3.50	3.00	3.91	3.97	4.00	3.92	3.94	4.25	3.00
	テーマ別講義② 林氏	4.80	4.72	4.68	4.44	4.46	4.71	4.46	5.00	4.17	4.58	4.76	4.61	4.38	4.79	4.67	4.75	5.00	4.59	4.72	4.62	4.52	4.75	4.50	4.00
	講義と演習① 空閑氏	4.69	4.67	4.78	4.65	4.56	4.92	5.00	4.46	5.00	4.67	4.59	4.72	4.58	4.57	4.85	4.50	4.00	4.73	4.70	4.73	4.67	4.81	4.50	5.00
	講義と演習② 空閑氏・朝比奈氏・上原氏	4.50	5.00	4.72	4.42	4.44	4.69	5.00	4.08	4.67	4.17	4.48	4.63	4.67	4.24	4.54	4.50	4.50	4.50	4.55	4.66	4.50	4.44	4.25	4.00
	講義と演習③ 空閑氏・朝比奈氏・上原氏	4.55	5.00	4.73	4.58	4.33	4.77	5.00	4.23	4.67	4.00	4.44	4.67	4.78	4.50	4.62	4.50	4.50	4.56	4.66	4.72	4.58	4.63	4.25	4.00
	講義と演習④ セツシヨ/3 空閑氏・朝比奈氏・上原氏	4.54	5.00	4.77	4.53	4.22	4.82	4.86	4.25	4.67	4.17	4.53	4.69	4.63	4.30	4.55	4.69	4.00	4.46	4.76	4.70	4.52	4.67	4.14	5.00
	講義と演習④ セツシヨ/4 空閑氏・朝比奈氏・上原氏	4.58	5.00	4.77	4.61	4.22	4.75	4.86	4.15	5.00	4.40	4.76	4.74	4.58	4.33	4.38	4.82	4.25	4.50	4.70	4.80	4.48	4.79	4.13	4.00
	研修全般	4.60	4.83	4.80	4.62	4.29	4.85	4.80	4.27	5.00	4.50	4.68	4.70	4.74	4.61	4.36	4.64	4.33	4.50	4.66	4.61	4.74	4.64	4.73	4.50

	所属先								地域の規模						経験年数								
	① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 510万人	③ 530万人	④ 550万人	⑤ 600万人以上	① なし	② 3ヶ月	③ 6ヶ月	④ 1年	⑤ 3年	⑥ 5年	⑦ 10年	⑧ 20年	⑨ 20年以上
全体値 平均	153	49	72	6	7	1	3	3	2	43	34	42	18	4	5	16	58	43	18	5	4	2	0
	当該人数																						
	テーマ別講義① 遠山氏	3.85	3.72	3.50	4.00	4.00	4.33	3.33	4.00	3.64	3.82	3.78	3.94	3.50	3.80	4.00	3.84	3.60	3.67	3.80	3.75	4.00	—
	テーマ別講義② 石崎氏	3.75	4.45	4.51	4.17	4.71	5.00	5.00	4.50	4.30	4.65	4.60	4.53	4.00	4.50	4.50	4.34	4.76	4.39	4.40	4.00	5.00	—
	講義と演習① 空閑氏	4.50	4.68	4.63	4.50	4.71	5.00	5.00	4.50	4.69	4.70	4.69	4.65	4.75	4.60	4.81	4.70	4.64	4.47	4.60	4.25	5.00	—
	講義と演習② 空閑氏、朝比奈氏、上原氏	3.75	4.53	4.52	4.50	4.29	4.00	4.67	3.50	4.60	4.50	4.41	4.56	4.25	3.80	4.69	4.45	4.40	4.50	4.20	4.50	4.50	—
	講義と演習③ 空閑氏、朝比奈氏、上原氏	3.67	4.45	4.65	4.33	4.43	4.33	5.00	3.50	4.59	4.70	4.38	4.67	4.50	4.20	4.69	4.52	4.51	4.47	4.20	4.50	5.00	—
	講義と演習④ セツンヨウ3 空閑氏、朝比奈氏、上原氏	3.75	4.56	4.60	4.50	4.57	4.67	5.00	4.00	4.57	4.61	4.51	4.56	4.50	4.60	4.63	4.55	4.52	4.56	4.20	4.50	5.00	—
	講義と演習④ セツンヨウ4 空閑氏、朝比奈氏、上原氏	4.66	4.61	4.68	4.67	4.57	4.67	5.00	4.50	4.62	4.71	4.61	4.69	4.75	4.60	4.73	4.70	4.63	4.56	4.00	4.50	5.00	—
	研修全般	4.69	4.71	4.66	4.60	4.57	5.00	5.00	4.50	4.73	4.62	4.60	4.76	4.67	4.75	4.87	4.69	4.66	4.43	4.60	4.50	5.00	—

【後期】
相談
第2回

	所属先								地域の規模						経験年数									
	① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 10万人	③ 30万人	④ 50万人	⑤ 100万人	⑥ 100万人以上	① なし	② 3ヶ月	③ 6ヶ月	④ 1年	⑤ 3年	⑥ 5年	⑦ 10年	⑧ 20年	⑨ 20年以上
	7	44	72	13	11	3	13	5	0	43	45	44	18	8	8	1	12	43	50	27	20	11	1	0
【後期】 就労	全体値 平均	178																						
	当該人数																							
	講義と演習① 新保氏	4.21	4.57	4.26	4.28	4.62	4.27	5.00	3.58	4.40	—	4.45	4.06	4.14	4.25	3.00	3.92	4.30	4.30	4.56	4.25	3.91	4.00	—
	行政説明 渡邊氏	3.35	3.67	3.26	3.39	3.83	4.18	3.33	2.62	3.60	—	3.43	3.35	3.43	3.38	2.00	3.67	3.34	3.25	3.63	3.47	3.09	3.00	—
	講義と演習② 谷口氏	4.73	5.00	4.68	4.60	4.83	4.90	5.00	4.62	5.00	—	4.71	4.65	4.71	4.75	4.00	4.75	4.64	4.62	4.68	4.79	4.82	5.00	—
	講義と演習③ 新保氏・榎部氏・西岡氏	4.21	4.43	4.19	4.25	4.69	4.30	4.67	3.31	4.20	—	4.33	4.17	3.71	4.13	4.00	4.00	4.19	4.21	4.38	4.40	3.64	5.00	—
	講義と演習④ 名嘉氏	4.22	4.17	4.26	4.25	4.62	4.67	4.67	3.69	4.50	—	4.48	4.12	3.71	4.38	3.00	4.45	4.19	4.22	4.50	4.30	4.18	4.00	—
	講義⑤ 立岡氏	3.78	3.86	4.09	4.15	4.17	4.10	3.33	3.33	3.00	—	4.32	3.65	3.43	3.75	3.00	4.17	4.15	3.77	4.19	3.79	3.91	3.00	—
	講義と演習⑥ 渡邊氏	4.48	5.00	4.53	4.51	4.85	4.60	4.67	4.08	4.80	—	4.68	4.28	4.71	3.88	3.00	4.50	4.45	4.60	4.58	4.75	4.00	5.00	—
	講義⑦ 野々村氏	4.53	4.57	4.44	4.57	4.62	4.70	4.67	4.33	5.00	—	4.67	4.06	4.86	4.63	3.00	4.60	4.49	4.56	4.63	4.45	4.64	5.00	—
	講義と演習⑧ 池田氏	3.94	4.20	4.00	4.00	4.45	3.88	4.33	3.27	4.50	—	4.13	3.65	3.86	3.86	4.00	3.43	3.88	3.98	4.24	4.22	3.73	3.00	—
	講義と演習⑨ 新保氏・加留部氏	4.61	4.80	4.58	4.61	4.83	4.70	5.00	4.25	4.60	—	4.68	4.44	4.29	4.88	5.00	4.50	4.55	4.53	4.80	4.72	4.45	4.00	—
	研修全般	4.37	4.50	4.46	4.34	4.82	4.55	4.50	3.77	4.80	—	4.45	4.00	4.43	4.33	4.00	4.50	4.37	4.36	4.38	4.67	4.00	4.00	—

	全体値 平均	所属先								地域の規模						経験年数											
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 10万人	③ 30万人	④ 50万人	⑤ 100万人	⑥ 100万人以上	① なし	② 1～3ヶ月	③ 3～6ヶ月	④ 1年	⑤ 3年	⑥ 5年	⑦ 10年	⑧ 20年	⑨ 20年以上		
就労準備	当該人数	139	3	19	42	14	9	17	20	5	9	30	32	35	14	19	7	8	11	54	24	22	15	2	0	0	
	講義① 渡邊氏	3.77	3.00	3.83	3.76	3.93	4.11	3.76	3.68	4.00	3.89	3.77	3.77	3.80	3.57	3.83	4.14	3.38	3.82	3.81	3.82	3.73	4.00	3.50	—	—	
	講義② 榎部氏	4.39	4.33	4.33	4.27	4.21	4.78	4.53	4.44	4.60	4.67	4.27	4.38	4.52	4.36	4.44	4.43	3.88	4.00	4.44	4.45	4.62	4.60	4.00	—	—	
	事例発表③ 佐藤氏・名嘉氏・八木氏	4.53	3.67	4.53	4.50	4.36	4.78	4.71	4.68	4.80	4.56	4.37	4.57	4.62	4.36	4.68	4.86	4.25	4.55	4.51	4.67	4.71	4.53	4.50	—	—	
	講義と演習④ 谷口氏	4.75	4.33	4.67	4.62	4.64	5.00	4.88	4.95	5.00	4.78	4.63	4.74	4.80	4.50	4.89	5.00	4.88	4.73	4.76	4.71	4.76	4.73	4.50	—	—	
	事例発表⑤ 高橋氏	4.24	4.00	4.33	4.10	4.14	4.56	4.59	4.25	4.25	4.00	4.07	4.10	4.47	4.21	4.16	4.57	3.75	3.91	4.25	4.17	4.52	4.40	4.50	—	—	
	講義と演習⑥ 岡野氏	4.56	4.67	4.67	4.33	4.71	4.88	4.44	4.60	5.00	4.63	4.39	4.65	4.48	4.50	4.65	4.83	4.00	4.60	4.61	4.57	4.62	4.57	4.00	—	—	
	講義と演習⑦ 渡邊氏	3.92	3.33	4.00	3.88	4.07	3.67	3.94	4.30	4.30	4.11	3.89	3.94	4.21	3.71	4.00	4.14	3.75	3.73	4.13	4.17	3.86	4.00	2.50	—	—	
	講義⑧ 加藤氏	4.62	4.67	4.83	4.50	4.43	4.78	4.65	4.75	4.75	4.78	4.55	4.61	4.79	4.50	4.63	4.71	4.57	4.50	4.61	4.83	4.81	4.60	3.50	—	—	
	講義と演習⑨ 新保氏	4.63	4.67	4.82	4.39	4.50	4.89	4.63	4.75	4.75	4.80	4.56	4.52	4.65	4.57	4.53	4.86	4.43	4.55	4.60	4.54	4.81	4.60	4.50	—	—	
	講義と演習⑩ 新保氏	4.84	5.00	4.82	4.69	4.57	4.86	4.94	4.95	4.95	5.00	4.89	4.77	4.83	4.76	4.79	4.88	5.00	4.60	4.64	4.76	4.87	4.90	4.92	5.00	—	—
	研修全般	4.60	3.67	4.81	4.49	4.50	4.78	4.71	4.63	5.00	5.00	5.00	4.42	4.68	4.69	4.57	4.68	4.86	4.50	4.55	4.63	4.76	4.68	4.60	4.00	—	—

就労準備

	全体値 平均	所属先									地域の規模						経験年数								
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	③ 10万人	④ 30万人	⑤ 50万人	⑥ 100万人以上	① なし	③ 3ヶ月	④ 6ヶ月	⑤ 1年	⑥ 3年	⑦ 5年	⑧ 10年	⑨ 30年以上		
【第1回】 家計	当該人数	60																							
	講義① 高野氏	4.20	-	4.25	3.88	4.75	4.50	-	4.67	4.00	5.00	3.82	4.21	4.07	4.33	4.20	4.00	4.00	4.07	5.00	4.00	3.00	-	-	
	講義② 伊藤氏	4.28	-	4.50	4.09	4.50	4.50	-	4.33	4.50	5.00	4.09	4.07	4.20	4.67	4.40	4.33	3.90	4.26	4.00	4.36	3.00	-	-	
	講義③ 清水氏	4.27	-	4.00	4.20	4.33	4.50	-	4.33	4.17	5.00	4.25	4.07	4.21	4.50	4.20	4.00	4.10	4.26	4.00	4.09	5.00	-	-	
	講義④ 鏡木氏	4.85	-	4.75	4.77	5.00	4.50	-	5.00	4.83	5.00	4.67	4.71	4.71	5.00	4.80	5.00	4.80	4.70	5.00	4.82	5.00	-	-	
	講義⑤ 行岡氏	4.58	-	4.75	4.44	4.75	4.33	-	5.00	4.33	5.00	4.42	4.62	4.44	4.83	4.60	4.67	4.44	4.48	4.00	4.33	4.64	5.00	-	
	講義⑥ 行岡氏・藤浦氏・木村氏	4.66	-	4.75	4.32	5.00	4.33	-	5.00	4.67	5.00	4.00	4.64	4.53	4.83	4.80	4.67	4.40	4.48	5.00	4.67	4.40	5.00	-	
	講義⑦ 行岡氏・丸氏・木村氏	4.53	-	4.50	4.37	4.75	4.33	-	5.00	4.50	5.00	4.17	4.64	4.50	5.00	4.40	4.33	4.40	4.55	4.00	4.33	4.27	5.00	-	
	実習① 行岡氏・近澤氏	4.71	-	4.75	4.62	5.00	4.33	-	5.00	4.33	5.00	4.55	4.71	4.56	4.67	4.80	5.00	4.40	4.68	5.00	4.33	4.73	5.00	-	
	実習② グリーンコープ講師	4.76	-	5.00	4.62	5.00	4.33	-	5.00	4.33	5.00	4.75	4.85	4.25	4.83	4.80	4.67	4.56	4.69	5.00	5.00	4.82	5.00	-	
	実習③ 行岡氏・中島氏	4.41	-	4.50	4.31	4.75	4.00	-	5.00	4.50	5.00	4.00	4.57	4.47	4.83	4.20	4.33	4.20	4.50	4.00	5.00	4.55	3.00	-	
	実習④ グリーンコープ講師	4.71	-	4.75	4.57	5.00	4.00	-	5.00	4.67	5.00	4.50	4.64	4.60	4.83	4.60	4.67	4.40	4.61	5.00	5.00	4.73	5.00	-	
	全般	4.76	-	5.00	4.66	4.50	4.33	-	5.00	4.80	5.00	4.58	4.79	4.53	5.00	4.40	5.00	4.40	4.68	5.00	5.00	4.82	5.00	-	-

	全体値 平均	所屬先									地域の規模						経験年数								
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ N P O 法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5 万人未満	② 1 0 万人	③ 3 0 万人	④ 5 0 万人	⑤ 1 0 0 万人	⑥ 1 0 0 万人以上	① なし	② 3 ヶ月	③ 6 ヶ月	④ 1 年	⑤ 3 年	⑥ 5 年	⑦ 1 0 年	⑧ 2 0 年	⑨ 2 0 年以上
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ N P O 法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5 万人未満	② 1 0 万人	③ 3 0 万人	④ 5 0 万人	⑤ 1 0 0 万人	⑥ 1 0 0 万人以上	① なし	② 3 ヶ月	③ 6 ヶ月	④ 1 年	⑤ 3 年	⑥ 5 年	⑦ 1 0 年	⑧ 2 0 年	⑨ 2 0 年以上
【第2回】 家計	当該人数	58																							
	講義① 高石氏	3.70	3.25	3.89	3.50	4.00	5.00	3.67	3.33	4.00	3.44	3.90	4.00	3.00	4.20	3.25	3.67	4.25	3.50	3.63	4.50	3.67	2.00	3.74	—
	講義② 伊藤氏	3.93	4.00	4.37	3.50	4.00	5.00	3.33	3.83	4.00	3.89	4.80	4.25	3.60	4.20	3.25	4.22	4.25	4.30	3.75	4.38	3.50	2.00	4.11	—
	講義③ 清水氏	4.01	4.00	4.27	3.50	4.00	4.00	4.00	4.17	4.50	4.00	4.60	4.20	3.60	4.00	3.75	4.33	4.25	4.16	3.88	4.38	3.50	3.00	4.11	—
	講義④ 錦木氏	4.46	4.63	4.85	3.50	4.25	5.00	4.00	5.00	4.50	4.67	4.90	4.85	4.40	4.50	4.00	4.67	4.25	4.79	4.75	5.00	4.00	3.00	4.66	—
	講義⑤ 行岡氏	4.53	4.11	4.59	5.00	4.00	5.00	4.67	4.83	4.50	4.11	4.70	4.79	3.60	5.00	4.25	4.44	4.75	4.55	4.50	4.88	3.75	5.00	4.54	—
	講義⑥ 行岡氏・藤浦氏・木村氏	4.52	4.11	4.70	5.00	4.00	4.00	4.67	4.83	4.50	4.22	4.80	4.63	4.20	5.00	4.25	4.33	4.75	4.75	4.63	4.75	3.75	5.00	4.59	—
	講義⑦ 行岡氏・丸氏・木村氏	4.55	4.25	4.62	5.00	4.00	4.00	5.00	4.83	4.50	4.22	4.50	4.72	4.25	5.00	4.50	4.33	4.50	4.68	4.63	4.88	4.00	5.00	4.58	—
	実習① 行岡氏・近澤氏	4.48	4.25	4.41	5.00	4.00	5.00	4.67	4.83	4.00	4.11	4.50	4.58	4.00	5.00	4.25	4.22	4.25	4.55	4.50	4.63	4.25	5.00	4.46	—
	実習② グリーンコープ講師	4.37	4.56	4.63	5.00	4.33	5.00	3.67	5.00	3.50	4.11	4.70	4.89	4.20	5.00	4.50	4.56	4.75	4.65	4.75	4.75	4.00	1.00	4.57	—
	実習③ 行岡氏・中島氏	4.39	4.33	4.52	5.00	4.00	5.00	4.33	4.80	4.00	4.00	4.50	4.79	4.00	5.00	4.50	4.44	4.75	4.60	4.63	4.63	3.33	3.00	4.49	—
	実習④ グリーンコープ講師	4.63	4.56	4.67	5.00	4.00	5.00	4.67	5.00	4.00	4.22	4.70	4.84	4.00	5.00	4.75	4.67	4.75	4.65	4.63	4.75	4.33	5.00	4.66	—
	研修全段	4.65	4.89	4.70	4.50	4.33	5.00	4.33	5.00	4.50	4.22	4.80	4.95	4.40	5.00	4.67	4.67	4.75	4.70	4.71	5.00	4.50	4.00	4.72	—

	全体値 平均	所 属 先									地 域 の 規 模						経 験 年 数									
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 1 3 0 万 人	④ 1 5 0 万 人	⑤ 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① な し	② 1 3 ケ 月	③ 1 6 ケ 月	④ 1 年	⑤ 3 年	⑥ 5 年	⑦ 1 0 年	⑧ 2 0 年	⑨ 2 0 年 以 上	
		1	10	28	2	3	2	5	2	3	12	11	15	9	2	5	10	5	17	5	16	1	1	1	0	0
【第3回】 家計	当該人数	57																								
	講義① 高野氏	3.94	5.00	4.10	4.04	3.50	4.67	3.50	4.50	4.00	4.17	3.73	4.38	3.89	3.00	3.60	3.90	3.80	3.94	3.75	4.25	4.00	—	—	—	—
	講義② 伊藤氏	4.01	5.00	4.00	3.96	3.50	4.67	4.00	4.50	4.33	4.08	3.55	4.21	3.78	4.00	4.00	4.00	4.20	4.00	3.80	3.88	4.00	—	—	—	—
	講義③ 清水氏	3.96	4.00	3.90	3.78	4.00	4.33	4.50	4.50	4.67	4.00	3.45	3.93	3.88	4.00	4.00	4.20	4.00	3.65	3.75	3.88	4.00	—	—	—	—
	講義④ 鏡木氏	4.90	5.00	4.60	4.57	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	4.75	4.36	4.67	4.75	5.00	4.00	9.60	4.60	4.82	4.25	4.38	5.00	5.00	—	—	—
	講義⑤ 行岡氏	4.49	5.00	4.40	4.43	4.00	4.00	5.00	5.00	5.00	4.75	4.27	4.33	4.44	5.00	4.40	4.80	4.60	4.41	4.20	4.44	4.00	4.00	—	—	—
	講義⑥ 行岡氏・藤浦氏・木村氏	4.36	4.00	4.50	4.32	4.00	3.67	5.00	5.00	5.00	4.33	4.27	4.33	4.56	5.00	4.40	4.60	4.60	4.29	4.20	4.50	4.00	3.00	—	—	—
	講義⑦ 行岡氏・一丸氏・木村氏	4.51	4.00	4.67	4.50	4.00	4.00	4.50	5.00	5.00	4.42	4.56	4.57	4.67	5.00	4.40	4.70	4.60	4.41	4.50	4.71	4.00	4.00	—	—	—
	実習① 行岡氏・近澤氏	4.63	5.00	4.60	4.56	4.00	4.67	5.00	5.00	5.00	4.83	4.60	4.64	4.56	5.00	4.20	4.90	4.40	4.76	4.25	4.56	4.00	—	—	—	—
	実習② グリーンコープ講師	4.48	3.00	4.44	4.67	5.00	4.00	4.50	4.50	4.50	4.42	4.70	4.46	4.63	5.00	4.20	4.56	4.60	4.53	4.25	4.53	5.00	—	—	—	—
	実習③ 一丸氏・中島氏	4.20	4.00	4.40	4.07	4.00	4.00	4.40	5.00	4.00	4.33	3.91	4.31	4.25	5.00	3.80	4.11	4.20	4.29	3.75	4.31	4.00	—	—	—	—
	実習④ グリーンコープ講師	4.38	4.00	4.50	4.26	4.00	4.67	4.50	5.00	4.50	4.33	4.18	4.64	4.50	5.00	3.75	4.33	4.40	4.47	3.75	4.50	4.00	—	—	—	—
	研修全般	4.57	4.00	4.70	4.48	5.00	4.33	4.50	5.00	5.00	4.50	4.55	4.43	4.88	5.00	4.00	4.67	4.20	4.47	4.25	4.69	5.00	—	—	—	—

7 都道府県研修に係る担当者研修

		全体値 平均	所属先								立場		
			① 行政	② 社協	③ 社協以外の社福	④ 社団・財団法人	⑤ 株式会社等	⑥ NPO法人	⑦ 協同組合	⑧ その他	① 研修担当者	② 企画検討メンバー	③ その他
【前期】 担当者	当該人数	76	48	17	1	8	0	0	0	1	53	18	2
	講義と演習① 新保氏	4.43	4.51	4.41	3.00	4.75	—	—	—	5.00	4.56	4.22	5.00
	講義と演習② 平野氏・佐藤氏・新保氏 加留部氏・羽生氏・法師人氏	4.57	4.70	4.47	4.00	4.43	—	—	—	5.00	4.75	4.24	5.00
	講義と演習③ 新保氏・加留部氏	4.71	4.83	4.94	4.00	4.75	—	—	—	5.00	4.86	4.78	4.50
	研修全般	4.69	4.76	4.67	4.00	4.75	—	—	—	5.00	4.78	4.53	5.00

		全体値 平均	所属先								立場		
			① 行政	② 社協	③ 社協以外の社福	④ 社団・財団法人	⑤ 株式会社等	⑥ NPO法人	⑦ 協同組合	⑧ その他	① 研修担当者	② 企画検討メンバー	③ その他
【後期】 担当者	当該人数	70	44	17	2	5	0	0	0	0	37	18	2
	行政説明 高石氏	3.74	3.84	3.47	3.50	4.25	—	—	—	—	3.78	3.83	3.50
	講義と演習① 加留部氏	4.08	4.40	3.76	4.00	4.40	—	—	—	—	4.33	4.17	3.50
	講義と演習③ 加留部氏・平野氏・佐藤氏 久保田氏・村田氏	4.52	4.64	4.24	4.50	4.60	—	—	—	—	4.61	4.56	4.50
	講義と演習③ 加留部氏	4.00	4.56	3.59	3.00	5.00	—	—	—	—	4.58	4.24	3.00
	研修全般	4.24	4.37	3.82	4.00	4.80	—	—	—	—	4.35	4.33	4.00

第5章 研修の評価

1 本研修の特色

企画・運営委員会および各研修企画部会における議論を受けて、次の特色を持たせるべく研修講師と協議して研修を実施した。

(1) 事業従事者の役割や求められる力量を踏まえたカリキュラムづくり

①自立相談支援事業従事者養成研修【前期】共通研修

主任相談支援員、相談支援員、就労支援員を対象とした前期共通研修は、制度の理念、地域づくり、対象者の特性、相談支援の展開、就労支援の基礎を深める研修内容に留意した。また、これまでの研修内容を踏襲しつつ、任意事業の「家計改善支援事業」「就労準備支援事業」「子どもの学習・生活支援事業」に関する新たな実践報告を加えるなど、研修ニーズを考慮したプログラムを実施した。

②自立相談支援事業従事者養成研修【後期】研修

各職種の後期研修については、それぞれの役割を理解し、必要とされる知識、技術、態度を獲得できるよう演習を中心としたプログラムづくりを行い、より専門性を高める内容とした。それぞれの後期研修企画部会としての考え方の整理は次のとおりである。

ア) 主任相談支援員

生活困窮者への相談に関し相談支援能力を持ちながら見立て、支援困難ケースに対応するとともに、相談業務のマネジメントや相談支援員へのスーパービジョン、社会資源開発と地域づくりなどを行う能力を獲得するプログラムとした。

イ) 相談支援員

生活困窮者への個別的・継続的・包括的な支援（アセスメント、自立支援計画の策定、支援調整会議の実施、終結等の一連の支援プロセス）や、時宜にかなったテーマ（「ひきこもり状態」「ギャンブル依存症」）について学ぶプログラムとした。

ウ) 就労支援員

自立相談支援機関において、生活困窮者への就労支援（就労支援を通じた地域づくり、就労支援のプログラムづくり、企業開拓や企業へのアプローチ等）を行うための知識や技術を学ぶプログラムとした。

③就労準備支援事業従事者養成研修

就労準備支援事業担当者に求められる基本理念や責務、役割について理解するとともに、利用者との支援関係の構築、ひきこもりの状態の方のアウトリーチ支援の実際、就労準備支援プログラムの作成、支援方法を教示した。また、自立相談支援機関との連携、企業開拓、就労体験を中心とした取り組み等、就労準備支援を効果的に進めていくための取り組みについて実践報告も交えながら学ぶプログラムとした。

④家計改善支援事業従事者養成研修

相談者の状況・背景や家計改善支援員に求められる倫理・責務・役割を理解し、相談者自身が主体的に家計を管理する意欲を引き出すような支援のあり方について教示した。また

多重・過重債務問題の理解と、利用できる制度や法律を教示した。さらに、今年度から映像教材を用いて初回面接から終結に至るまでの一連の流れを学ぶとともに、家計表等の作成において求められる情報収集の方法や分析視点を理解するプログラムとした。なお、研修実施については、昨年度と同様にグリーンコープ組合連合会に一部業務を再委託した。

⑤都道府県研修に係る担当者研修

都道府県が実施する研修の企画立案・運営に携わる中核的な役割を担う者を養成することを目的に、昨年度同様前後期の2回開催とした。令和2年度から生活困窮者支援に従事する支援員の修了要件となる研修が都道府県に移管されることを踏まえ、厚労省が示した3つのポイントに沿って取り組みを振り返り、今後の検討を行った。前期研修では、県内研修についての実践報告や、本制度に関する研修運営の方法等について教示し、後期研修では、前期研修で学んだ内容を踏まえて実践した各都道府県における研修に関する取り組みを参加者同士で共有し、振り返りを行うとともに、次年度の計画を具体的に考えるプログラムとした。

(2) 多様な演習（グループワーク）による学習

多様な演習（グループワーク）を通じて問題意識を深めることや事例の見立ての際の重要な視点などについて共通理解を図った。また、多様な演習手法を経験することで、参加者自身のファシリテーション技術の向上に寄与した。

(3) 地域に戻って研修内容を伝える機会づくりを受講者に求めた

自立相談支援事業従事者養成研修【前期】における研修会の目標として、①基本を学ぶ、②学んだことを実践できる、③講師になれる、の3点を受講者に伝え、伝達できるようにすることを前提として学習することを促した。各講師も受講者自身が講師になることを意識して、講義・演習の組み立てや資料作成を行った。

(4) 振り返り時間の設定と学びのポイントの可視化

昨年度に引き続き、研修期間中毎日、「振り返り時間」を設けた。これは、個々の受講者が、その日の学びや気づきについてのディスカッションやアンケート記入などの時間を設けることで、一日の学習の整理と翌日への心構えやモチベーション向上を図る意図から導入したものである。

また、全研修において「学びの見取り図」を作成した。研修で何をどう学ぶのか、プログラム別に講師が伝えたいことを可視化し、その日の開始時や振り返り時間にて共通理解を図った。

(5) 受講者向けの課題の設定

研修の学びの効果や相談員としての意識の醸成を図るため、適宜、事前課題を受講者に課した。【前期】共通研修、就労準備支援事業従事者養成研修、家計改善支援従事者養成研修においては、日ごろの業務・支援のなかで感じている課題や、本研修で学びたいと思っていることをまとめるものとした。【前期】共通研修では、研修冒頭に事前課題を利用し、参加者同士が自己紹介をする時間を設定するなど、参加者同士の交流が生まれやすい工夫をした。また、【後期】主任相談支援員研修、【後期】就労支援員研修においては、実際の事例を整理

したシートを参加者が事前に作成して持参し、グループワークをはじめとした研修プログラムにて活用した。

(6) テーマ別交流会の設定

一部の研修について、研修終了後に自由参加のテーマ別交流会を開催した。講師の専門分野に応じたテーマを設け、日ごろの業務・支援における課題や悩みの相談、講義内容をより深く理解するための質疑応答機会を提供した。あわせて、情報や課題の共有などを行い、受講者同士のつながりを築く場とした。

2 成果と課題

各企画部会委員、研修会講師より出された意見と、受講生への事後アンケートからみる研修の成果と課題について以下にまとめる。

(1) 自立相談支援事業従事者養成研修 【前期】 共通カリキュラム

<成果>

- 受講生の事後アンケートより、研修の目標①基本を学ぶ、②学んだことを実践できる、③講師になれるについて、達成できたと考える受講生が多かったことから、研修の目標は達成できたと考えられる。
- 事後アンケートより、「つながりにくい相談者への支援」のプログラムについて関心が高く、相談者が表出していない課題に着目しなければならないことに気づいたとの声が多くあがった。

<課題>

- 事後アンケートより、研修中の講義においてもテキストの活用してほしいとの声があったことから、今後伝達していくうえでもテキストの活用を検討する必要がある。
- 事後アンケートより、全体的にプログラムの内容に対して研修時間が足りず、少し消化不良に感じている受講生も多かった。プログラム内容について整理する必要がある。

(2) 自立相談支援事業従事者養成研修 【後期】 主任相談支援員養成研修

<成果>

- 主任としての役割、視点やスーパービジョンについて実践形式で学ぶことができたと感じる受講生が多くみられた。
- アセスメントとそこからの見立てることの重要性や一人の課題からつながる地域づくりに気づきを得た受講生が多く、丁寧な相談支援だけでなく包括的な支援体制に対する意識を高めることができた。
- 昨年度、日程短縮の都合で盛り込めなかった「主任相談支援員の役割と期待」のプログラムを今年度は盛り込むことで、前期共通カリキュラムの振り返りや主任相談支援員としての役割、理解をする機会となった。主任相談支援員とは、という意識を持って、研修に望むことができた。
- 社会資源を開発することや生活困窮者自立支援だけでなく、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを意識することができた。

＜課題＞

- 記録やツール等の実務や評価、終結のタイミングに悩みがある受講者も多く、情報交換や解説する時間があると更に良い。
- 助言や指導との違いやスーパービジョンの考え方が人によって異なっているため、丁寧な解説が必要である。

（３）自立相談支援事業従事者養成研修 【後期】相談支援員養成研修

＜成果＞

- 研修の目標である「きちんと」「ずっと」「みんなで」「つくる」が明確化され、多職種連携の重要性が理解でき、現場に戻って実践したいとの前向きな声も多くあがった。
- グループワークや交流会を通して、各地域の特性やニーズ、各支援者の視点等を知ることができ、新たな学びや気づきとなったとのこと意見が多かった。
- テーマ別講義で取り上げられた「ギャンブル依存症の理解と相談支援の視点」や「ひきこもりの状態にある方の理解と支援の視点」については、時宜を得た内容で受講生からも関心が高く、良い機会になったと好評であった。

＜課題＞

- 多機関との連携、職場内の連携といったチームによる支援の重要性をアンケートに記載する受講者が多かった。しかし、そのような連携を行っていきたいが、支援体制が十分でなくどこまで実践できるのか不安に感じる意見が一定数みられた。
- 来年度から国研修を一部都道府県研修に移行するにあたり、国研修のような内容が果たして都道府県で実施できるのかと懸念している受講生が多く、国研修の継続を強く望む声が多く寄せられた。

（４）自立相談支援事業従事者養成研修 【後期】就労支援員養成研修

＜成果＞

- 支援対象者の事例概要を記入する事前課題を提出したうえで研修に参加してもらうことで、研修期間中、常に支援対象者を意識しながら取り組むことができた。
- 相談者一人ひとりに寄り添う伴走型支援が必要であり、企業に対しての支援も丁寧に行っていく必要があることが理解できたとの声が多くあがった。
- 「環境支援型就労支援～企業とのチーム支援の手法から」については企業文化や相談者の状況を「見える化」する手法を学ぶことができ、現場に戻ってもすぐに活用できると好評であった。

＜課題＞

- 講義内容は参考になるが、スケールが大きく、実際の業務ではすぐに取り入れることが難しいとの声が一定数見られた。実際には兼務で従事している相談員が大半を占め、時間の制約や人員配置等の体制が整っていない事業所が多く、研修で学んだ内容が実践できるのか分からない等の不安の声も多くあがった。
- テーマ別交流会のなかで、一人職場や兼務のため、アウトリーチしたくてもなかなか

出来ないことや何かあっても誰にも相談出来ないことがあげられ、ネットワークを広げるためにも、国研修の継続を切望する声があった。

（５）就労準備支援事業従事者養成研修

＜成果＞

- 今年度から事業に携わられた受講生も多く、何から手をつけたらよいのかわからなかったが、研修を通してプログラム作りや全国の取り組み等がわかったので、今後の取り組むべき事柄のイメージがついた等の意見も多かった。
- 相談者一人ひとりの「価値観のチャンネル合わせ」を心掛け、個別に応じたオーダーメイドのメニュー開発を行っていきたい等の前向きな意見が多くあがった。
- ワールド・カフェ方式など、受講生同士のつながりを構築できるような演習手法を取り入れ、受講生の事後アンケートにおいても好評だった。

＜課題＞

- 実践報告については、現在の取り組みに加えて事業の最初の仕組みづくりや経過など、事業が軌道に乗る前の話について詳しく聞きたいという声があった。次年度の実践報告の際には、現在の取り組みに加え、活動を始めた時の苦労やネットワークの組み方などについて触れてもらおうと、より受講生の参考になるのではないかと。
- 講義内容が被っているものも多いので、グループワーク等でもっと他地域の相談員と交流する時間を費やしてほしいとの意見が見られた。

（６）家計改善支援事業従事者養成研修

＜成果＞

- 家計改善支援事業の帳票類は単なる家計管理ではなく、ツール等を活用して相談者と一緒に考えながら関係性を築いていくことが重要であると理解できたとの声が多くあがった。
- パソコンを用いて実際に家計相談票やキャッシュフロー票等の帳票類を作成することによって、ツールの正しい使い方や活用方法について学ぶことができ、現場に戻ってすぐに活用したいとの声も多くあがった。
- 生活福祉資金貸付事業や生活保護制度、債務整理について学ぶことにより、利用者の説明や関係機関への相談がしやすくなったという意見が寄せられた。

＜課題＞

- 自立相談支援事業の相談支援員と兼務している受講生が一定数おり、家計改善支援事業と自立相談支援事業との役割分担に関する意見などが見受けられた。
- 帳票類等のツールはあるが、現場では使い方等が曖昧になっており、まだまだ正しい使い方が浸透していない。

(7) 都道府県研修に係る担当者研修

<成果>

- 前期で学んだ内容や、得た情報を各都道府県の研修企画等に活かしていただき、その報告を後期で行うことで、行った研修の課題や成果を具体的に振り返り、共有することができた。
- 後期研修では、事前提出課題として各都道府県の研修の取り組みを提出していただき、その結果をフィードバックした。また、各都道府県の研修会資料等を会場で閲覧できるようにすることで、実践報告に加えて、具体的に各都道府県の取り組みを共有できた。また、厚労省が示した3つのポイント（①参加型研修の形式を取り入れる ②研修企画チームをつくり企画立案する ③制度の理念と基本姿勢を伝える）に沿って各都道府県の取り組みを振り返ってもらい、具体的に来年度の研修計画を立てることができた。
- 行政の担当者と研修企画チームのメンバーが一緒に参加している都道府県もあり、各都道府県で研修の企画にむけて行政担当者だけでなく、チームでの検討が進められていることが分かった。
- 多くの参加者が、前期研修での内容をふまえて、研修の企画・実施に取り組んでいた。様々な工夫があり、今後の都道府県での研修実施にむけての参考となる情報が多く得られる研修であった。

<課題>

- 本研修に参加していない（できなかった）都道府県の参加を、今後どのように促すかが課題である。
- 都道府県が研修の実施主体になるにあたり、内容に差が出すぎないように、質の担保について留意が必要との意見も見受けられた。
- 本研修では交流会は実施していないが、令和2年度から都道府県が研修の実施主体になるにあたり、近隣やブロック内の意見交換や連携もより重要になることから、参加者同士の交流の場を要望する声もあげられていた。

(8) 研修事業全体について

①研修カリキュラムについて

○研修の目的の明確化について

- ・全ての研修において制度の理念を大切に伝えているが、伝達等を繰り返しているうちに理念の重要性に対する意識は薄まっていってしまう可能性もある。制度の理念については、国研修をはじめ都道府県研修でも繰り返し、何度も学ぶ機会をつくる必要がある。

○プログラムについて

- ・令和2年度から実施主体が都道府県研修に移行するに伴い、カリキュラムと各プログラムの内容を見直し、国研修と都道府県研修の役割や連動性を明確化する必要がある。
- ・課題が複雑・多様化し、解決が難しいケースも増えてきており、現場では事例検討が非常に重要である。国研修では近隣の地域の相談員だけでなく、遠方の地域の相談員と事例検討や交流できる場を設け、都道府県研修では近隣の地域の相談員で事例検討を行い、

新たな気づきが得られるようにしていく必要がある。

- ・令和２年度から都道府県が研修の実施主体になることを勘案すると、国研修受講者を企画チームや講師の担い手としていく必要がある。その意味でも、今年度の研修で実施したように、研修修了者に国研修の実践報告や、演習協力者として関わってもらうことは有効と考えられる。

○実践報告事例の選定について

- ・先駆的な取り組みの中においても「失敗したこと」や「苦労したこと」に触れていただくことで、それぞれが地元に帰ったあとにより支援に活かせるのではないかな。
- ・非常に進んでいる取り組みは理想を見せる意味でも重要である。一方で、標準的なものを発表してもらうことで、汎用性のある事例となり、受講生がそれぞれで参考となる点を見出すことにつながり、どちらも重要である。

○研修運営について

- ・講義を聴くだけの時間が続くことのないよう、短時間のバズセッションを入れることなどで、受講生自身も主体的に参加する意識が強まり、集中力が維持された。

②研修事業について

- 令和２年度から都道府県が研修の実施主体になるが、現状では、各都道府県の取り組みや事業の理解等にはかなり差がある。今後の研修における都道府県と国の役割についても明確にし、実施主体である都道府県に事業の必要性・重要性等を理解していただけるよう伝達できるかが重点となる。

第6章 業務の運営

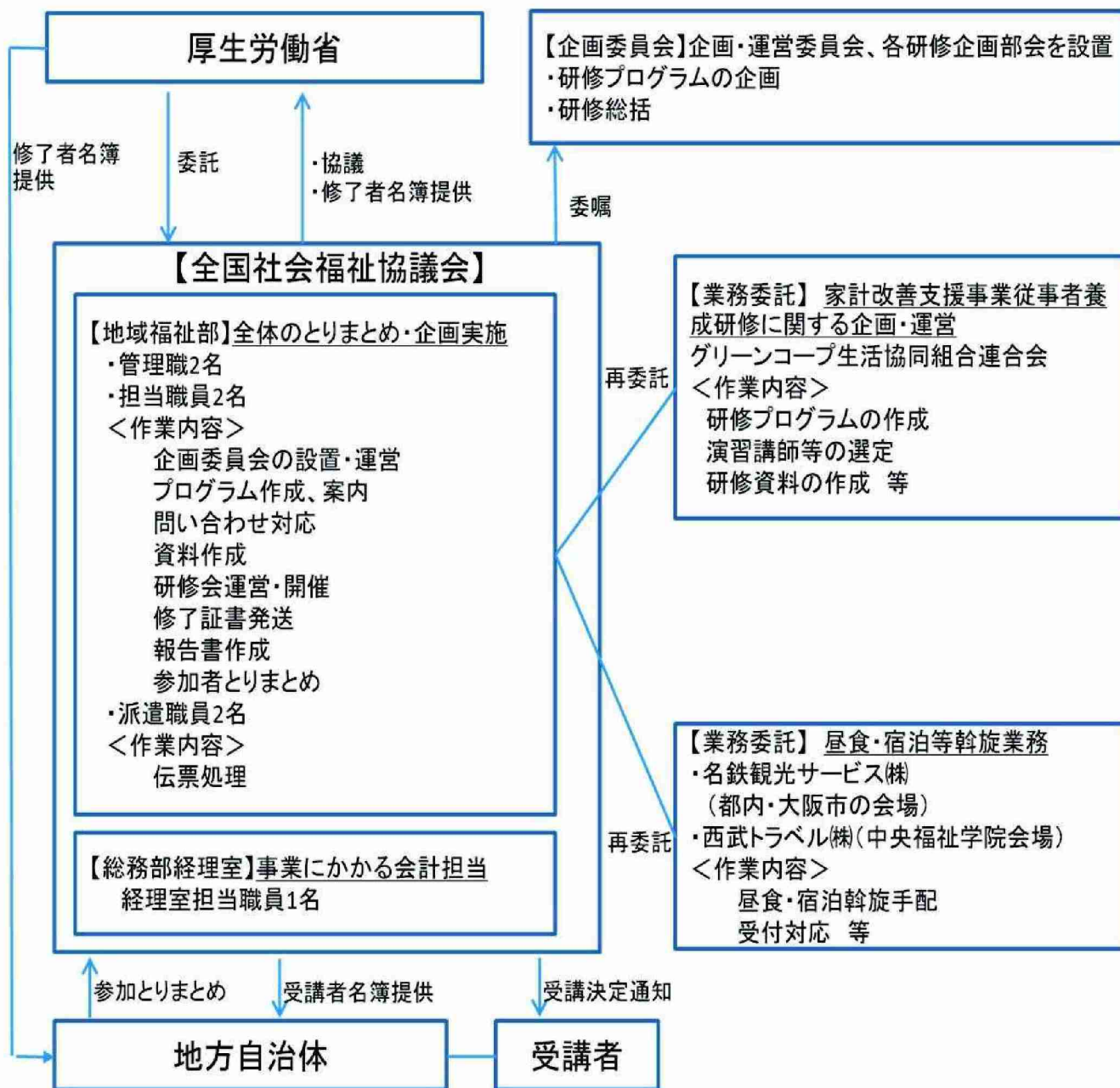
1 受け入れから実施報告までのスケジュール

◇受け入れから報告までのスケジュール(日程)

4/15	第1回企画・運営委員会の開催	事業実施計画の確認 研修プログラム検討(講師選定含)	企画委員選定協議 会場調整等
4月中旬～	研修プログラムの作成	企画委員会で協議された内容に沿って、研修プログラムを作成する ※講師の依頼について可能な範囲で進める ※会場確保(演習に必要な会場等)	プログラム案作成 開催要綱等作成 講師依頼
4/17	家計改善企画部会の開催	【家計】研修の企画・検討 今後の進め方確認	企画委員会検討準備
4/18	第1回都道府県研修に係る担当者研修企画部会の開催	【担当者研修】研修の企画・検討 今後の進め方確認	問い合わせ対応 (～1月)
5月上旬	開催案内	開催要綱作成、発送、募集	
5/15	主任相談支援員企画部会の開催	【主任】研修の企画・検討 今後の進め方確認	研修資料作成 備品等研修準備
5/29	【前期】都道府県研修に係る担当者研修		
5月下旬	受講者の決定・案内	行政が取りまとめた申込の集約、厚労省と調整・確認のうえ受講決定案内	受講決定案内
6/5	【前期】共通カリキュラム事前打ち合わせ	八木氏、土屋氏と「相談支援の展開と視点」の進め方について検討	
6/12～14	第1回家計改善支援事業従事者養成研修		修了証書発行
6/20	【後期】主任相談支援員養成研修事前打ち合わせ	新保氏、上原氏、朝比奈氏と「事例検討の意義と理解」「スーパービジョンの実際」の内容及び進め方について検討	
7/8	【後期】就労・就労準備合同企画部会の開催	【就労】【就労準備】研修の企画・検討 今後の進め方確認	
7/9～11	【前期】共通カリキュラム(第1回)		
7/24	相談支援員企画部会開催	【後期】研修の企画・検討 今後の進め方確認	
7/29～31	【前期】共通カリキュラム(第2回)		
8/7～9	第2回家計改善支援従事者養成研修		修了証書発行
8/21～23	【後期】主任相談支援員養成研修		修了証書発行
9/2～4	【前期】共通カリキュラム(第3回)		
9/25～27	第3回家計改善支援事業従事者養成研修		修了証書発行

10/7～9	就労準備支援事業従事者養成研修		修了証書発行		
10/17～19	【後期】 相談支援員養成研修(第1回)		修了証書発行		
10/23	主任相談支援員養成研修振り返り	新保氏、上原氏と「事例検討の意義と理解」の振り返り			
11/13～15	第4回家計改善支援従事者養成研修		修了証書発行		
11/27～29	【後期】 相談支援員養成研修(第2回)		修了証書発行		
12/11～13	【後期】 就労支援員養成研修		修了証書発行	↓	↓
1/9	第2回企画・運営委員会の開催	・2019年度国研修ふりかえり ・2020年度国研修についての検討			
1/28	都道府県研修に係る担当者研修				
2月上旬～	実施報告書作成	事業の実績をとりまとめ、報告書を作成する。	アンケート集約		
～2月末	研修完了業務	会計処理 修了者名簿の作成と厚生労働省へ提供	報告書作成	↓	↓

2 実施体制



付録

- 1 開催要項
- 2 修了証書（ひな形）

2019 年度 自立相談支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の種類

生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業において配置される主任相談支援員、相談支援員、就労支援員それぞれを対象とした 3 種の養成研修を実施します。

2. 日程・定員・会場

研 修 名		日 程	定 員	会 場
自立 相談 支援 事業	【前期】共通研修	第1回 7月9日(火)～11日(木)	320名	全社協・灘尾ホール
		第2回 7月29日(月)～31日(水)	320名	全社協・灘尾ホール
		第3回 9月2日(月)～4日(水)	320名	全社協・灘尾ホール
	【後期】主任相談支援員養成研修	8月21日(水)～23日(金)	240名	全社協・中央福祉学院
	【後期】相談支援員養成研修	第1回 10月17日(木)～19日(土)	240名	全社協・中央福祉学院
		第2回 11月27日(水)～29日(金)	240名	大阪市・リバーサイドホテル
	【後期】就労支援員養成研修	12月11日(水)～13日(金)	240名	全社協・中央福祉学院
就労準備支援事業従事者養成研修		10月7日(月)～9日(水)	120名	東京都・タイム24ビル
家計改善支援事業従事者養成研修		第1回 6月12日(水)～14日(金)	60名	全社協・会議室
		第2回 8月7日(水)～9日(金)	60名	全社協・会議室
		第3回 9月25日(水)～27日(金)	60名	全社協・会議室
		第4回 11月13日(水)～15日(金)	60名	大阪市・ガーデンシティ東梅田
都道府県研修に係る担当者研修		【前期】5月29日(水)	140名	全社協・会議室
		【後期】1月28日(火)	132名	東京駅セントラルカンファレンスセンター

<会場>

【前期】全国社会福祉協議会 灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

※アクセスは web サイト（ <http://www.shakyo.or.jp/jncsw/access.html> ）でご確認ください。

【後期】全国社会福祉協議会 中央福祉学院

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

TEL 046-858-1355 FAX 046-858-1356

※アクセスは web サイト（ <http://www.gakuin.gr.jp/> ）でご確認ください。

【後期】大阪リバーサイドホテル（大阪市内、【後期】相談支援員養成研修【第2回】のみ）

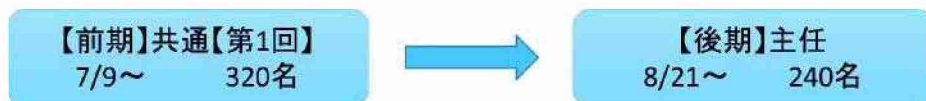
〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町5丁目 12:30

TEL 06-6928-3251 FAX: 06-6928-3260

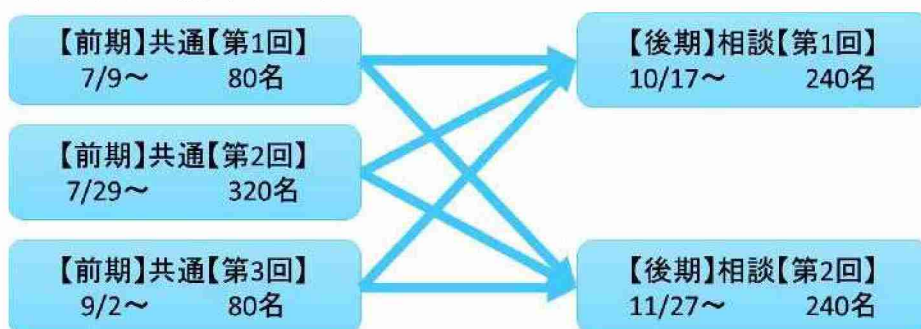
※アクセスはweb サイト (<https://www.osaka-riverside-hotel.co.jp/>) でご確認ください。

3. 職種別の受講パターン

(1) 主任相談支援員（240名）

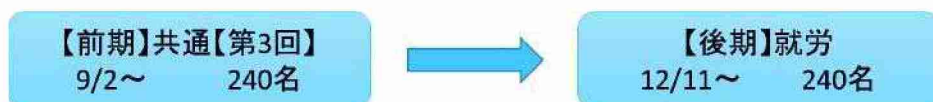


(2) 相談支援員（480名）



相談支援員は、【前期】、【後期】それぞれ受講希望回を受講申込書にて確認します。各回の内容は同様です。
受講回の決定は事務局および厚生労働省が行い、基本的に変更はできません。あらかじめご了承ください。

(3) 就労支援員（240名）



4. 受講対象

(1) 主任相談支援員養成研修

自立相談支援事業において主任相談支援員として配置されている者。

なお、以下の①～③までのいずれかに該当する者。

- ①社会福祉士、精神保健福祉士、保健師として保健、医療、福祉、就労、教育等の分野における業務に5年以上従事している者であり、かつ、生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に3年以上従事している者
- ②生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に5年以上従事している者
- ③相談支援業務に準ずる業務として、実施主体である地方自治体の長が認めた業務に5年以上従事している者

(2) 相談支援員養成研修

自立相談支援事業において相談支援員として配置されている者。なお、相談支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への相談支援を適切に行うことができる者。

(3) 就労支援員養成研修

自立相談支援事業において就労支援員として配置されている者。なお、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる者。

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 31 年 4 月 4 日付社援発 0404 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 31 年 4 月 19 日付厚生労働省事務連絡）（研修受講者の選定基準、都道府県別の受講者枠等が示されています）

5. 研修内容

(1) 主任相談支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】（別表 1）及び主任相談支援員養成研修カリキュラム【後期】（別表 2）により構成されています。

(2) 相談支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】（別表 1）及び相談支援員養成研修カリキュラム【後期】（別表 3）により構成されています。

(3) 就労支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】（別表 1）及び就労支援員養成研修カリキュラム【後期】（別表 4）により構成されています。

※本年度、1 人の受講者が 2 つ以上の研修を受講する場合は、共通カリキュラム【前期】は 1 回だけ受講することとします。なお、【後期】研修を先に受講することはできません。また、過去に自立相談支援事業従事者養成研修の共通カリキュラム【前期】を受講した方は、本年度の共通カリキュラム【前期】は受講免除となります。過去の受講状況については受講申込書にて確認します。

※カリキュラムの詳細は受講決定通知と併せてご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

6. 受講料

無料

※テキスト代、食事代、交流会参加費（【前期】研修会 1 日目、【後期】研修会 1 日目に予定、希望者のみ）は負担ください。なお、旅費及び宿泊費については、事業の対象経費として支出が可能とされています（社会・援護局長通知参照）。

7. テキスト

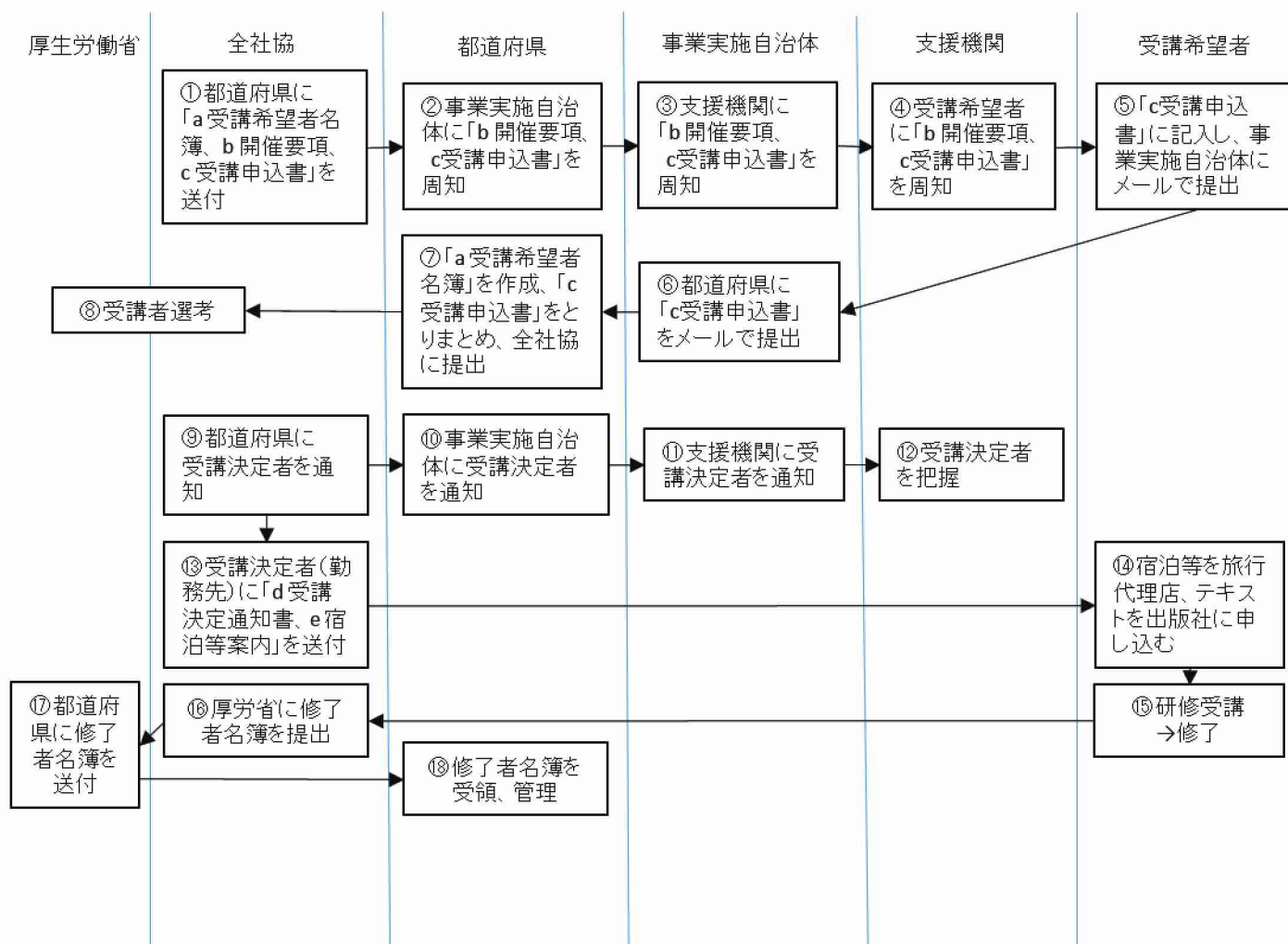
各研修で使用するテキストは下記の 1 冊となります。各自ご用意ください（自己負担）。

①『生活困窮者自立支援法 自立相談支援事業従事者養成研修テキスト』（中央法規出版株式会社）

※昨年「平成 30 年度自立相談支援事業従事者養成研修」に使用したテキストと同じです。

※書店等でお買い求めください。

8. 申込みから受講、修了までの流れ



※ 【】内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

8-1. 都道府県

- (1) 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- (2) 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出（締切日：令和元年5月21日（火））【⑦】
- (3) 全社協から送られる「受講決定者名簿」（6月上旬予定）に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- (4) 研修終了後、修了者名簿を受領し管理【⑱】

8-2. 事業実施自治体

- (1) 自立相談支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付（直営の場合は受講者に周知）【③】
- (2) 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- (3) 自立相談支援機関に受講決定者を通知（直営の場合は受講者に通知）6月上旬予定【⑪】

8-3. 自立相談支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

8-4. 受講希望者

(1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】

※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、自立相談支援機関経由でメールにてお送りします。

※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。

※受講申込書のファイル名は、「**別添 1**」受講申込書 (1 主任、2 相談、3 就労) (フルネームを漢字で記入)」

の 1 つ目のカッコ内を受講する研修の種類のみに変更し、2 つ目のカッコ内を受講希望者のフルネーム (漢字) に変更してご提出ください。

※「**別添 2**」受講申込書 (記入例)」をご参照ください。

(2) 受講決定後、テキスト、食事、宿泊、交流会の申し込み (締切日: 6 月上旬予定)【⑭】

※受講決定通知、テキスト、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します (6 月上旬予定)。

※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。

※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、自立相談支援機関にも通知します。

8-5. 補欠枠について

(1) 都道府県ごとに主任相談支援員、就労支援員については各 1 名、相談支援員については各 3 名を上限として補欠枠を設けていますので、補欠登録する者についても受講申込書を記入頂くとともに、受講希望者名簿の「補欠欄」への記入をよろしくお願いいたします。相談支援員については、受講希望順に「補欠①～③」の欄に記入してください。

(2) 補欠枠で登録した者については、全体の申込状況を勘案した上で受講決定を行いますので、受講できない可能性があることを、あらかじめご留意ください。

9. 修了証書の交付

(1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。

(2) 修了要件は以下のとおりです。

①前・後期のすべての科目に出席すること。

②事前・事後課題を提出すること (課題を課した場合)。

(3) 修了証書は、後期研修終了時に受講者本人にお渡しします。

(4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

別表 1 共通カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
生活困窮者支援の基本的な考え方について	生活困窮者自立支援制度創設の背景及び制度の概要、生活困窮者支援の理念について理解する。	講義：1.5 時間
生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業の重要性について	自立相談支援事業の目的、機能、各支援員の役割、支援の流れについて理解する。	講義：1 時間
	任意事業や他制度の活用・自立相談支援事業との連携について理解する。	講義：1 時間
支援員に求められる基本倫理と基本姿勢について	各支援員に求められる基本倫理と基本姿勢について理解する。	講義：1.5 時間 演習：2 時間
生活困窮者支援に必要と考えられる視点について	生活困窮者支援に関係する各制度・施策やその他の社会資源の活用、それらとの連携・協働の目的とその方法について理解する。	講義：1.5 時間 演習：2 時間
生活困窮者支援を通じた地域づくりについて	誰もが地域の中で安心して暮らすことができる（自立生活ができる）地域づくりに必要な視点について理解する。	講義：1 時間 演習：2.5 時間
相談支援の展開について	生活困窮者の自立支援計画について、基本的な考え方等について理解する。	講義：2 時間 演習：1.5 時間
就労支援の実施方法について	生活困窮者の就労支援について、基本的な考え方等について理解する。	講義：1.5 時間 演習：2 時間

※計 21 時間（講義 11 時間、演習 10 時間）

※実施予定時刻

- 【第 1 回】 第 1 日目 9：00～17：50 交流会（自由参加）18：05～19：05
第 2 日目 9：00～17：10
第 3 日目 9：00～18：20
- 【第 2 回】 第 1 日目 9：00～17：50 交流会（自由参加）18：50～19：50
第 2 日目 9：00～18：45
第 3 日目 9：00～16：45
- 【第 3 回】 第 1 日目 9：00～17：50 交流会（自由参加）18：05～19：05
第 2 日目 9：00～18：20
第 3 日目 9：00～17：00

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表２ 主任相談支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
主任相談支援員の役割について	生活困窮者自立支援制度における主任相談支援員に求められる役割について理解する。	講義：１時間
職員の資質向上と職場（組織）づくりについて	職員の育成・教育や職場環境のつくり方について学習する。	講義：１時間 演習：２時間
スーパービジョンについて	スーパービジョンの基本的考え方や、職場内での進め方など具体的な手法を学ぶ。	講義：１時間 演習：１時間
生活困窮者支援を通じた地域づくりの意義について	生活困窮者支援を通じた地域づくりの考え方を学習するとともに、地域の関係機関・関係者との協働・連携のあり方について理解する。	講義：１時間
個を支える地域づくりの視点について	事例検討を通じて、個を支えるために必要な地域ネットワークを考察することにより、地域づくりの視点について理解する。	演習：３時間
社会資源とネットワーク開発について	地域の社会資源の把握、地域に不足する社会資源の開発等の考え方やその手法について理解する。	演習：３時間
支援困難事例の検討について	高度な相談支援（支援困難ケースへの対応）について、具体的な支援の考え方やその手法について理解する。	講義：１時間 演習：２時間
アセスメント・プラン作成について	事例を通じて、インテーク・アセスメントシートの考え方について理解する。	講義：２時間 演習：２時間
研修全体のまとめ	共通カリキュラムを含めた研修全体について振り返りを行う。	講義：１時間

※計 21 時間（講義 8 時間、演習 13 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 10：30～17：25 交流会（自由参加）17：30～19：00

第 2 日目 9：00～17：00

第 3 日目 9：00～16：00

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表 3 相談支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
個別支援の基本について	相談支援において援助関係を構築する大切さやその手法について理解する。	講義：0.5 時間 演習：0.5 時間
援助関係をつくりにくい人への支援について	発達障害やメンタルヘルスに配慮すべき人の特性や支援方法について理解する。	講義：0.5 時間 演習：1 時間
アウトリーチについて	生活困窮者自立支援制度におけるアウトリーチの重要性とその手法について理解する。	講義：1 時間 演習：3 時間
任意事業との連携のあり方について	自立相談支援事業と任意事業との連携のあり方を確認し、効果的な支援策について理解する。	講義：1 時間 演習：1.5 時間
地域を基盤とした相談支援の方法について	地域づくりの重要性やその手法を通じて、地域を基盤にした支援方法について理解する。	講義：0.5 時間 演習：1.5 時間
相談支援の展開について	演習を通じて自立相談支援事業における帳票類が持つ意味について理解する。	講義：1 時間 演習：5 時間

※計 17 時間（講義 4.5 時間、演習 12.5 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 13：30～18：20 交流会（自由参加）18：30～20：00

第 2 日目 9：00～17：10

第 3 日目 9：00～15：25

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表 4 就労支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
就労支援員の役割について	生活困窮者自立支援制度における就労支援員に求められる役割を理解する。	講義：2 時間 演習：0.5 時間
個人への相談支援について	事例を通して、個別相談支援への支援プロセス等について理解する。	講義：1 時間 演習：2 時間
アウトリーチの実施と危機管理について	アウトリーチの重要性や手法の理解や危機管理の視点について理解する。	講義：0.5 時間 演習：1.5 時間
多様なプログラムの作成について	プログラム作りの方法や考え方や意欲喚起の手法について理解する。	講義：1.5 時間 演習：0.5 時間
職場内のチームづくり、地域のネットワークづくりについて	働きやすい職場づくりや地域の様々な関係づくりの実践を通じて、その手法について理解する。	講義：0.5 時間 演習：0.5 時間
自治体による就労支援について	自治体が行う就労支援とその強みについて理解する	講義：0.5 時間 演習：1.5 時間
企業へのアプローチについて	企業開拓、企業支援の具体的な方法や定着支援の必要性とその方法などについて理解する。	講義：1 時間 演習：1.5 時間
研修全体のまとめ	研修全体の振り返りを実施し、就労支援員の役割の再認識を行う。	講義：1 時間 演習：1 時間

※計 17 時間（講義 8 時間、演習 9 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 13：00～18：15 交流会（自由参加）18：30～20：00

第 2 日目 9：00～17：10

第 3 日目 9：00～14：55

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

＜個人情報の取り扱いについて＞

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください。

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

＜必要な配慮について＞

車いすの使用や手話通訳等、参加時に配慮が必要な場合は、事前に事務局までお知らせください。

＜本件に関する連絡・お問い合わせ先＞

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （吉田、三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9：30～17：30 土日祝日休業

2019 年度 就労準備支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の概要

生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業において配置される就労準備支援担当者を対象とした養成研修を実施します。

2. 日程・定員・会場

研 修 名	日 程	定員	会 場
就労準備支援事業従事者養成研修	10 月 7 日(月)～ 10 月 9 日(水)	120 名	タイム 24 ビル

<会場>

タイム 24 ビル 13 階研修室 131

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32

TEL:03-5531-0024 FAX:03-5531-0025

※アクセスについては

web サイト（ <http://www.tokyo-bigsight.co.jp/time/access/index.html> ）でご確認ください。

3. 受講対象

就労準備支援事業において就労準備支援担当者として配置されている者及び被保護者就労準備支援事業の相談支援に従事する者。

なお、対象者の選定に当たっては、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる人材が望ましい。

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 31 年 4 月 4 日付社援発 0404 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 31 年 4 月 19 日付厚生労働省事務連絡）
- ・「被保護者就労準備支援事業（一般事業分）の実施について」（平成 31 年 3 月 29 日付社援保発 0329 第 5 号厚生労働省社会・援護局保護課長通知）

4. 研修内容

就労準備支援事業従事者養成研修カリキュラム（別表1）により構成されています。

※カリキュラムの詳細は、改めてメールでご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 受講料

無料

※交通費、食事代、宿泊費、交流会参加費（研修会1日目、希望者のみ）は負担ください。

なお、旅費及び宿泊費については、事業対象経費として支出が可能とされています（厚生労働省社会・援護局長通知参照）。

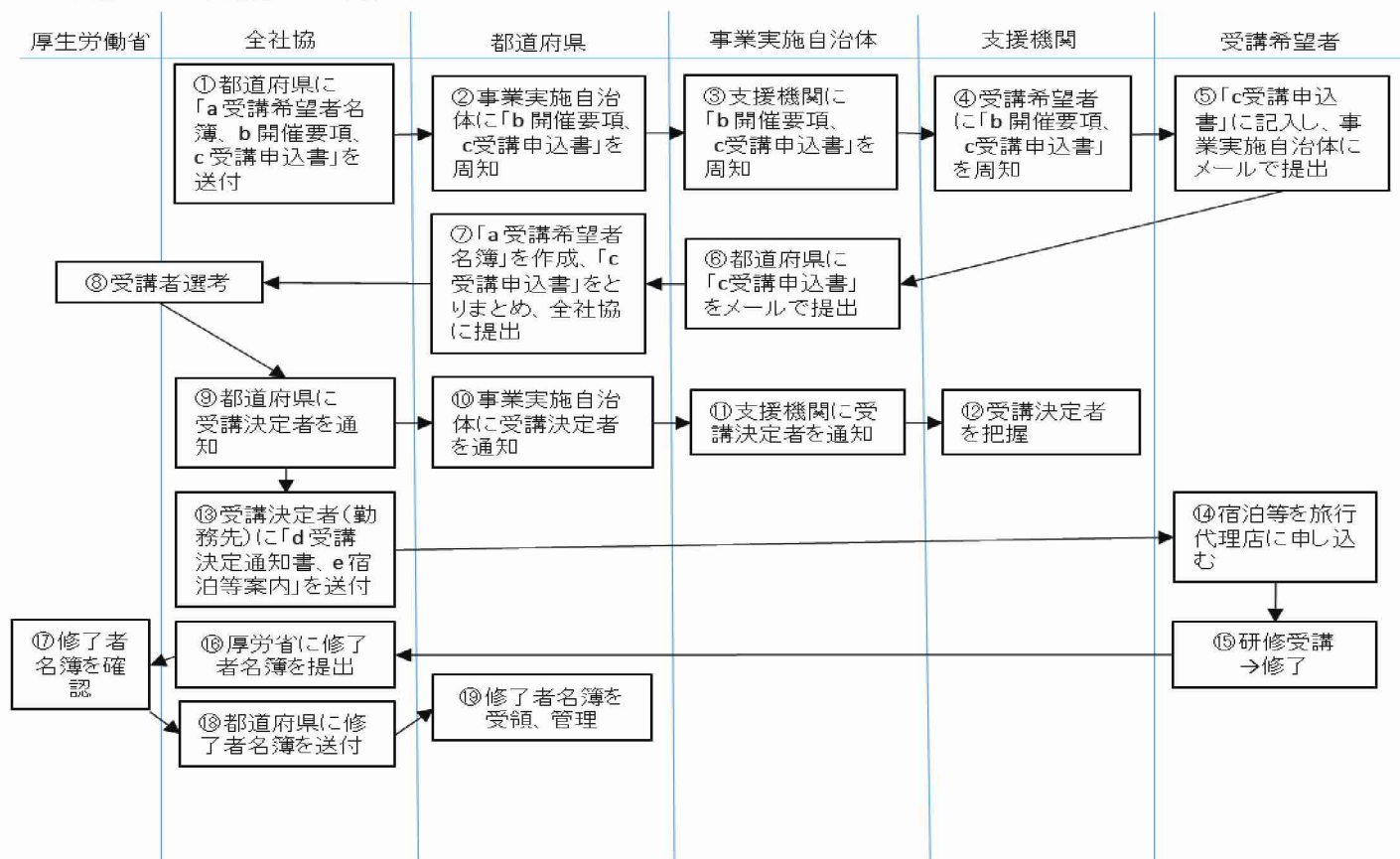
6. 必要な配慮について

手話通訳、要約筆記等の情報保障、その他必要な配慮がある場合は、事前に事務局までご連絡ください。

7. テキスト

有償の書籍をテキストとして使用することは予定しておりません。

8. 申込みから受講までの流れ



※次のページの【】内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

8-1. 都道府県

- (1) 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- (2) 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出（締切日：令和元年8月14日（水））【⑦】
- (3) 全社協から送られる「受講決定者名簿」（8月末予定）に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- (4) 全社協から送られる「修了者名簿」を受領し管理【⑰】

8-2. 事業実施自治体

- (1) 支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付（直営の場合は受講者に周知）【③】
- (2) 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- (3) 支援機関に受講決定者を通知（直営の場合は受講者に通知）（8月末予定）【⑪】

8-3. 支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

8-4. 受講希望者

- (1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】
 - ※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、支援機関経由でメールにてお送りします。
 - ※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。
 - ※受講申込書のファイル名は、「**別添1** 受講申込書 就労準備（フルネームを漢字で記入）」のカッコ内を受講希望者のフルネーム（漢字）に変更してご提出ください。
 - ※「**別添2** 受講申込書 就労準備（記入例）」をご参照ください。
- (2) 受講決定後、食事、宿泊、交流会の申し込み（締切日：9月上旬予定）【⑭】
 - ※受講決定通知、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します（8月末予定）。
 - ※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。
 - ※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、支援機関にも通知します。

9. 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ※すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、本会から修了者名簿をお送りします。

別表 1 就労準備支援事業従事者養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
生活困窮者自立支援制度と就労準備支援事業の基本的な考え方について	生活困窮者自立支援制度及び就労準備支援事業の目的と必要性を理解する。	講義：1 時間
本人の状態像に応じた支援のあり方について	多様な課題や社会的背景を抱える就労準備支援事業の対象者像に応じた支援のあり方について理解する。	講義：2 時間
アウトリーチの基本的な方法、考え方	多様な課題や社会的背景を抱える生活困窮者に対するアウトリーチ（訪問支援）の基本的な方法や考え方について理解する	講義：1 時間
アウトリーチの実践と危機管理	アウトリーチの重要性や手法の理解や危機管理の視点について理解する	講義：3 時間
支援関係の構築について	支援プロセスにおいて支援関係の構築の重要性を理解するとともに、演習を通じて支援手法を理解する。	講義：1 時間 演習：2 時間
支援プログラム・メニューの開発について	多様な支援メニューの準備と開発の必要性やその方法について理解する。	講義：1 時間 演習：2 時間
企業開拓について	就労体験を行う際に体験先となる企業等の求人開拓を行うための手法を理解する	講義：1.5 時間
研修全体のまとめ	研修全体の振り返りを実施し、就労準備支援事業と担当者の役割の再認識を行う。	演習：2 時間

※計 17 時間（講義 11.5 時間、演習 5.5 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 13：00～17：00 交流会（自由参加）17：20～18：20

第 2 日目 9：30～17：40 意見交換会（自由参加）17：40～18：40

第 3 日目 9：30～16：30

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱いについて>

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください。

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<本件に関する連絡・お問い合わせ先>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （吉田、福村、赤坂）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9：30～17：30 土日祝日休業

2019 年度 家計改善支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の概要

生活困窮者自立支援制度の家計改善支援事業において配置される家計改善支援員を対象とした養成研修を実施します。同じ内容の研修を4回実施します。

2. 日程・定員・会場

研 修 名	日 程	定 員	会 場
第1回 養成研修	6月12日(水)～ 14日(金)	60名	全社協・会議室
第2回 養成研修	8月7日(水)～ 9日(金)	60名	全社協・会議室
第3回 養成研修	9月25日(水)～ 27日(金)	60名	全社協・会議室
第4回 養成研修	11月13日(水)～ 15日(金)	60名	TKPガーデンシティ東梅田 (大阪市)

<会場>

- ・全国社会福祉協議会（5階 会議室）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

※アクセスについては

web サイト（<http://www.shakyo.or.jp/jncsw/access.html>）でご確認ください。

- ・TKP ガーデンシティ東梅田

〒530-0057

大阪府大阪市北区曽根崎 2 丁目 11-16 梅田セントラルビル

TEL 06-6131-1632

※アクセスについては

web サイト（<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-higashi-umeda/access/>）でご確認ください。

3. 受講対象

家計改善支援事業において家計改善支援員として配置されている者及び被保護者家計改善支援事業の相談支援に従事する者。

なお、対象者の選定に当たっては、相談支援に関わる知識・技術、家計管理に関わる知識・技術、社会保障制度や金融に関わる知識等を有していることが必要であり、以下の①から⑤のような人材が考えられる。

- ① 消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー又は消費生活コンサルタントの資格を有する者
- ② 社会福祉士の資格を有する者
- ③ 社会保険労務士の資格を有する者
- ④ ファイナンシャルプランナーの資格を有する者
- ⑤ 上記①～④に掲げる者と同等の能力または実務経験を有する者

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 31 年 4 月 4 日付社援発 0404 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 31 年 4 月 19 日付厚生労働省事務連絡）
- ・「被保護者家計相談支援事業の実施について」（平成 31 年 3 月 29 日付社援保発 0329 第 4 号厚生労働省社会・援護局保護課長通知）

4. 研修内容

家計改善支援事業従事者養成研修カリキュラム（別表 1）により構成されています。

※カリキュラムの詳細は、改めてメールでご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 受講料

無料

※交通費、食事代、宿泊費、交流会参加費（研修会 1 日目、希望者のみ）は負担ください。

なお、旅費及び宿泊費については、事業対象経費として支出が可能とされています（厚生労働省社会・援護局長通知参照）。

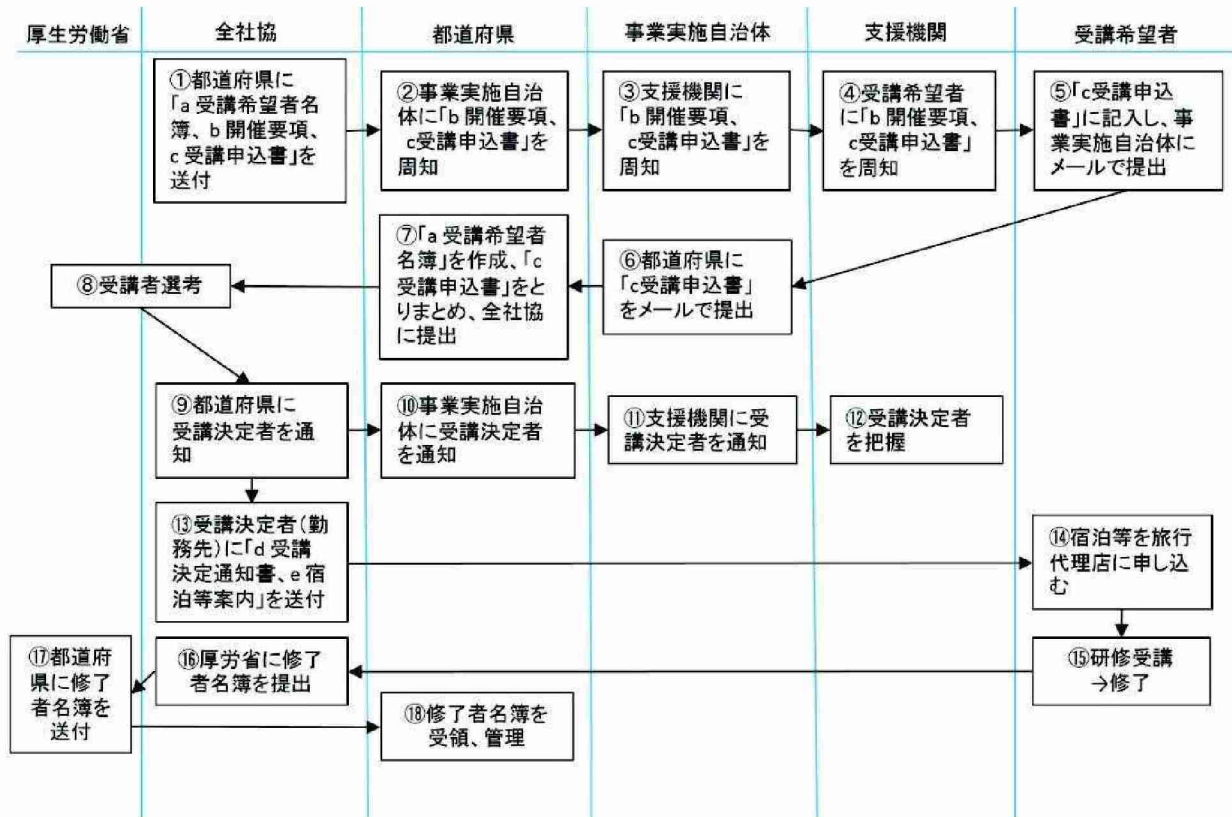
6. テキストおよびノートパソコンについて

（1）有償の書籍をテキストとして使用することは予定しておりません。

（2）第 3 日目においてノートパソコン（Microsoft Word、Microsoft Excel を使用）を使用します。持参できない方には、レンタルサービスを提供する予定です。

※詳細は受講決定通知にてご案内いたします。

7. 申込みから受講までの流れ



※【】内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

7-1. 都道府県

- (1) 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- (2) 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出（締切日：令和元年5月10日（金））【⑦】
- (3) 全社協から送られる「受講決定者名簿」（5月中旬予定）に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- (4) 研修終了後、修了者名簿を受領し管理【⑱】

7-2. 事業実施自治体

- (1) 支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付（直営の場合は受講者に周知）【③】
- (2) 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- (3) 支援機関に受講決定者を通知（直営の場合は受講者に通知）（5月中旬予定）【⑪】

7-3. 支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

7-4. 受講希望者

- (1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】

※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、支援機関経由でメールにてお送りします。

※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。

※受講申込書のファイル名は、「別添1」受講申込書 家計（フルネームを漢字で記入）」の1つ目のカッコ内を受講する研修の種類のみに変更し、2つ目のカッコ内を受講希望者のフルネーム（漢字）に変更してご提出ください。

※「別添2」受講申込書 家計（記入例）」をご参照ください。

- (2) 受講決定後、食事、宿泊、交流会の申し込み（締切日：【第1回】5月27日予定、【第2回】7月上旬予定、【第3回】8月下旬予定、【第4回】10月中旬予定）【⑭】

※受講決定通知、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します（5月中旬予定）。

※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。

※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、支援機関にも通知します。

8. 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

別表 1 家計改善支援事業従事者養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
家計改善支援の基本的な考え方について	家計改善支援事業の目的や必要性、支援の流れなどを理解する。	講義：0.5 時間
家計改善支援員の基本姿勢と役割について	生活困窮者の状況の理解と、家計改善支援員に求められる倫理・責務・役割を理解する。	講義：0.5 時間
利用できる制度および多重・過剰債務の解決方法の理解について	債務整理等の基礎知識やその要因、活用できる各種制度等について理解する。	講義：1 時間
相談者像の理解について	相談者が抱える課題や社会的背景を理解し、家計改善支援事業の対象となる相談者像について理解する。	講義：0.5 時間 演習：0.5 時間
家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れについて	初回面接から終結に至るまでの一連の流れ、家計改善支援における基本的対応方法等について理解する。	講義：1 時間 演習：2.5 時間
家計改善支援の失敗事例の検討について	事例を通して、相談時の注意点や面接の過程で配慮すべき支援員の姿勢について理解する。	講義：0.5 時間 演習：0.5 時間
家計改善支援の実務に必要な帳票と家計表等の作成について	家計表やキャッシュフロー表等にもとづき、家計管理の方法等について理解や家計再生プランの書き方等について理解する。	講義：3 時間 演習：6.5 時間

※計 17 時間（講義 7 時間、演習 10 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 13：20～16：55 交流会（自由参加）17：00～17：50

第 2 日目 9：30～18：00

第 3 日目 9：30～17：00

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱いについて>

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください。

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<必要な配慮について>

車いすの使用や手話通訳等、参加時に配慮が必要な場合は、事前に事務局までお知らせください。

<本件に関する連絡・お問い合わせ先>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （吉田、三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9：30～17：30 土日祝日休業

都道府県研修に係る担当者研修 開催要項

1. 目的

自立相談支援事業に従事する者等に対し、都道府県が独自性を持ち、国が実施する研修を基に地域における支援ニーズを加味して行う研修（以下「都道府県研修」という。）の内容の充実を図るため、効果的な都道府県研修の企画検討に関する講義・演習等を行い、都道府県研修の企画立案・運営に携わり中核的な役割を担う者を養成することを目的に開催します。

2. 日程 前期：令和元年 5 月 29 日（水）

後期：令和 2 年 1 月 28 日（火）

※2 回とも参加していただくことが原則となりますが、後期研修の参加確認は、あらためて行います。

3. 会場 前期：全国社会福祉協議会 第 3～5 会議室

（〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階）

後期：東京駅セントラルカンファレンスセンター ホール 11A

（〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-8-16 新槇町ビル）

4. 参加対象

都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者 ※原則として①又は②を想定。

①都道府県の研修担当者

②国が実施する研修の修了者（条件：平成 26-30 年度自立相談支援事業従事者養成研修の修了者）

③その他、都道府県研修の企画立案や実施に関わる者。

5. 定員 140 名程度

※原則として各都道府県から 3 名まで申込み可能（都道府県の研修担当者が 1 名以上いることが望ましい）

※参加対象者かつ貴都道府県において 3 名までの申込みの場合、受講選考から漏れることはございません。

6. 受講料 無料

※食事代はご負担ください。なお、旅費及び宿泊費については、事業の対象経費として支出が可能とされています（「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 31 年 4 月 4 日付社援発 0404 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知 参照）。

※昼食・宿泊の斡旋はございません。

7. 申込みについて

(1) 都道府県担当者の方へ

- ①受講希望者から提出される「受講申込書」に基づいて「受講希望者名簿」を作成し、受講申込書と併せて全社協にメールで提出してください。(締切日：令和元年5月8日(水))
- ②全社協から送られる「受講決定者名簿」に基づき、企画検討メンバーがいる場合は、当該実施自治体にも受講決定者を通知してください。

(2) 受講希望者の方へ

- ①都道府県担当者から送られる開催要項に添付の「受講申込書(Excelファイル)」に記入のうえ、都道府県担当者にメールで提出してください。
- ②受講が決定次第、全社協から受講決定通知(受講票)をお送りします。
※受講が決定した方に限り、全社協から個別に受講決定通知(受講票)を送付します。
※都道府県担当者の方が受講される場合も必ず記入してください。
※受講申込書は受講者選考や受講決定通知(受講票)の送付、研修のグループ編成に使用します。

8. プログラム ※予定

前期令和元年5月29日(水)

10:00～10:30 (30分)	受付
10:30～10:35 (5分)	<u>挨拶・オリエンテーション</u> 厚生労働省、全国社会福祉協議会
10:35～10:55 (20分)	<u>行政説明</u>
10:55～11:25 (30分)	<u>生活困窮者支援における人材養成について</u>
11:25～12:15 (50分)	昼食休憩
12:15～13:15 (60分)	<u>都道府県における研修の取り組みについて(実践報告)</u>
13:15～13:30 (15分)	休憩
13:30～17:20 (230分)	<u>効果的な研修の企画・立案</u>
17:20～17:30 (10分)	アンケート記入、事務連絡等
17:30～18:30 (60分)	研修企画相談会(任意参加)

後期 令和 2 年 1 月 28 日（火）

10 : 30～11 : 00 (30 分)	受付
11 : 00～11 : 15 (15 分)	<u>挨拶・オリエンテーション</u> 厚生労働省、全国社会福祉協議会
11 : 15～11 : 30 (15 分)	<u>行政説明</u>
11:30～12:30 (60 分)	<u>実施した研修の振り返り</u>
12 : 30～13 : 30 (60 分)	昼食休憩
13 : 30～14 : 40 (70 分)	<u>都道府県における研修の取り組みについて</u>
14 : 40～14 : 55 (15 分)	休憩
14:55～16:50 研修（115 分） 途中休憩（15 分）	<u>来年度の研修計画の策定・立案</u>
16:50～16:55 (5 分)	アンケート記入、事務連絡等

※プログラムの内容については、現時点における予定であることから、今後、変更となる場合があります。

9. 個人情報の取り扱いについて

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください
全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

全社協ホームページ : <http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

10. 必要な配慮について

車いすの使用や手話通訳等、参加時に配慮が必要な場合は、事前に事務局までお知らせください。

Map of the area around the New Aomori Building (新霞が関ビル) in Chiyoda-ku, Tokyo. The map shows the building's location relative to the Aomori Building (霞が関ビル), the National Diet Building (国会議事堂), and the National Diet Building Annex (国会議事堂前). It also shows the Aomori Building's entrance (A13出口) and the Aomori Building's exit (A13出口). The map includes labels for various buildings, streets, and subway stations.

- Buildings:** 新霞が関ビル (New Aomori Building), 霞が関ビル (Aomori Building), 国会議事堂前 (National Diet Building Annex), 国会議事堂 (National Diet Building), 中央合同庁舎第4号館 (Central Government Office Building No. 4), 財務省 (Ministry of Finance), 外務省 (Ministry of Foreign Affairs), 文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology), コモンゲート東館 (Common Gate East Building), コモンゲート西館 (Common Gate West Building), 東京倶楽部ビル (Tokyo Club Building), 特許庁 (Japan Patent Office), 商工会館 (Chamber of Commerce and Industry), 尚友会館 (Shōyūkai Building), 全日通ビル (All Nippon Building), 内閣府 (Prime Minister's Office).
- Streets:** 外堀通り (Gaiyoku-dori), 桜田通り (Sakurada-dori), 国会通り (Kokai-dori), 三年坂 (Sannenzaka).
- Subway Stations:** 地下鉄 虎ノ門駅 (Tokyo Metro Kojimae Station), 地下鉄 霞ヶ関駅 (Tokyo Metro Kojimae Station), 地下鉄 虎ノ門駅 (Tokyo Metro Kojimae Station).
- Other Labels:** 赤坂見附 (Akasaka Mitsunori), 外堀通り (Gaiyoku-dori), 桜田通り (Sakurada-dori), 国会通り (Kokai-dori), 三年坂 (Sannenzaka), 地下鉄 虎ノ門駅 (Tokyo Metro Kojimae Station), 地下鉄 霞ヶ関駅 (Tokyo Metro Kojimae Station).

Diagram illustrating the Keisei Line and its connections to other lines:

- Keisei Line (京成線):** The main vertical line, with stations including 上野 (Ueno), 新橋 (Shinjuku), 銀座 (Ginza), 大手町 (Daimajicho), 東京 (Tokyo), and 池袋 (Kojikago).
- Ginza Line (銀座線):** Branches off to the left, connecting to 渋谷 (Shibuya), 虎ノ門 (Kojima), and 新橋 (Shinjuku).
- Hibiya Line (日比谷線):** Branches off to the left, connecting to 日比谷 (Hibiya).
- Marunouchi Line (丸ノ内線):** Branches off to the left, connecting to 新宿 (Shinjuku).
- Central Hub:** A central oval labeled "全社協" (All Company Cooperation) is positioned between the Ginza Line and the Marunouchi Line, with arrows pointing to the Kojima and Kojikago stations.

- 185 -

＜会場のご案内 後期：東京セントラルカンファレンスセンター＞



- ・JR 東京駅 八重洲中央口 徒歩1分 ・東京メトロ丸の内線 東京駅 自由通路経由 徒歩7分

* アクセスは web サイト (<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyoeki-central/access/>)
でもご確認いただけます

【お問い合わせ先】

全国社会福祉協議会 地域福祉部 (担当：三輪、吉田)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL: 03-3581-4655 FAX: 03-3581-7858

E-Mail: z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 平日 9 : 30 ~ 17 : 30 土日祝日休業

修了証書

●年度

自立相談支援事業従事者養成研修
【●●支援員養成研修】

修了番号 << 修了番号 >>

<< 氏名 >> 殿

<<生年月日>> 生

貴殿はこの度 厚生労働省委託の
自立相談支援事業従事者養成研修
●●支援員養成研修を受講し所定の
課程を修了したことを証する

令和●年●月●日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

会長 清 家 篤

